

派遣社員の意識・就労実態調査（2021年）



■ 調査概要

調査対象

現在派遣社員として以下職種いずれかで働く、男女20～59歳
オフィスワーク・事務／販売／サービス／テレオペ・テレマーケティング／機械・電気・IT技術・通信系／クリエイティブ系
医療・介護・福祉関連業務／製造／配送・輸送・物流

調査期間

2021年7月1日（木）～2021年7月5日（月）

調査方法

外部パネルによるインターネット調査（スクリーニング調査＋本調査）

有効回答数

1,376サンプル
※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。
※n=30未満は参考値
※グラフ数値3%未満は非表示の部分があります

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 E-mail : myrm@mynavi.jp

■ INDEX

(1) 回答者プロフィール

（性年代／同居家族／扶養家族／勤務地）

(2) 就労実態

（雇用形態／職種／勤務期間／勤務日数／勤務時間／平均時給／在宅勤務実態）

(3) 派遣会社選びの実態

（登録している・就業している派遣会社数／派遣会社選択の際の魅力点／派遣会社選択軸となる要素と重要度）

(4) 就労意識

（派遣社員を選んだ理由）

(5) 派遣会社の定着につながるポイント

（派遣元・派遣先・派遣社員としての働き方の満足度／満足な理由／スタッフフォローの頻度と方法／スキルアップ制度
福利厚生制度／派遣先変更・退職検討要因）

(6) 今後の就労意向

（希望する職種／今後の派遣社員意向／派遣社員として働きたい理由／正社員として働きたい理由）

(7) 派遣社員以外の雇用形態との比較

（派遣社員以外の雇用形態勤務期間／正社員・パートアルバイトと派遣社員の比較／正社員化の機会と判断
正社員化の誘いを断った理由／正社員に繋がった要因）

(8) 無期転換ルールについて

（該当有無と制度の印象／印象の理由）

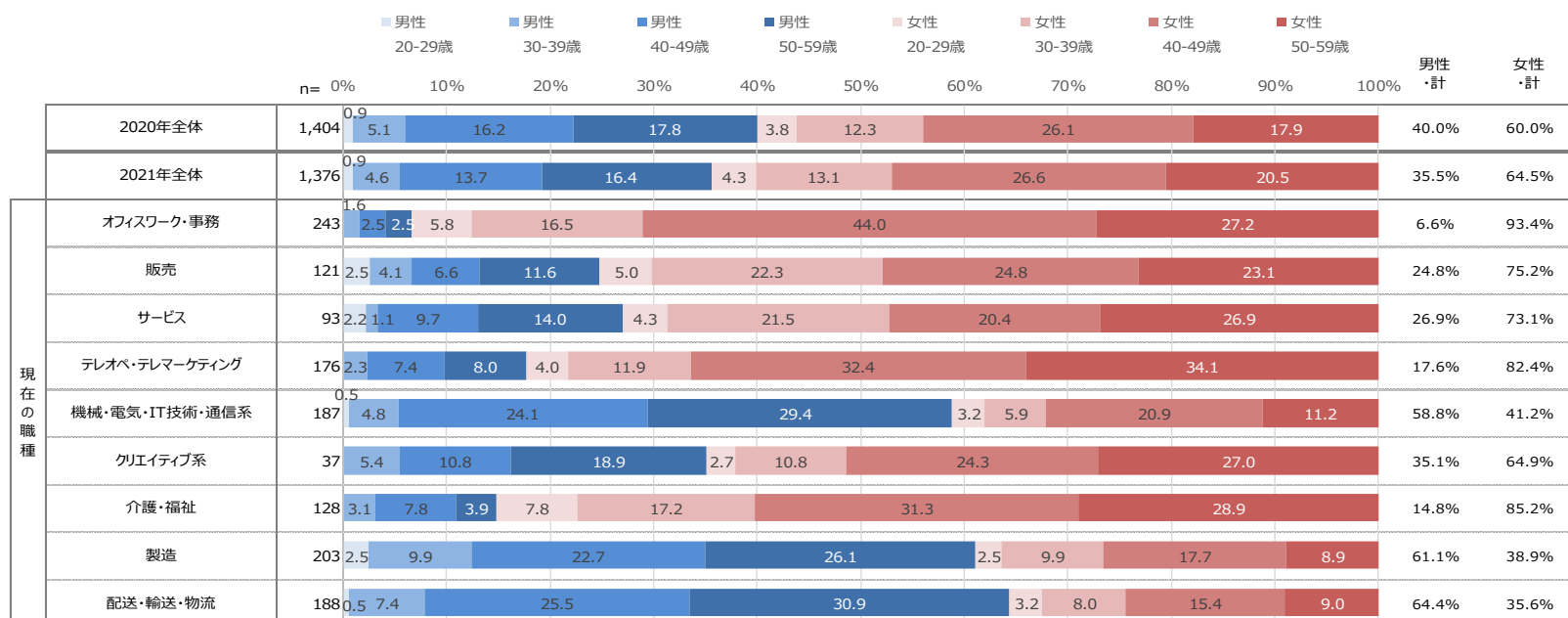
(9) Appendix

（職種分類表）

(1) 回答者プロフィール

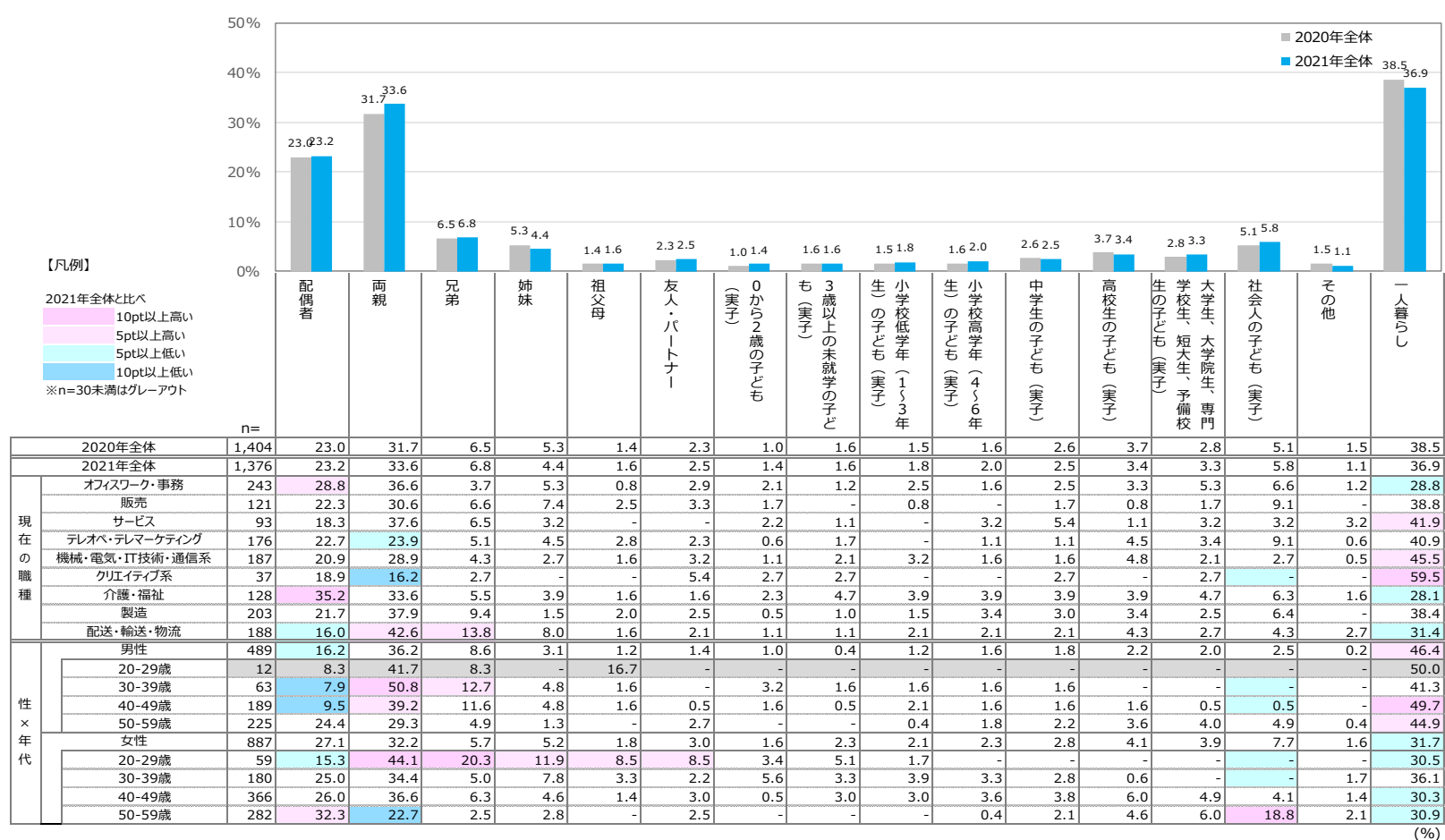
性年代（単一回答）

- ・【オフィスワーク・事務】【販売】【サービス】【テレオペ・テレマーケティング】【介護・福祉】で女性比率が7～9割台と高く、【機械・電気・IT技術・通信系】【製造】【配送・輸送・物流】で男性比率が6割前後とやや高い。



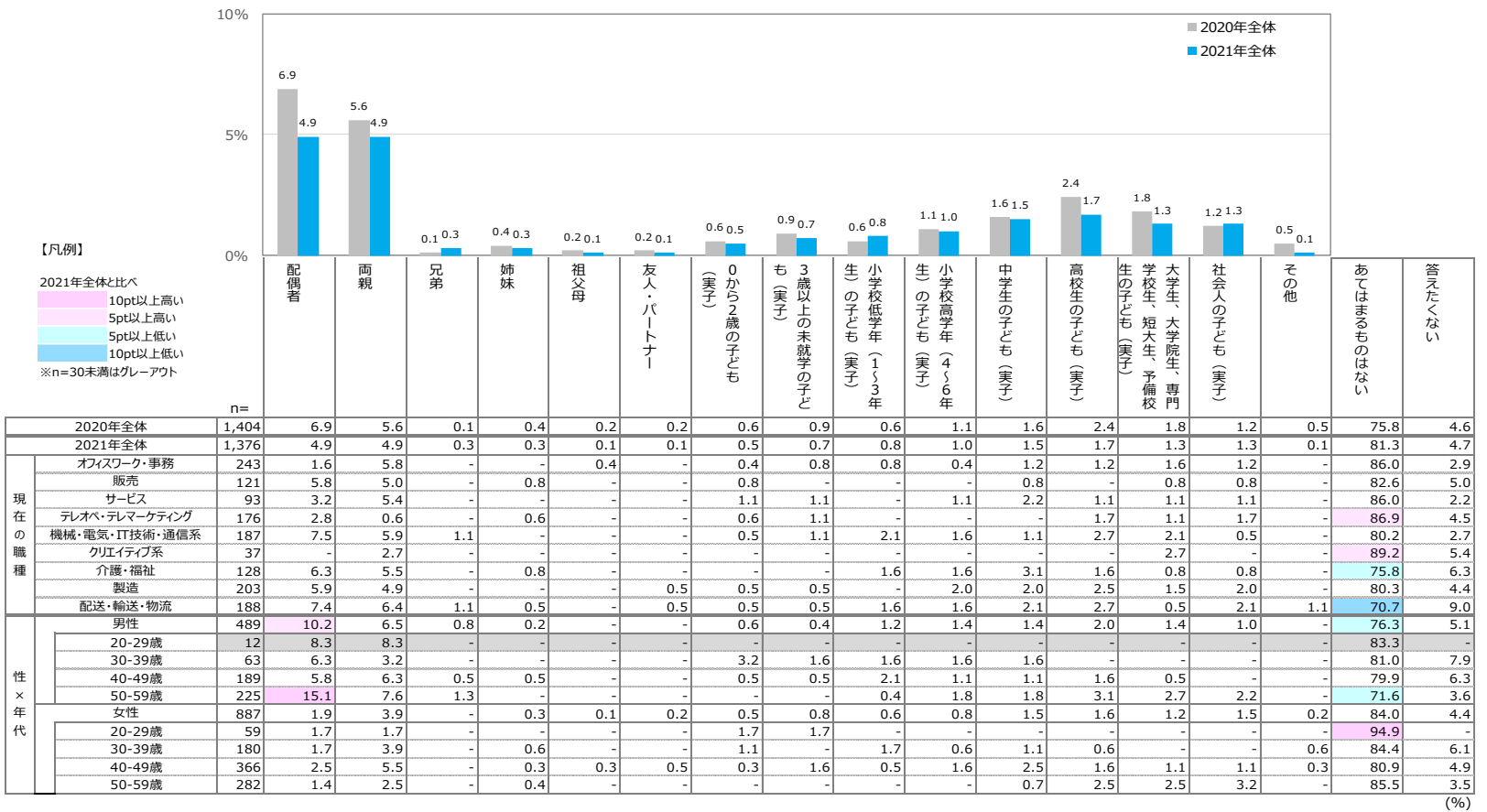
同居家族（複数回答）

- ・現在の職種でみると、各職種いずれも「配偶者」「両親」が多いほか、「一人暮らし」も多い。特に【介護・福祉】は「配偶者」、【クリエイティブ系】は「一人暮らし」が全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【男性・30-39歳】で「両親」、【男性・40-49歳】で「一人暮らし」が約半数と高い。また、【女性・20-29歳】は「両親」「兄弟」が全体に比べ高い。



扶養家族（複数回答）

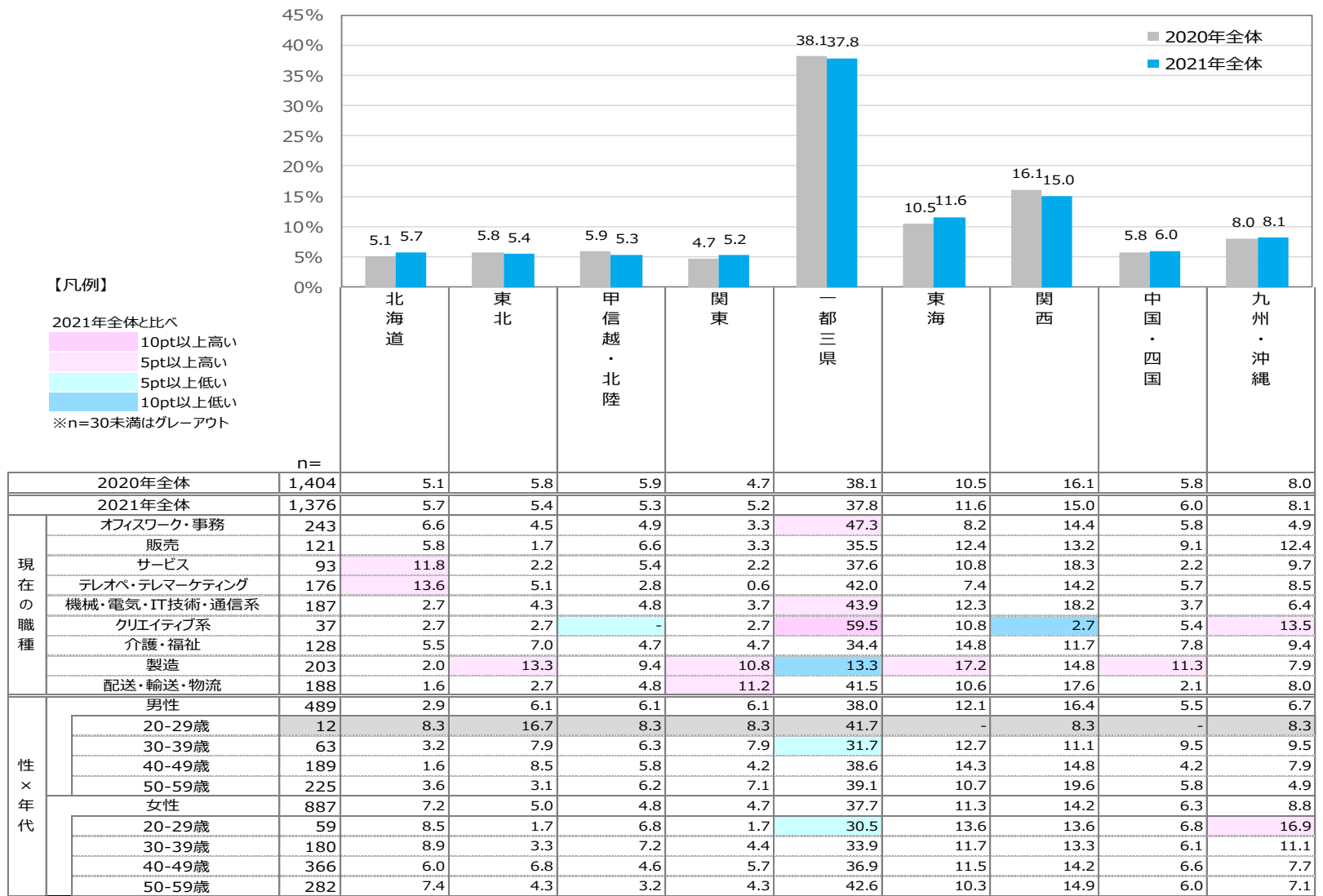
- ・いずれの層においても「あてはまるものはない」という人が最も多い。
- ・性×年代でみると、【男性・50-59歳】で「配偶者」の比率が全体に比べ高い。



(%)

勤務地（単一回答）

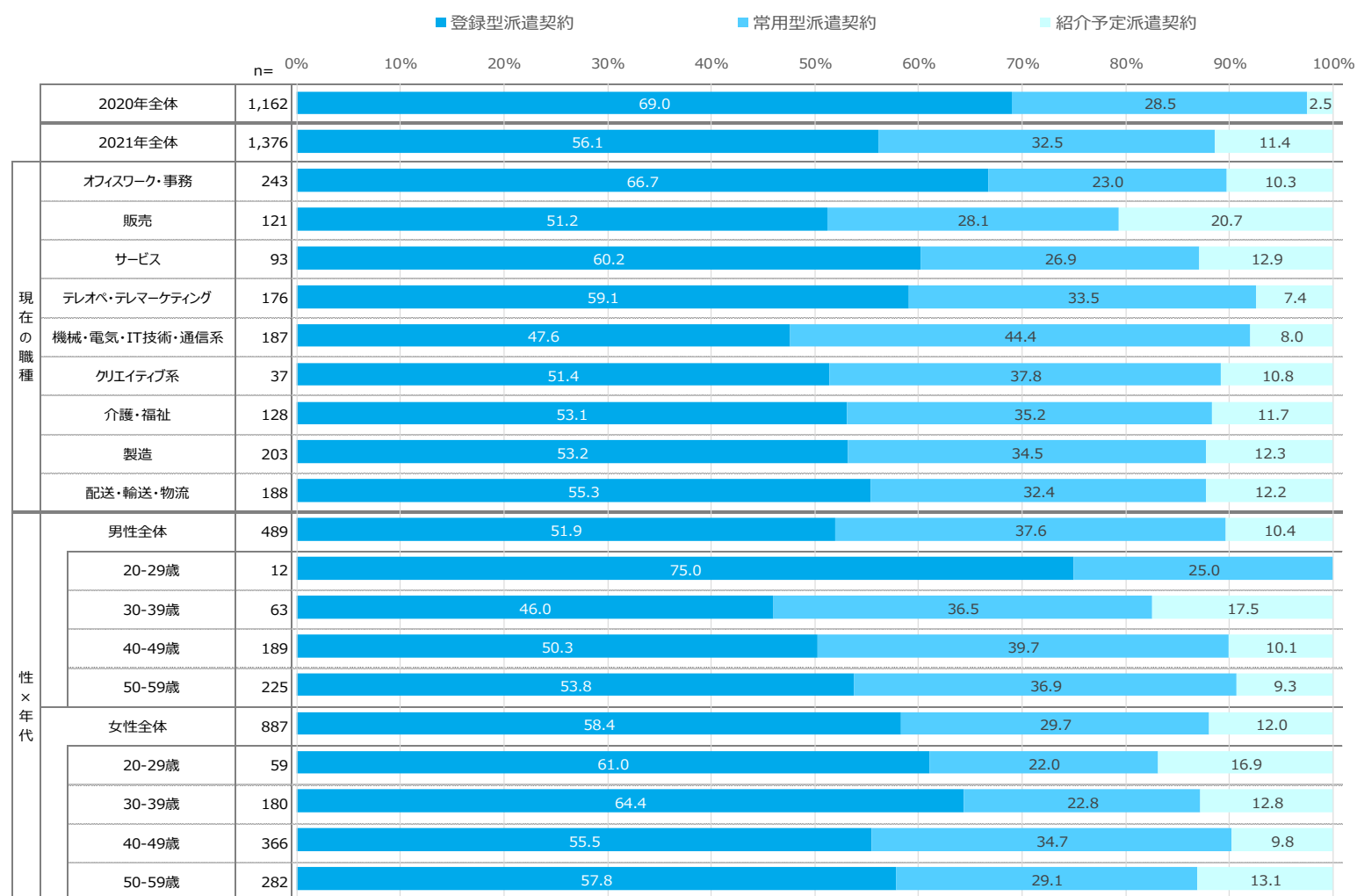
- ・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】で「一都三県」が6割弱と全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「九州・沖縄」の比率がやや高め。



(2) 就労実態

雇用形態（単一回答）

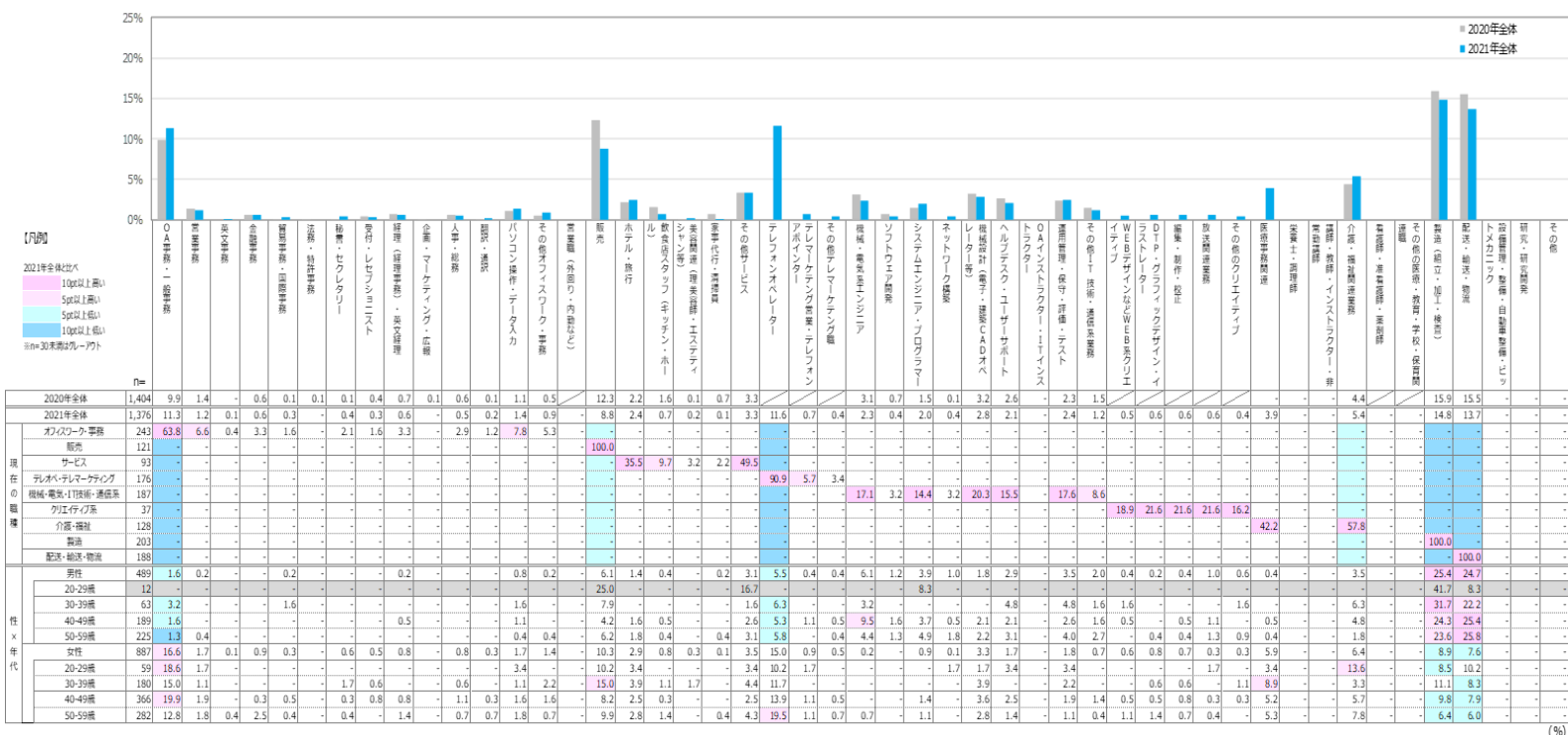
- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】で「登録型派遣契約」が7割弱と最も高い。
また【機械・電気・IT技術・通信系】で「常用型派遣契約」が4割強、【販売】で「紹介予定派遣契約」が
およそ2割と全体に比べ高い。
- ・性×年代では、【女性・30-39歳】で「登録型派遣契約者」がおよそ6割半ば、【男性・40-49歳】で
「常用型派遣契約者」が4割弱と他の職種に比べ高い。



※2020年全体は、「知らない／わからない」を除外して集計

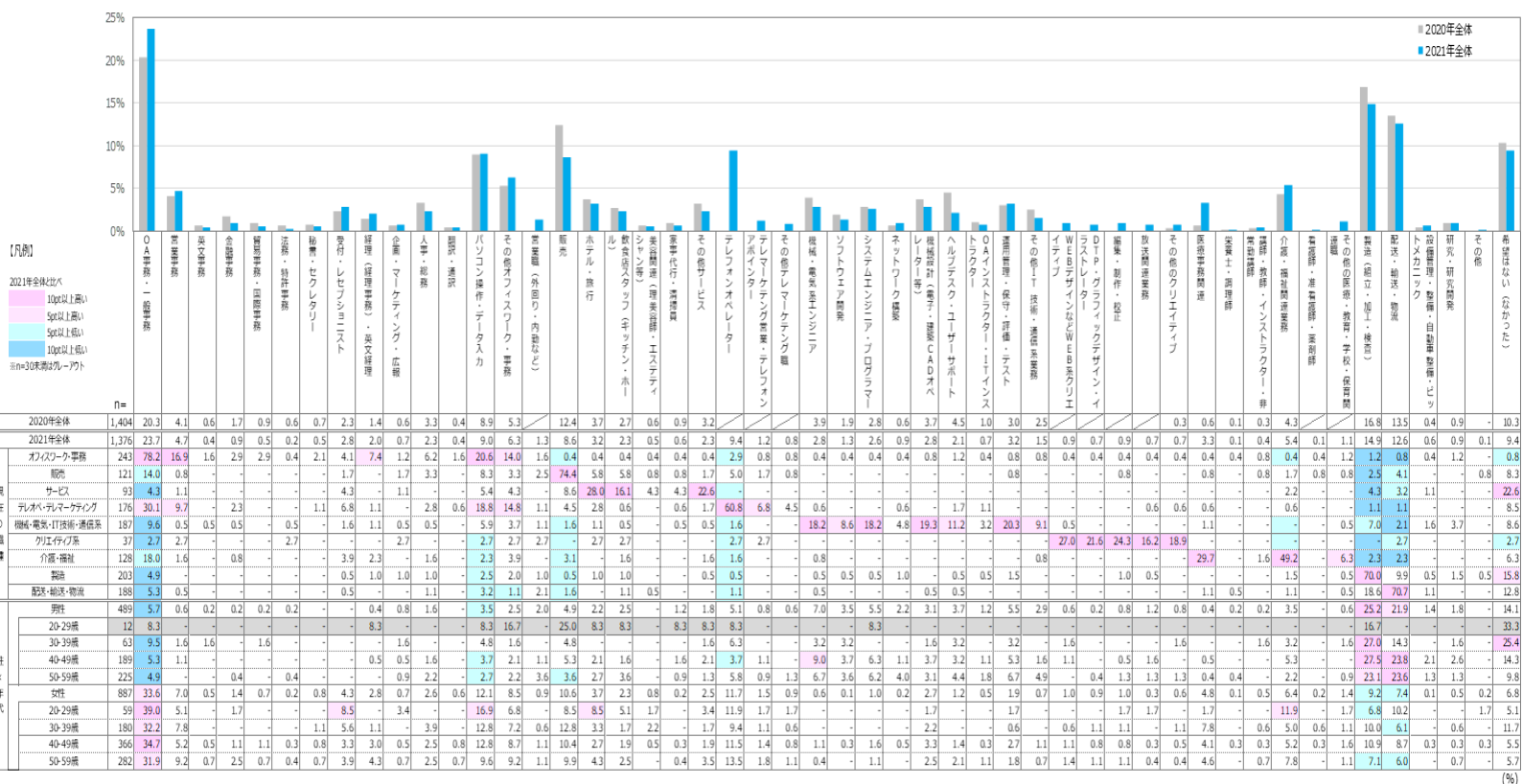
現在の職種（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】で「OA事務・一般事務」、【サービス】で「その他サービス」、【機械・電気・IT技術・通信系】で「機械設計（電子・建築CADオペレーター等）」、【クリエイティブ系】で「DTP・グラフィックデザイン・イラストレーター」「編集・製作・校正」「放送関連業務」がそれぞれ最も多い。
- ・性×年代でみると、【男性・30-39歳】は「製造（組立・加工・検査）」、【男性・40-49歳】【男性・50-59歳】は「配送・輸送・物流」が特に多い。



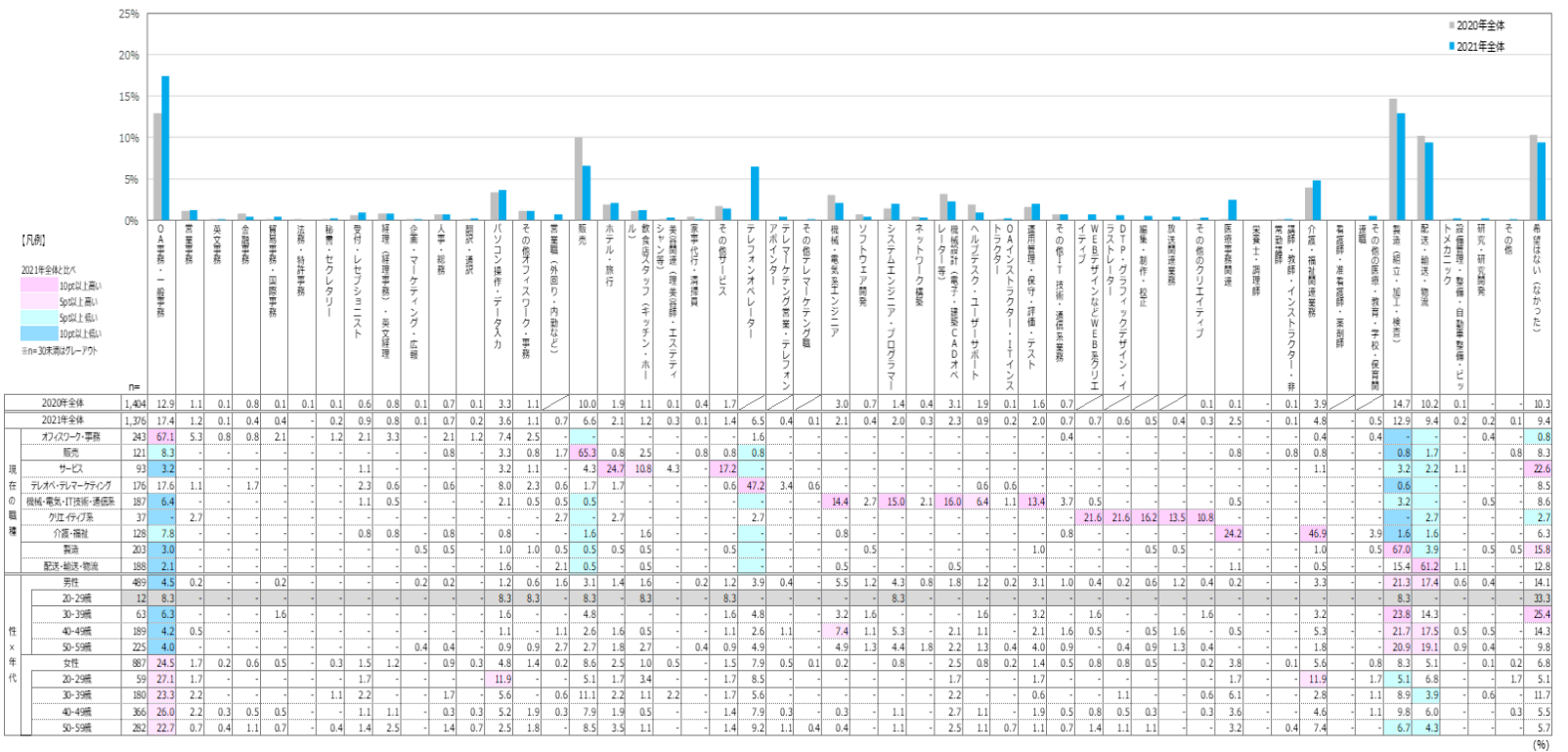
現在働いている派遣の仕事を探した際に希望していた職種（複数回答）

- ・『現在の職種』と『希望していた職種』は概ね合致している。【テレオペ・テレマーケティング】で「OA事務・一般事務」がおよそ3割と比較的高め。性×年代でみると、【女性】はいずれの年代も「OA事務・一般事務」希望者が最も多い。【男性・30-39歳】は「製造（組立・加工・検査）」が3割弱で全体に比べ高いが、「希望はない（なかった）」も同程度にのぼる。



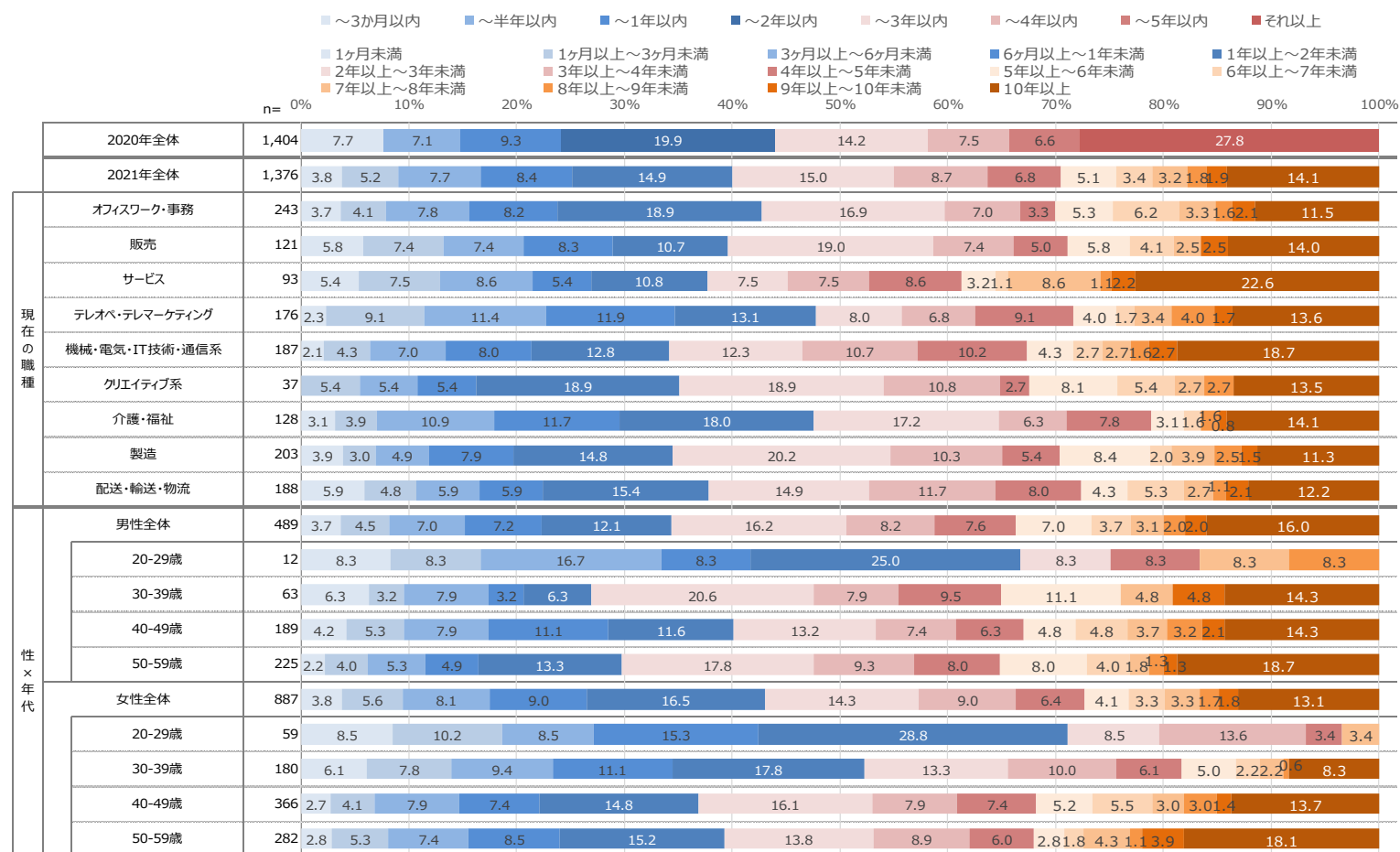
現在働いている派遣の仕事を探した際に最も希望していた職種（単一回答）

- ・『現在の職種』と『最も希望していた職種』も概ね合致している。【サービス】で「希望はない（なかった）」が2割強と全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【女性】はいずれの年代も「OA事務・一般事務」希望者が最も多い。【男性・30-39歳】は「製造（組立・加工・検査）」が2割強で全体に比べ高いが、「希望はない（なかった）」が最も多くを占める。



現在の派遣元である派遣会社経由での勤務期間（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】【介護・福祉】で「～2年未満」が5割弱と全体に比べやや多い。
一方、【サービス】は「10年以上」が2割強とやや多い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「～2年未満」の割合が7割強を占める。

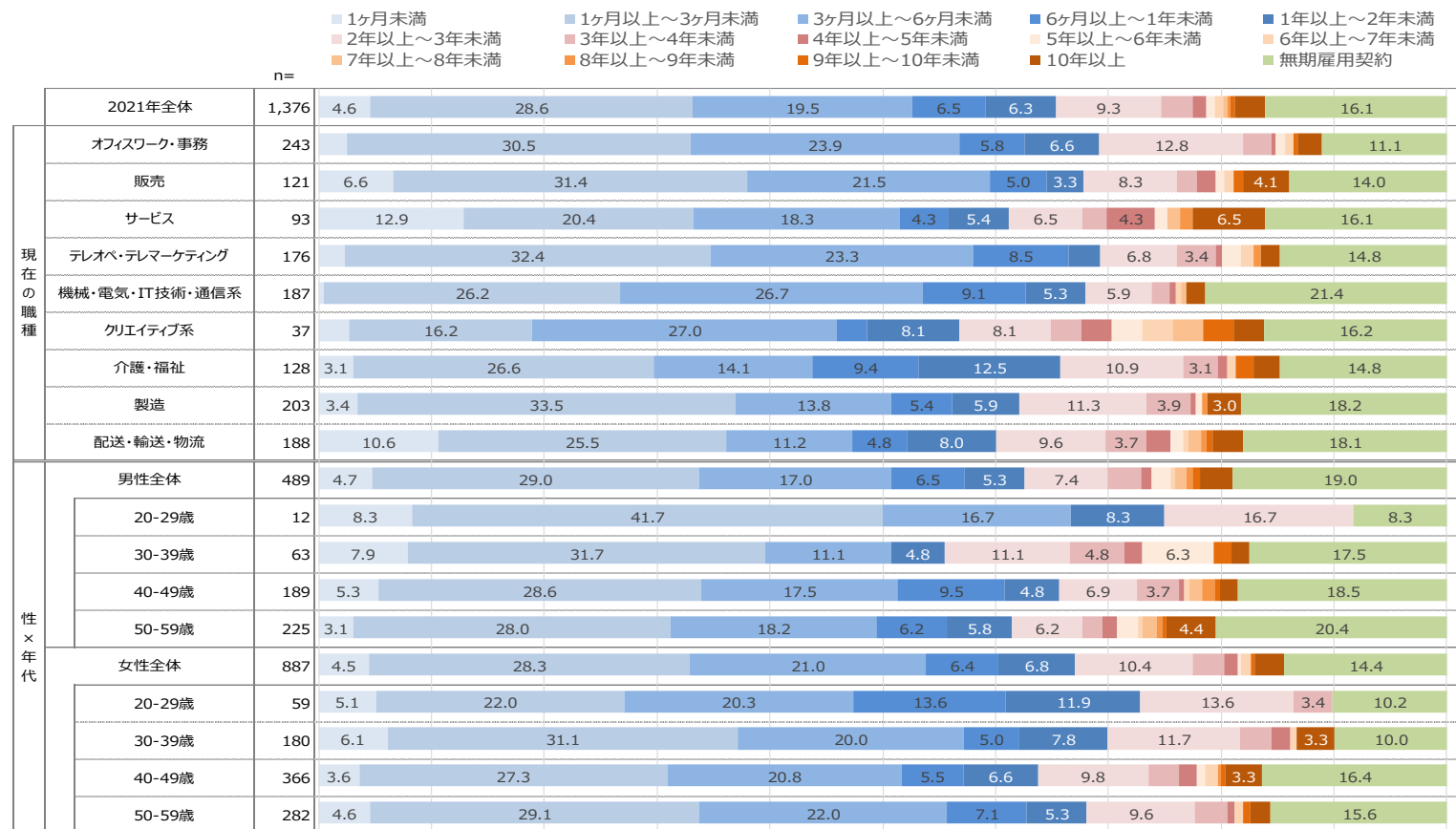


現在の派遣会社との1回あたりの雇用契約期間（単一回答）

・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】で「5年以上～」が1割強と全体に比べやや高い。

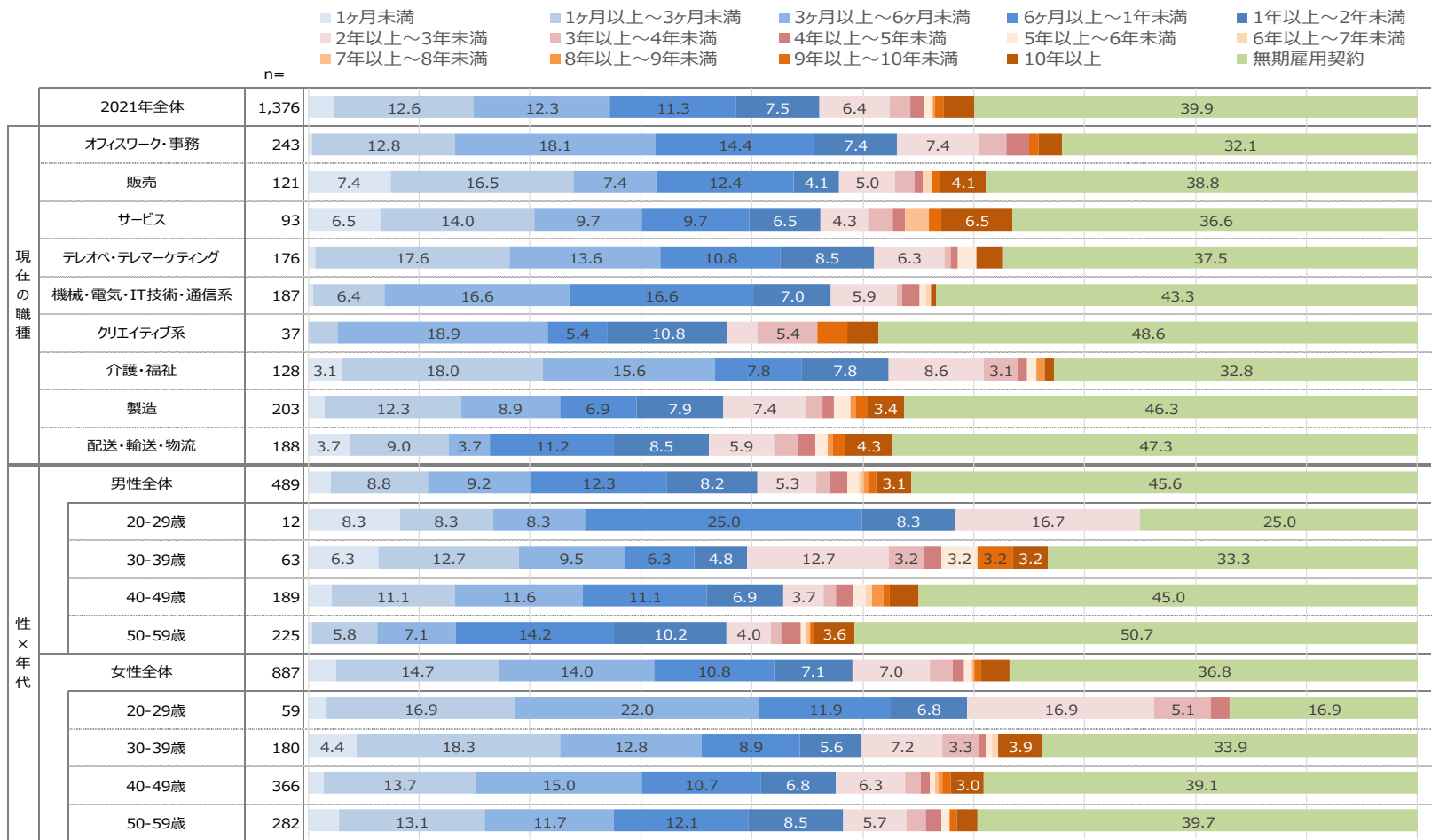
【機械・電気・IT技術・通信系】は「無期雇用契約」が2割強とやや高い。

・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「～2年未満」が7割強とやや高い。



理想とする1回あたりの雇用契約期間（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】【製造】【配送・輸送・物流】は「無期雇用契約」が5割弱とやや高い。
- ・性×年代でみると、【男性・50-59歳】で「無期雇用契約」が全体に比べ高く、過半数を占める。
- 一方、【女性・20-29歳】では「無期雇用契約」は2割弱にとどまり、「3ヶ月以上～6ヶ月未満」が2割強で最も多くを占める。

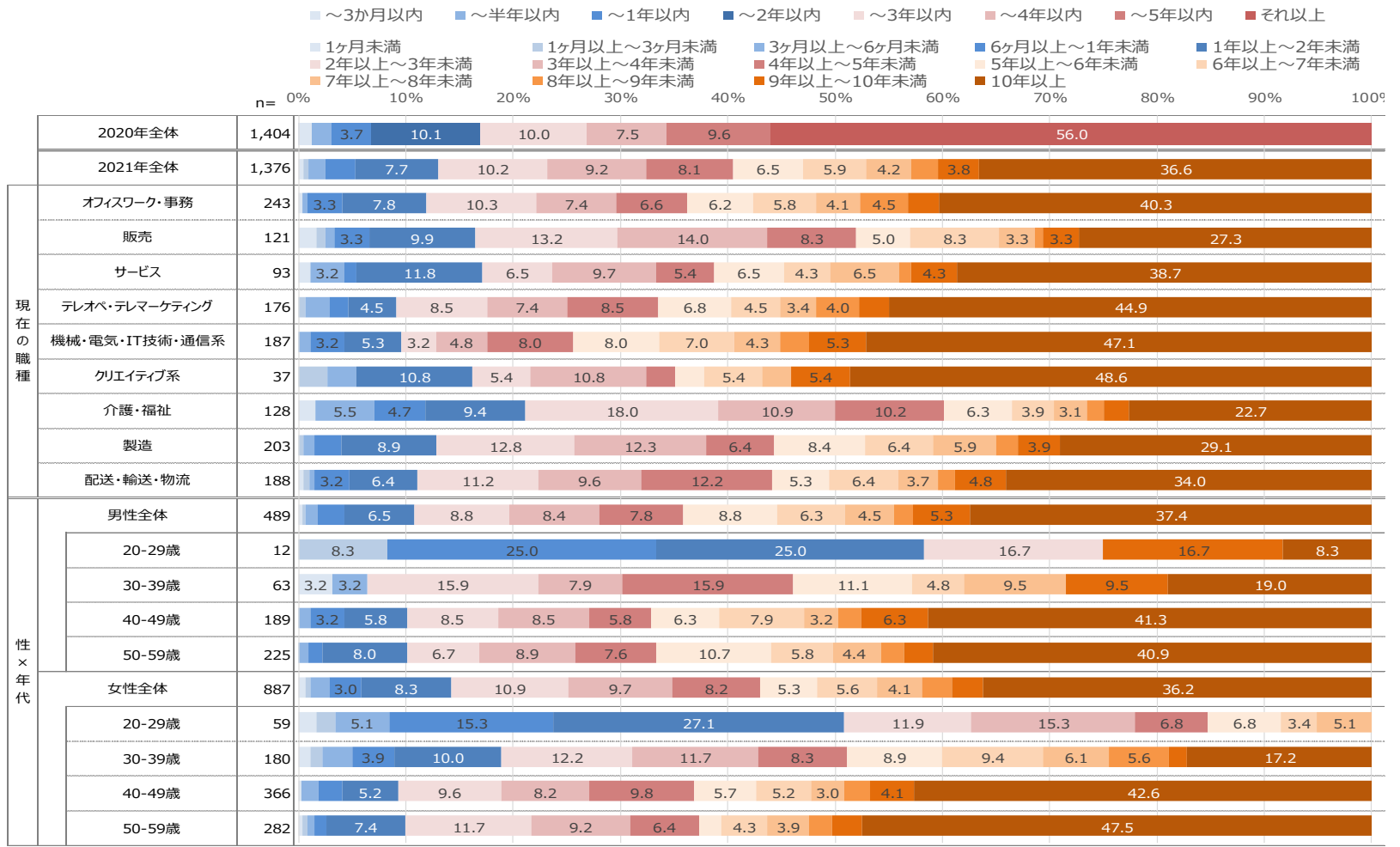


派遣社員として働いてきた総勤務期間（単一回答）

・現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】【機械・電気・IT技術・通信系】「5年以上～」が7割前後と高く、特に【機械・電気・IT技術・通信系】は【クリエイティブ系】とともに「10年以上」が5割弱にのぼる。

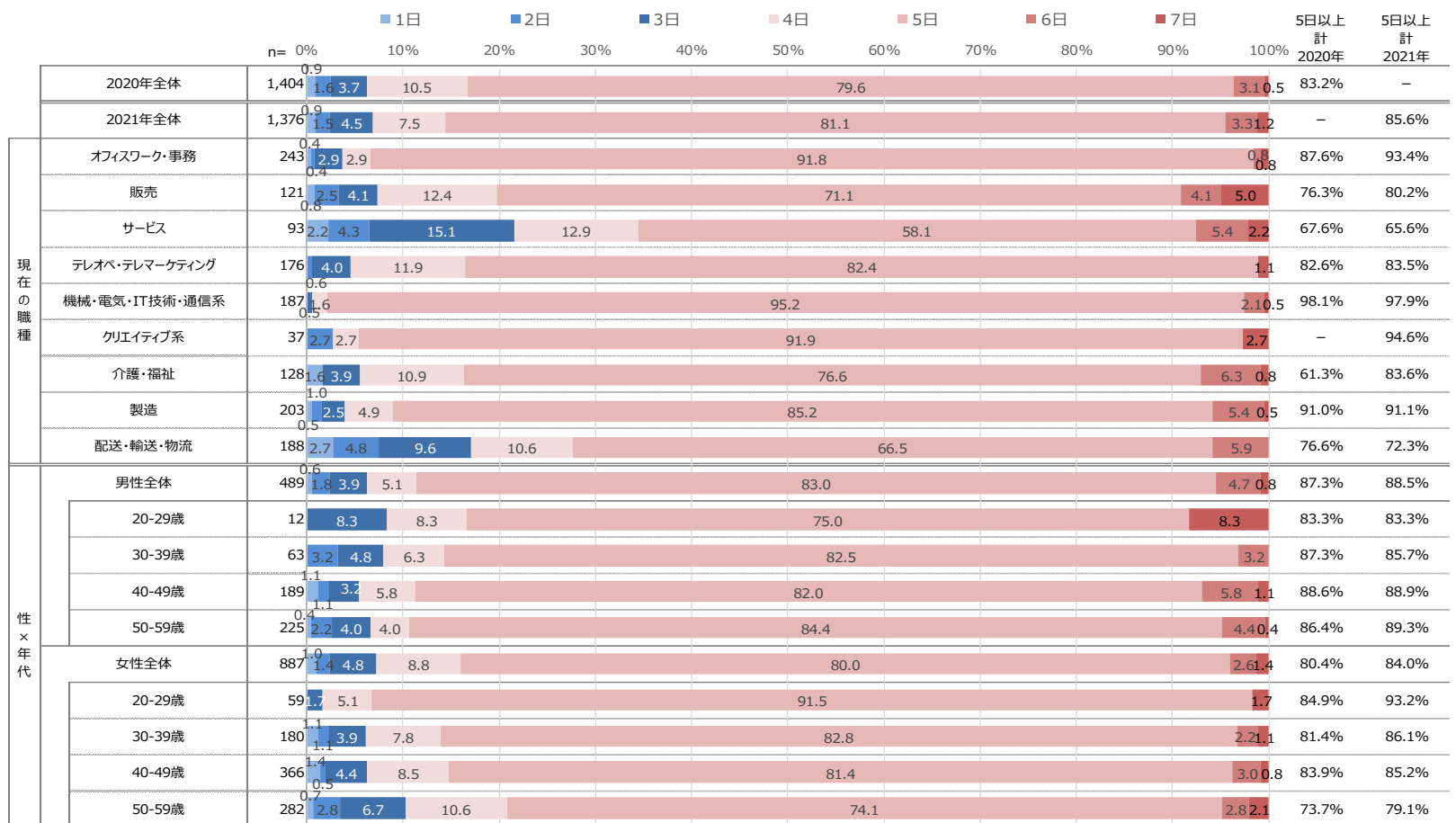
一方、【介護・福祉】は「5年以上～」がおおよそ4割にとどまる。

・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「～2年未満」が過半数を占める。



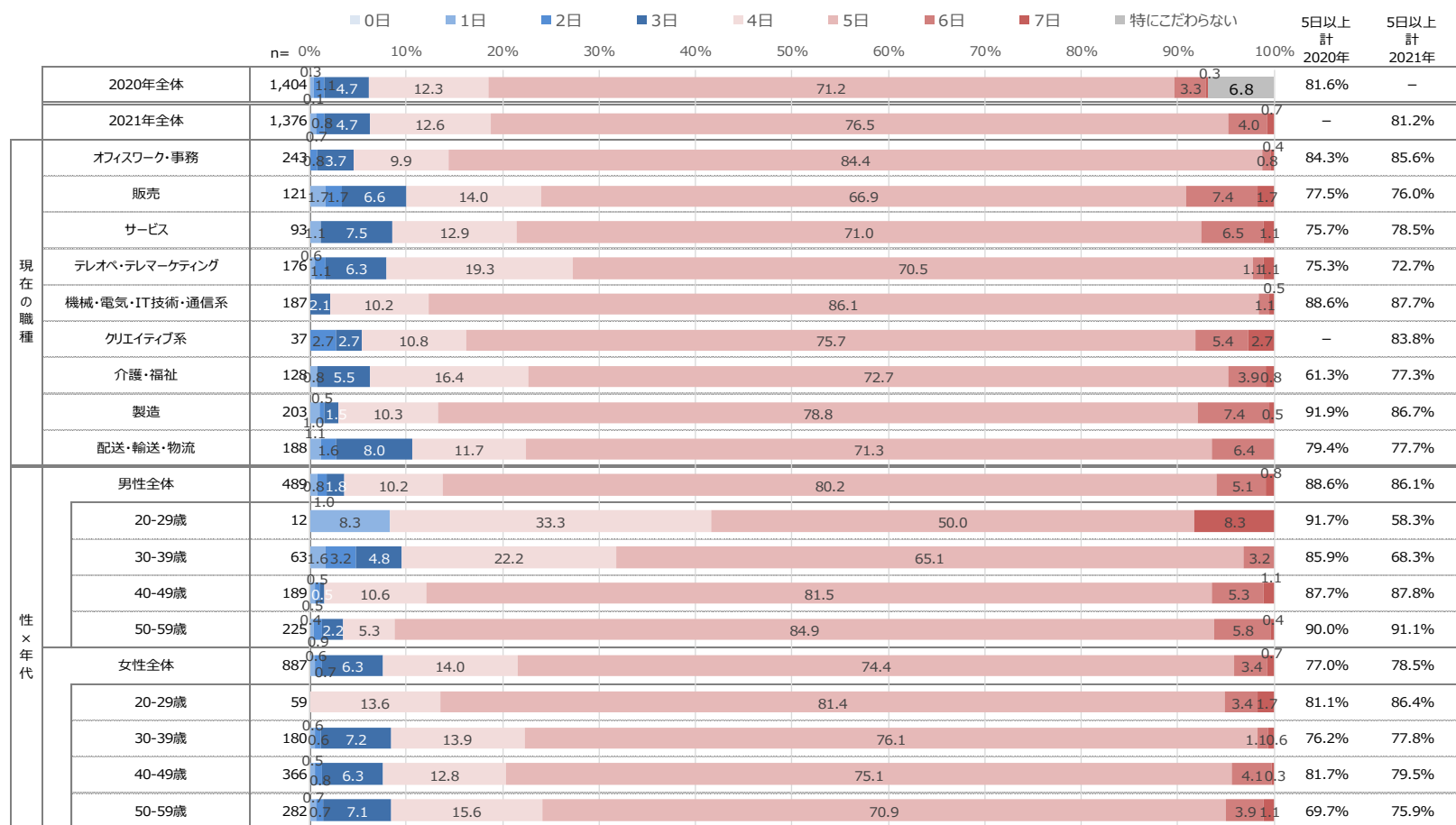
一週間の勤務日数（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれも「5日」が最多。「5日以上計」でみると【オフィスワーク・事務】【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】【製造】で9割台と非常に高い。一方、【サービス】は「5日以上計」が6割半ばにとどまる。
- ・性×年代においても、各年代で「5日」が最多。「5日以上計」でみると【女性】は高年層ほど低く、最も低い【女性・50-59歳】は8割弱にとどまる。



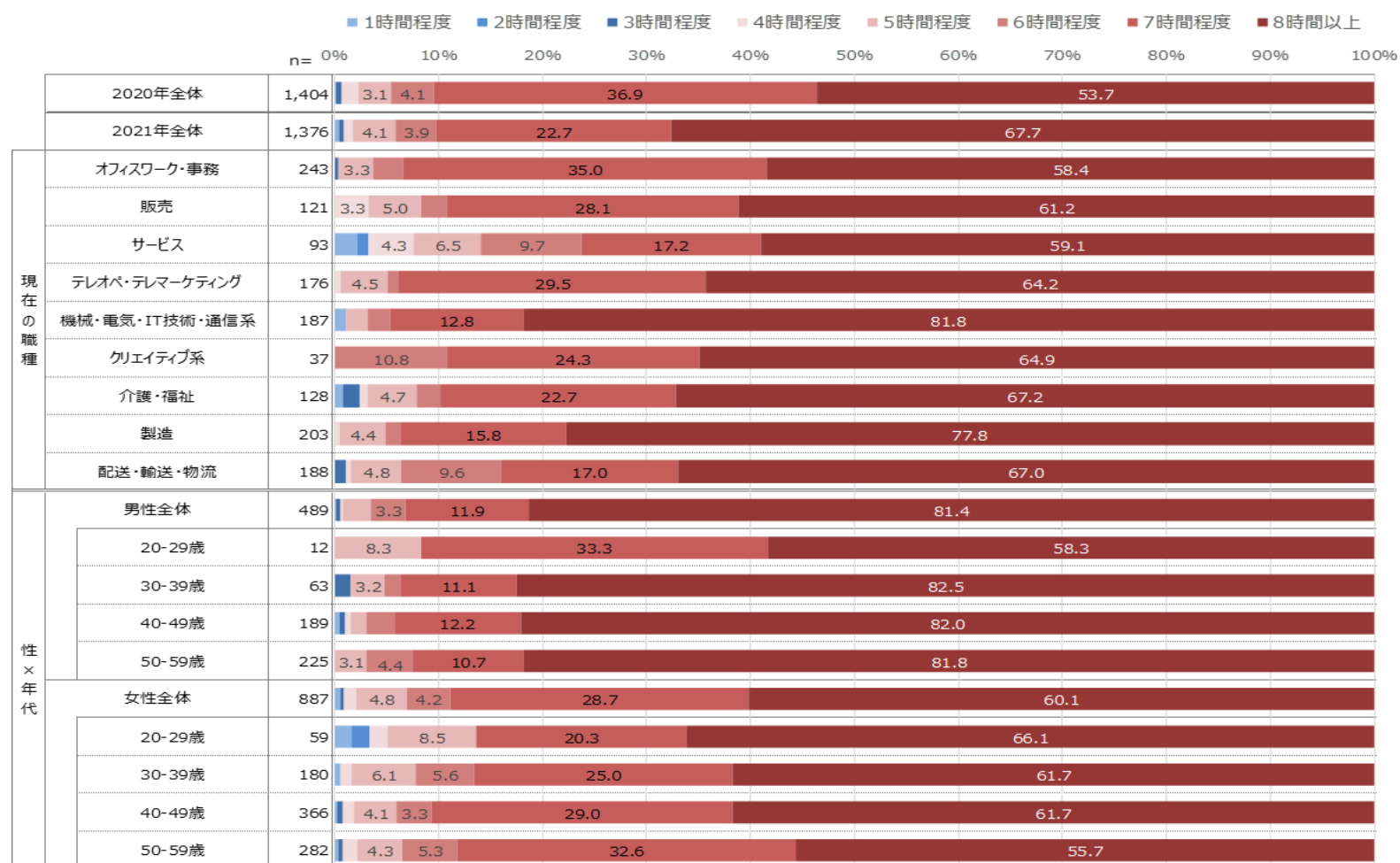
本来希望している勤務日数（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれも「5日」希望者が最多。「5日以上計」でみると【機械・電気・IT技術・通信系】【製造】で9割弱と全体に比べやや高い。
- ・性×年代においても、各年代で「5日」が最多。「5日以上計」でみると【男性・50-59歳】は9割強と特に高く、【男性・30-39歳】で7割弱と低い。



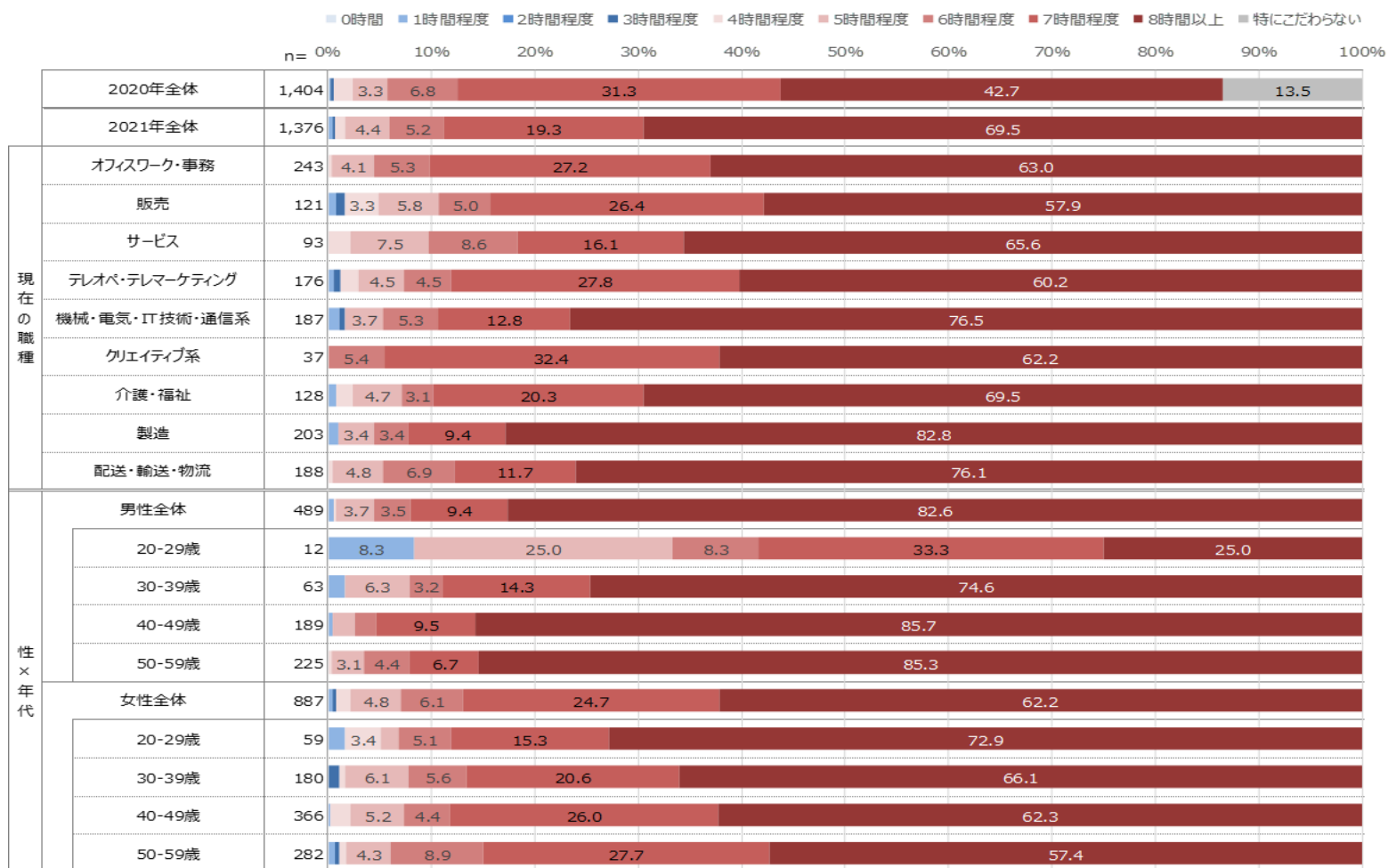
一日の勤務時間（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれも「8時間以上」が最も多くを占める。【機械・電気・IT技術・通信系】【製造】で「8時間以上」が8割前後と特に高い。一方、【オフィスワーク・事務】【販売】【サービス】では「8時間以上」が6割前後にとどまる。
- ・性×年代では【男性】20-29歳を除く年代で「8時間以上」が8割強と、同年代の【女性】より高い。【女性】は20-29歳で「8時間以上」が7割弱と最も高い。



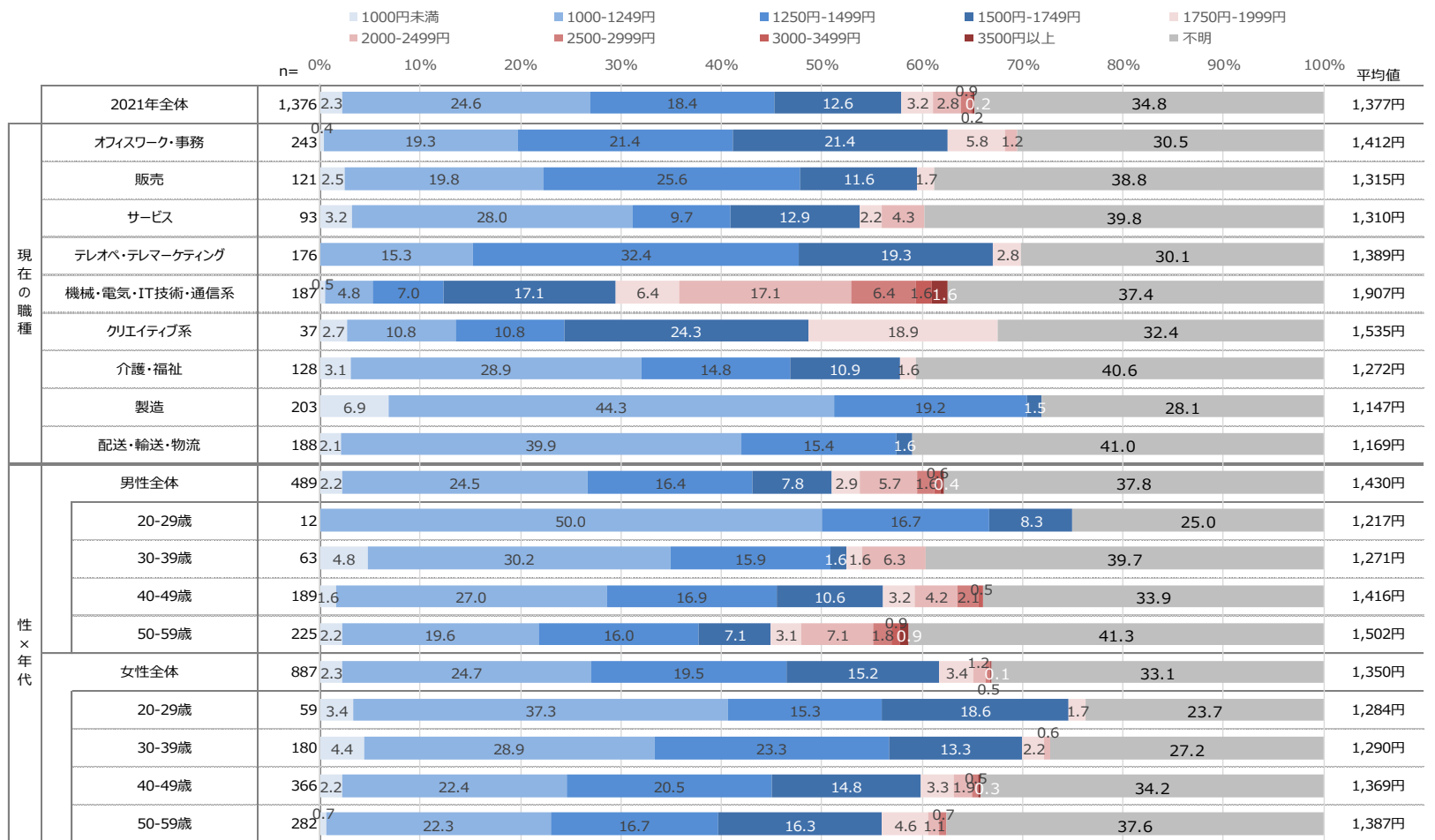
本来希望している勤務時間（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれも「8時間以上」が最も多くを占める。【製造】で「8時間以上」が8割強と特に高い。
- ・性×年代でみると、【男性・40-49歳】【男性・50-59歳】で「8時間以上」が8割半ばと、全体に比べ高い。
【女性】は若年層ほど「8時間以上」の割合が高い。



現在の平均時給（単一回答）

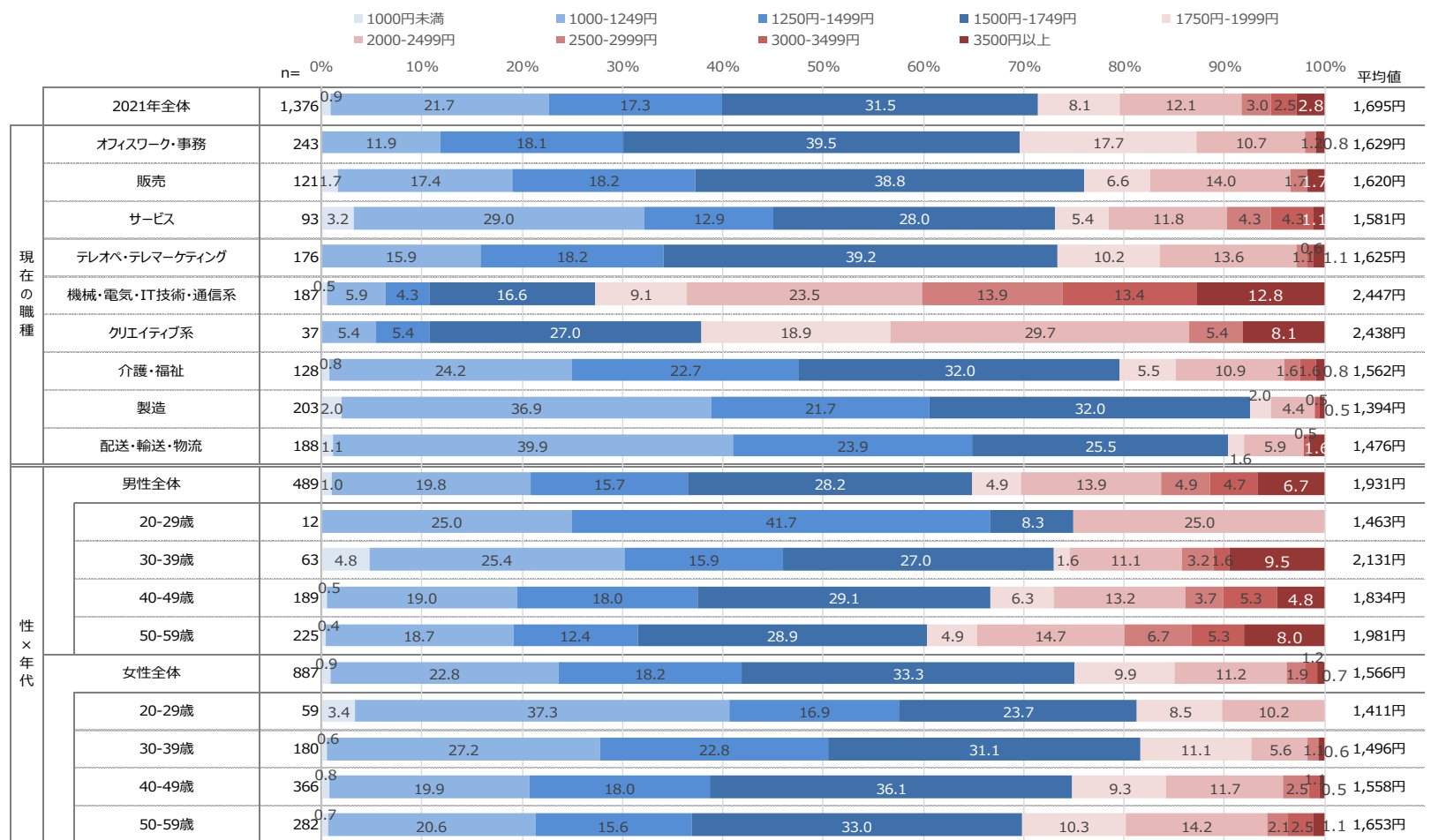
- ・現在の職種でみると、【機械・電気・IT技術・通信系】で平均時給が1,907円と、突出して高い。
一方、【製造】【配送・輸送・物流】の平均時給は1,150円前後と、全体に比べ200円ほど低い。
- ・性×年代でみると、【男性】では50-59歳で平均時給が1,502円、【女性】でも50-59歳で平均時給が1,387円と最も高い。



希望する時給（単一回答）

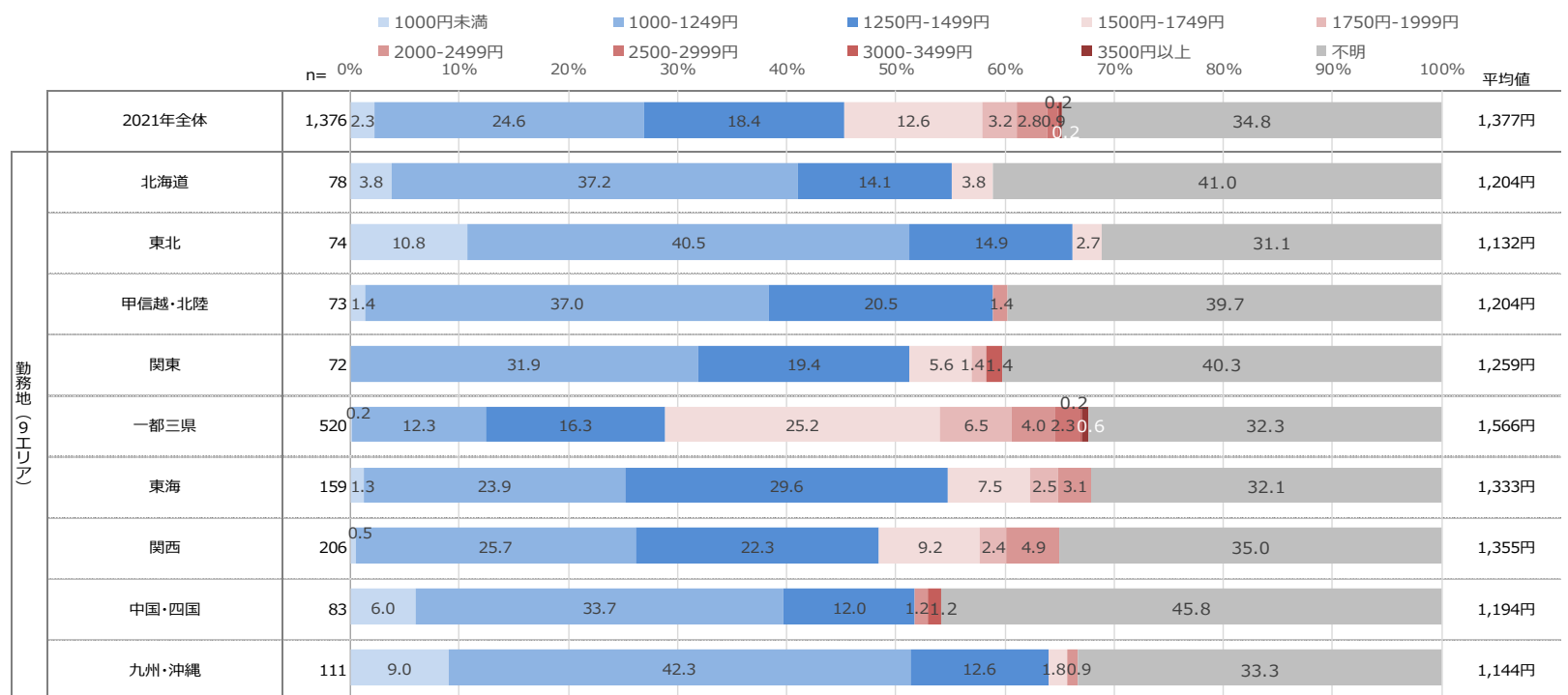
・現在の職種でみると、【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で希望する平均時給が2,400円台と、突出して高い。
最も低い職種は【製造】で1,394円。

・性×年代でみると、【男性】では30-39歳で平均時給が2,131円で最も高い。【女性】では50-59歳が1,653円で最も高いが、
全体の希望平均時給を下回る。



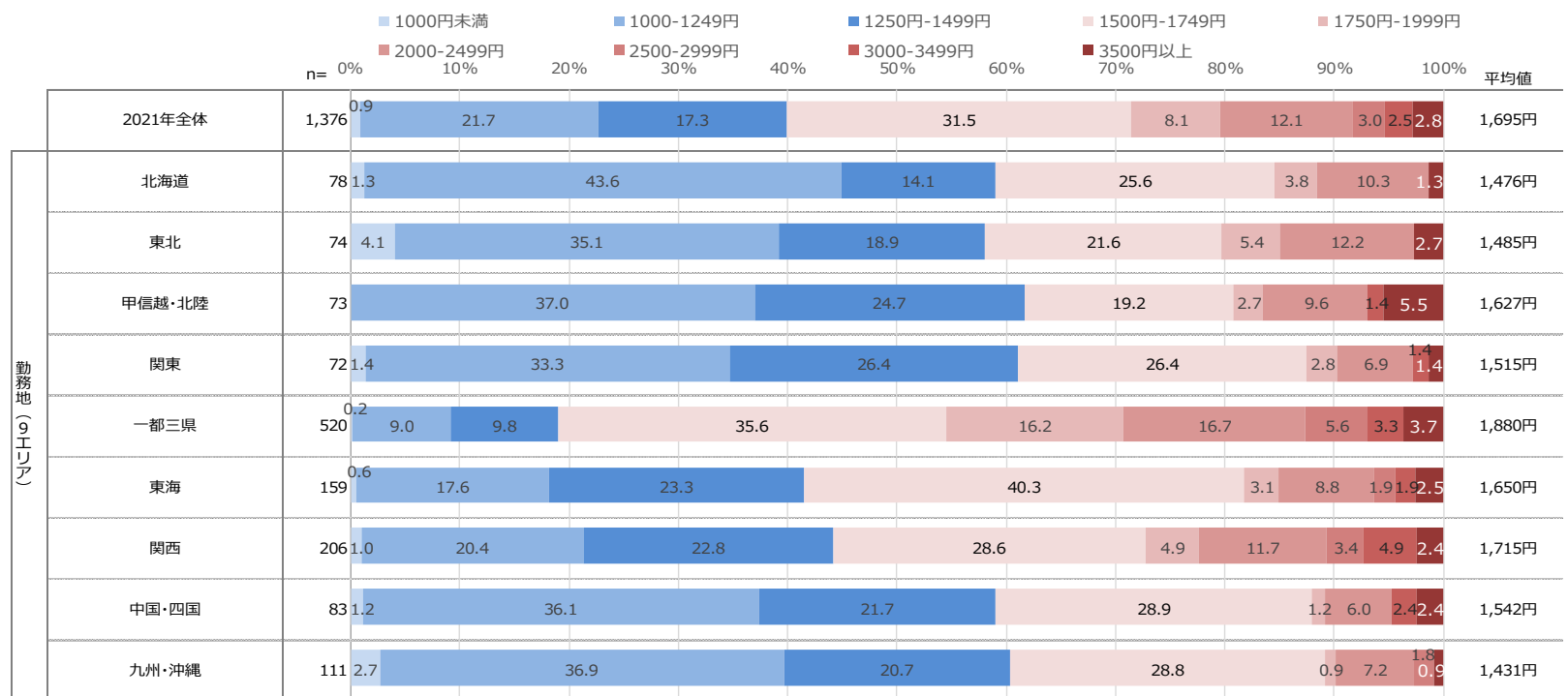
現在の平均時給（エリア別）（単一回答）

・勤務地で平均時給をみると、最も高い【一都三県】で1,566円。特に低い【東北】【中国・四国】【九州・沖縄】で1,100円台と、
400円程度の差がある。



希望する時給（エリア別）（単一回答）

・勤務地で希望する平均時給をみると、最も高い【一都三県】で1,880円、特に低い【北海道】【東北】【九州・沖縄】で1,400円台と、400円程度の差がある。

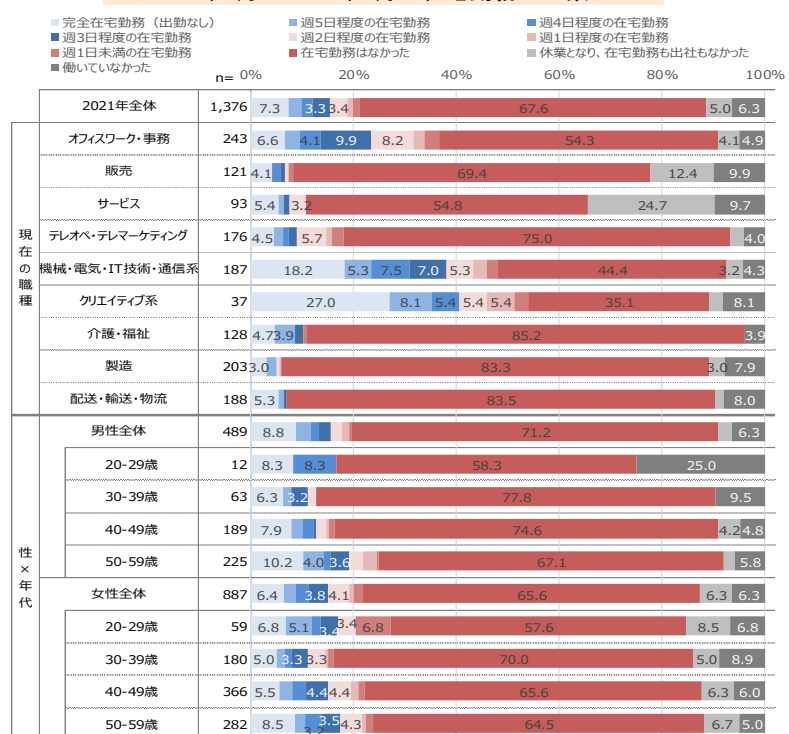


在宅勤務実態：2020年4月～7月（単一回答）

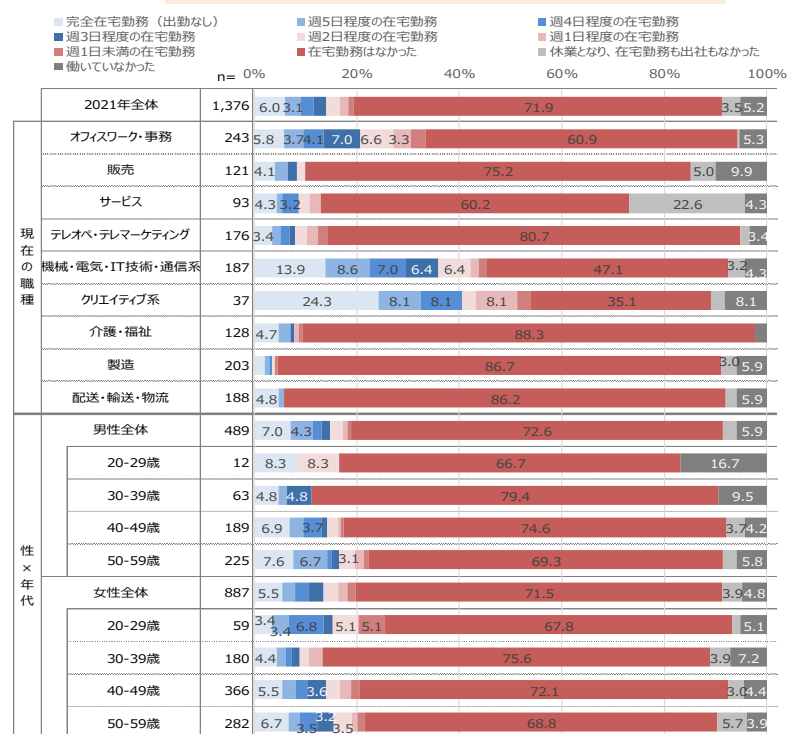
・現在の職種でみると、2020年4月～7月は【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で「完全在宅勤務（出勤なし）」、「【サービス】で「休業となり、在宅勤務も出社もなかった」が全体に比べ高い、いずれの職種も「在宅勤務はなかった」が最も多くを占める。

・性×年代でみると、2020年4月～7月は【男性・30-39歳】で「在宅勤務はなかった」が8割弱と全体に比べ高い。

<2020年4月～2020年5月の在宅勤務の日数>



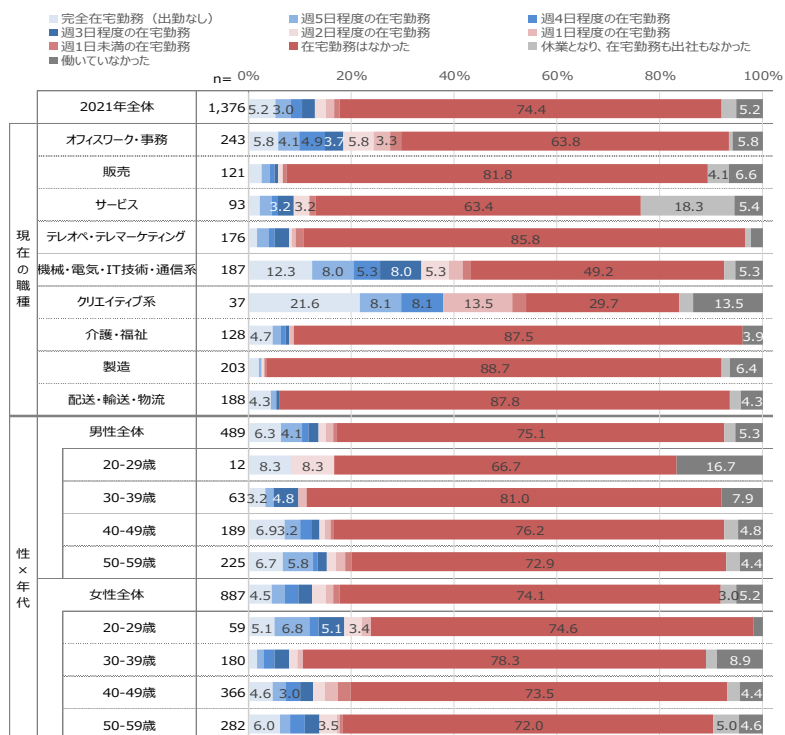
<2020年6月～2020年7月の在宅勤務の日数>



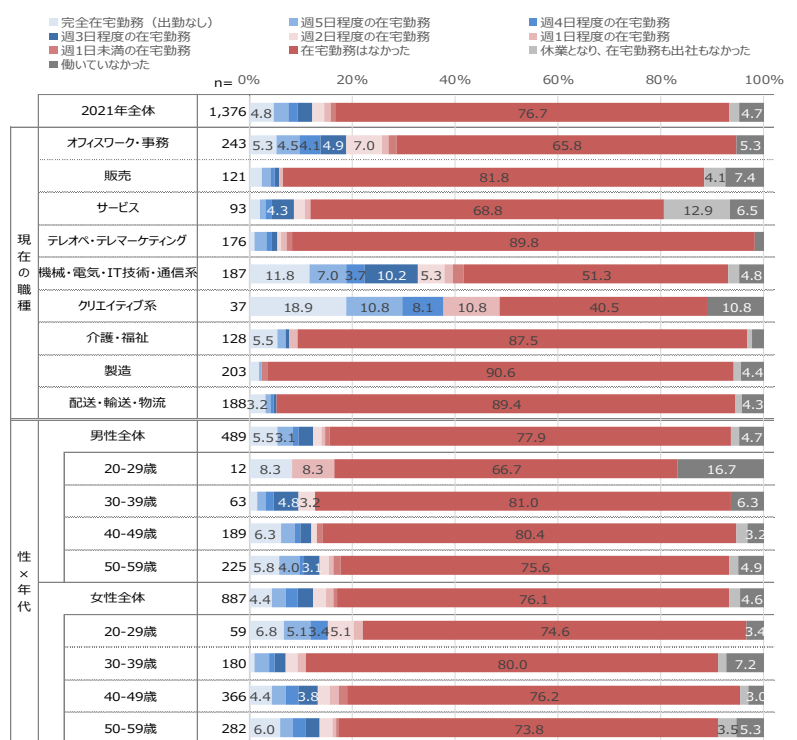
在宅勤務実態：2020年8月～11月（単一回答）

- ・現在の職種でみると、2020年8月～11月は【クリエイティブ系】で「完全在宅勤務（出勤なし）」、「【サービス】で「休業となり、在宅勤務も出社もなかった」が全体に比べ高いが、いずれの職種も「在宅勤務はなかった」が最も多くを占める。
- ・性×年代でみると、2020年8月～9月は【男性・30-39歳】で「在宅勤務はなかった」が8割強と全体に比べやや高い。10月～11月は大きな差はみられない。

＜2020年8月～2020年9月の在宅勤務の日数＞



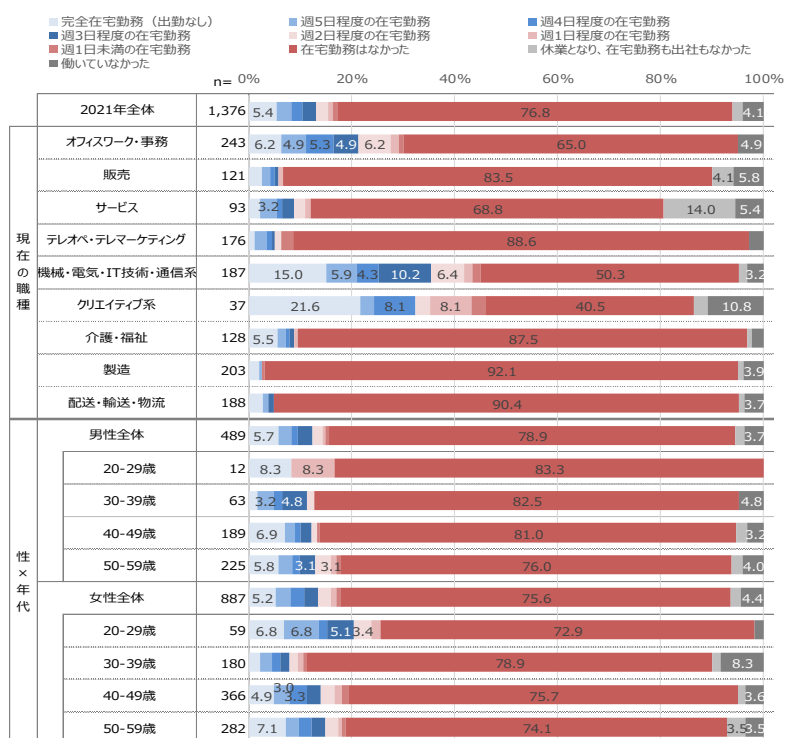
＜2020年10月～2020年11月の在宅勤務の日数＞



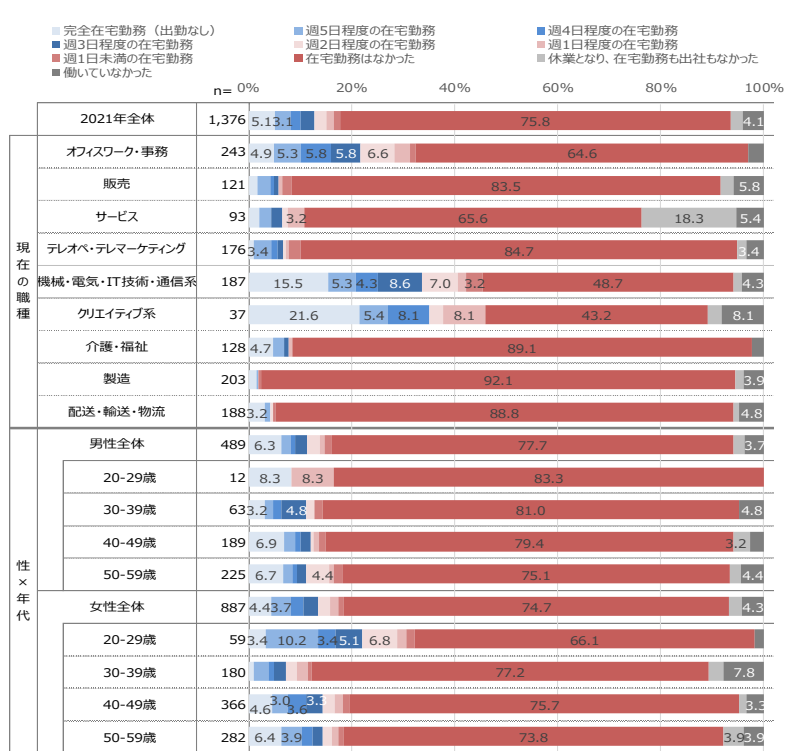
在宅勤務実態：2020年12月～2021年3月（単一回答）

- ・現在の職種でみると、2020年12月～2021年3月は【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で「完全在宅勤務（出勤なし）」、「【サービス】で「休業となり、在宅勤務も出社もなかった」が全体に比べ高いが、いずれの職種も「在宅勤務はなかった」が最も多くを占める。
- ・性×年代でみると、2021年2月～3月は【女性・20-29歳】で「在宅勤務はなかった」が7割弱と全体に比べやや低い。

＜2020年12月～2021年1月の在宅勤務の日数＞



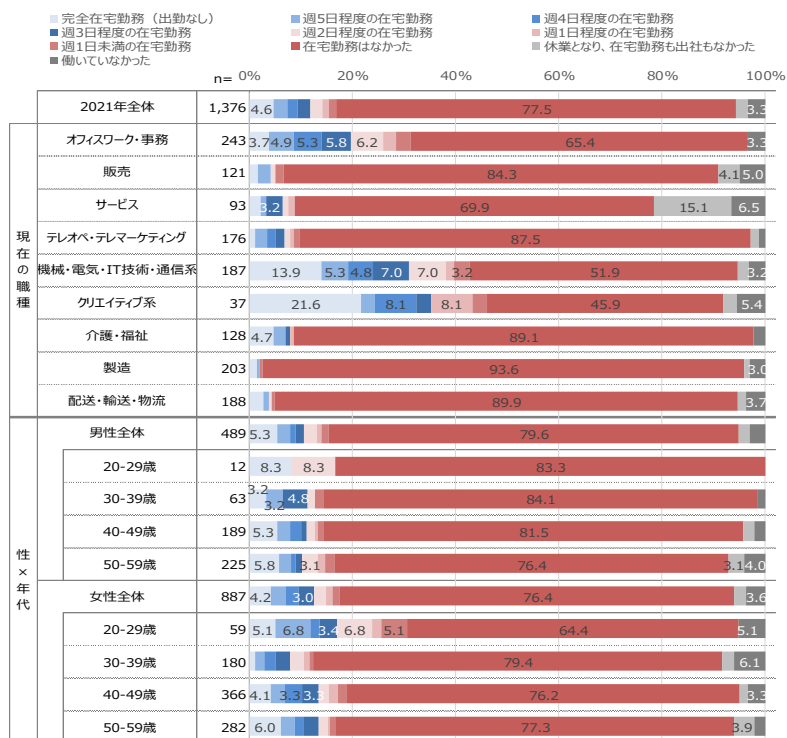
＜2021年2月～2021年3月の在宅勤務の日数＞



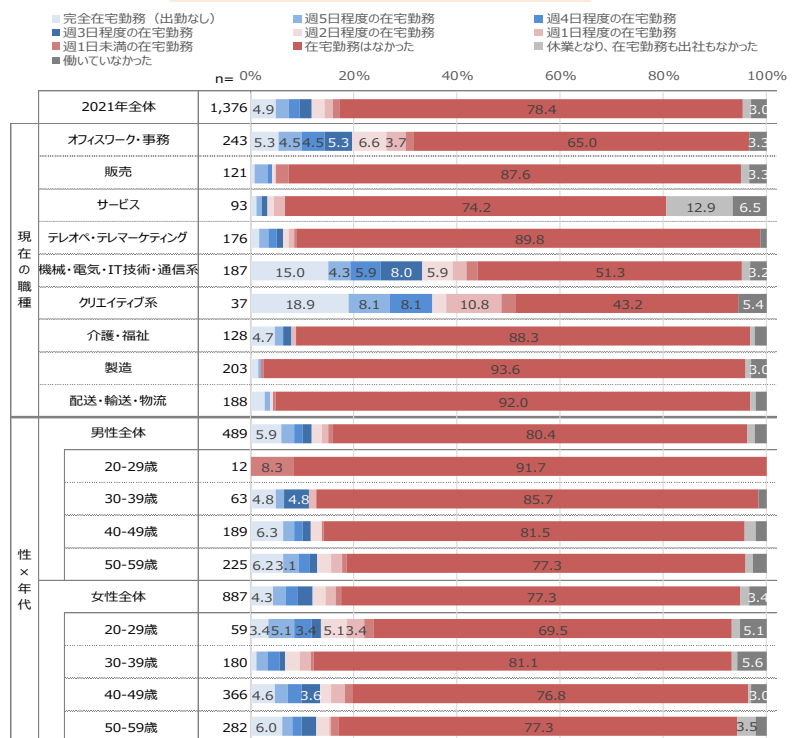
在宅勤務実態：2021年4月～6月（単一回答）

- ・現在の職種でみると、2021年4月～6月は【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で「完全在宅勤務（出勤なし）」、「【サービス】で「休業となり、在宅勤務も出社もなかった」が全体に比べ高いが、いずれの職種も「在宅勤務はなかった」が最も多くを占める。
- ・性×年代でみると、2021年4月～5月は【女性・20-29歳】で「在宅勤務はなかった」が6割半ばと全体に比べ低い。

＜2021年4月～2021年5月の在宅勤務の日数＞



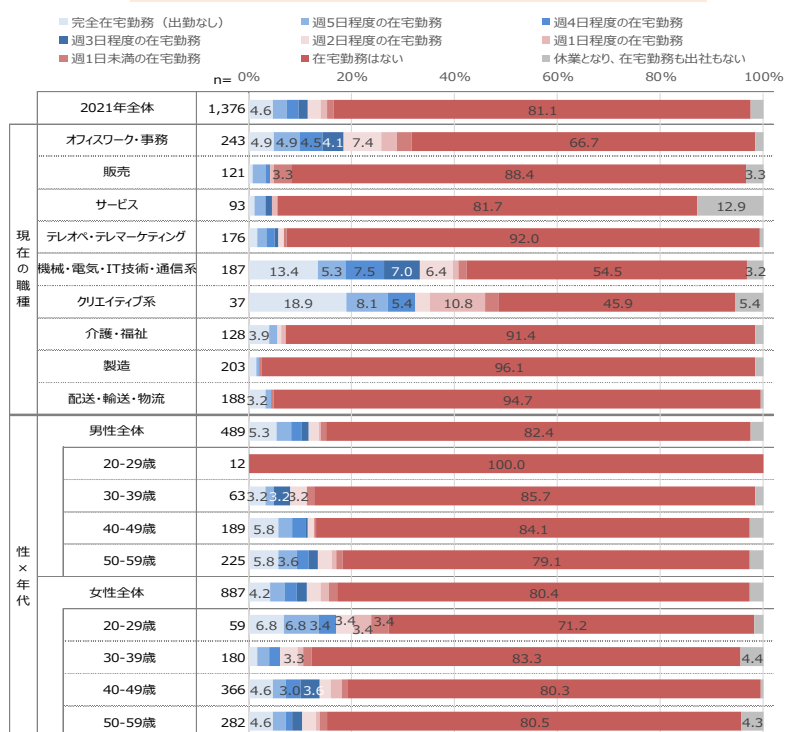
＜2021年6月の在宅勤務の日数＞



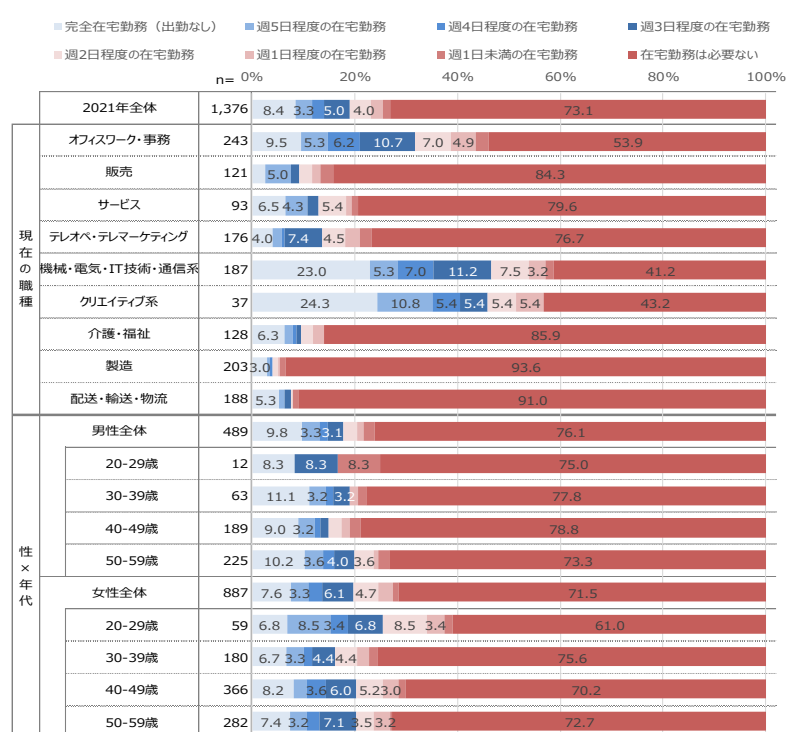
在宅勤務実態：2021年7月の予定／希望の日数（単一回答）

- ・現在の職種でみると、2021年7月の予定は【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で「完全在宅勤務（出勤なし）」、「【サービス】で「休業となり、在宅勤務も出社もない」が全体に比べ高いが、いずれの職種も「在宅勤務はない」が最も多くを占める。
- ・希望している在宅勤務の日数では、「在宅勤務は必要ない」が7割強となった。
- ・性×年代でみると、希望は【女性・20-29歳】で「在宅勤務は必要ない」が6割強と全体に比べ低い。

＜2021年7月に予定されている在宅勤務の日数＞



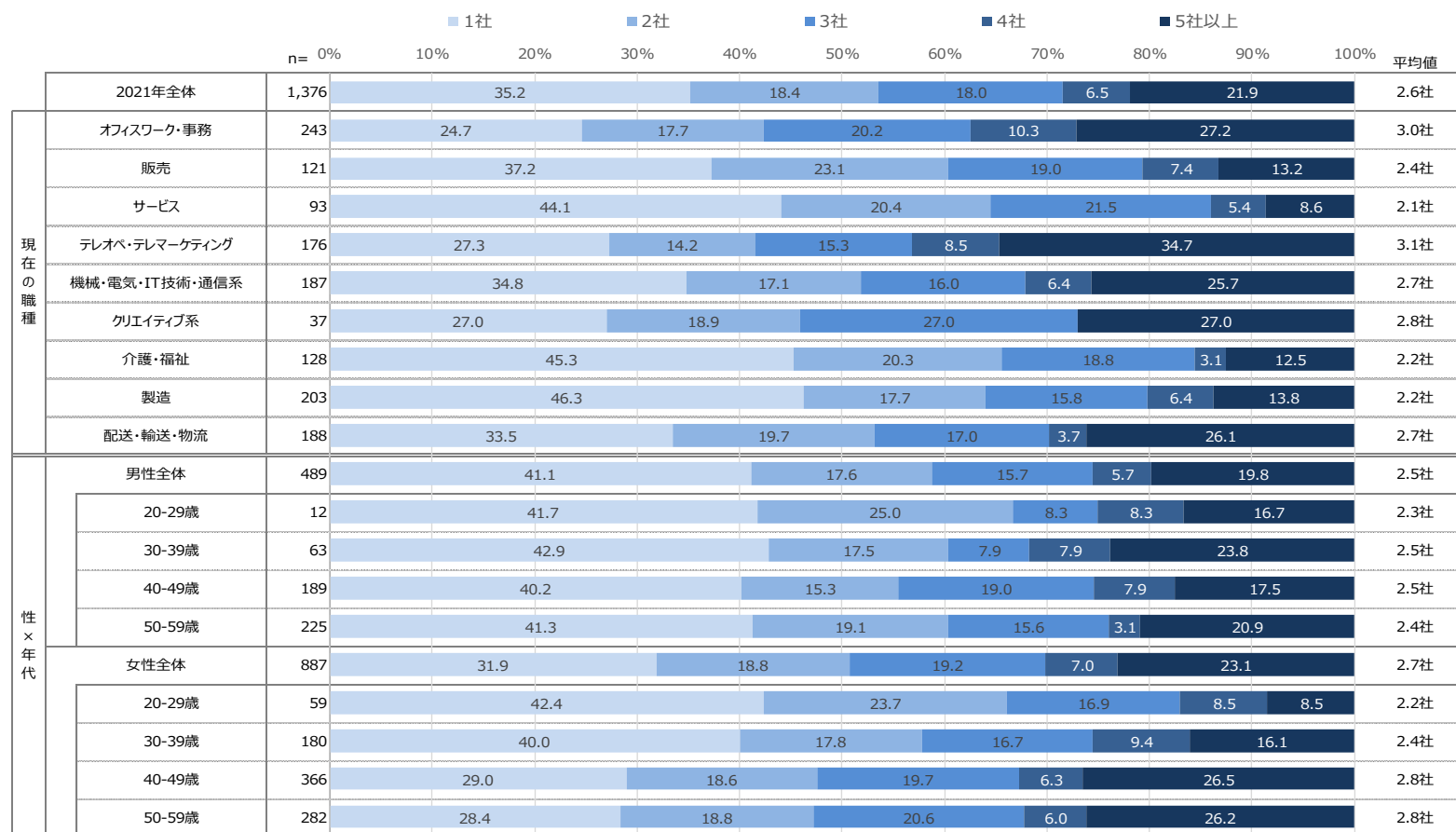
＜希望している在宅勤務の日数＞



（3）派遣会社選びの実態

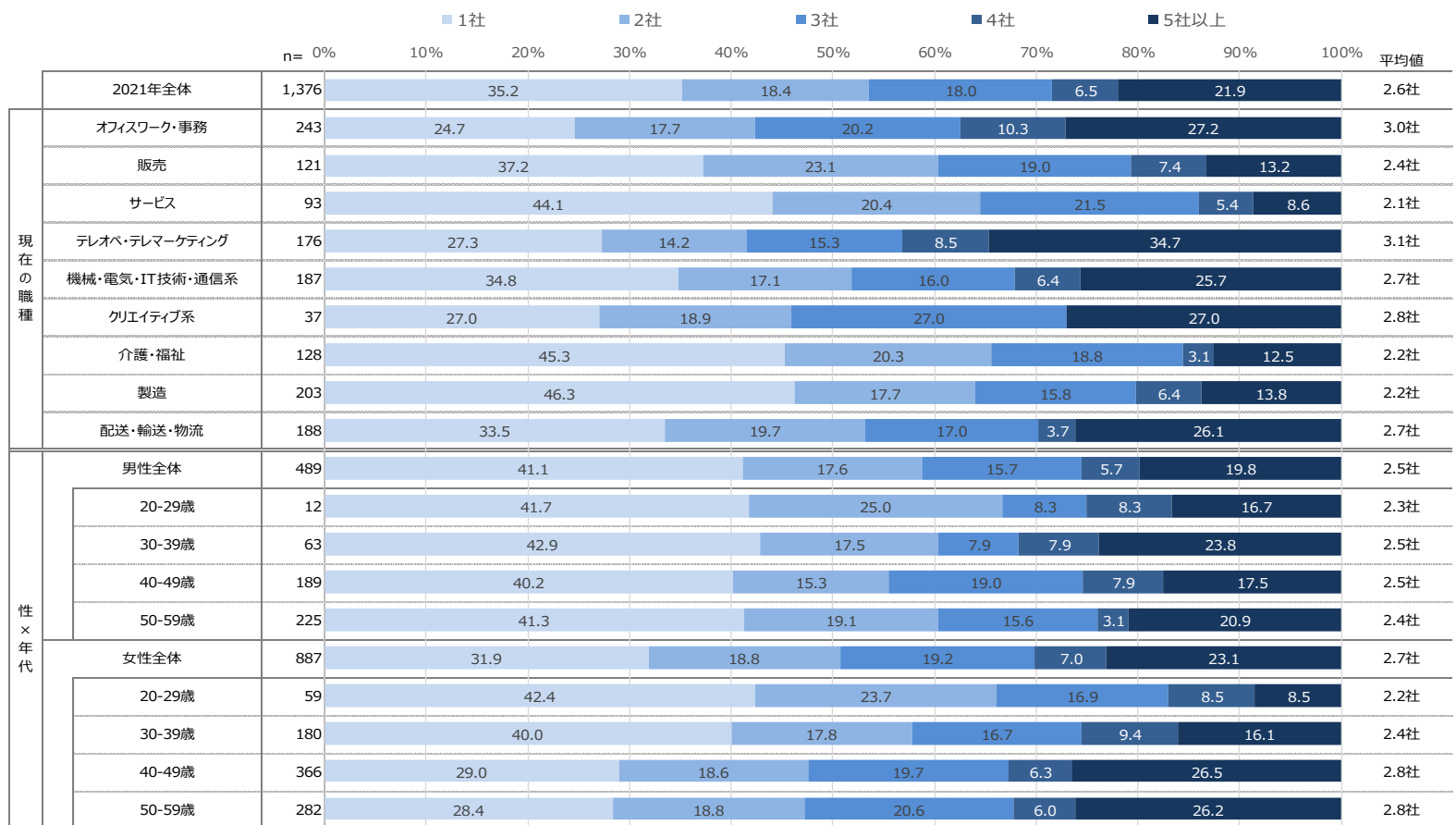
登録したことのある派遣会社の数（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】【テレオペ・テレマーケティング】【クリエイティブ系】で「2社以上」登録している人が7割超と他の職種よりも多く、特に【テレオペ・テレマーケティング】では「5社以上」が3割半ばにのぼる。
- ・性×年代でみると、【女性】では高年層ほど平均登録社数が増える。



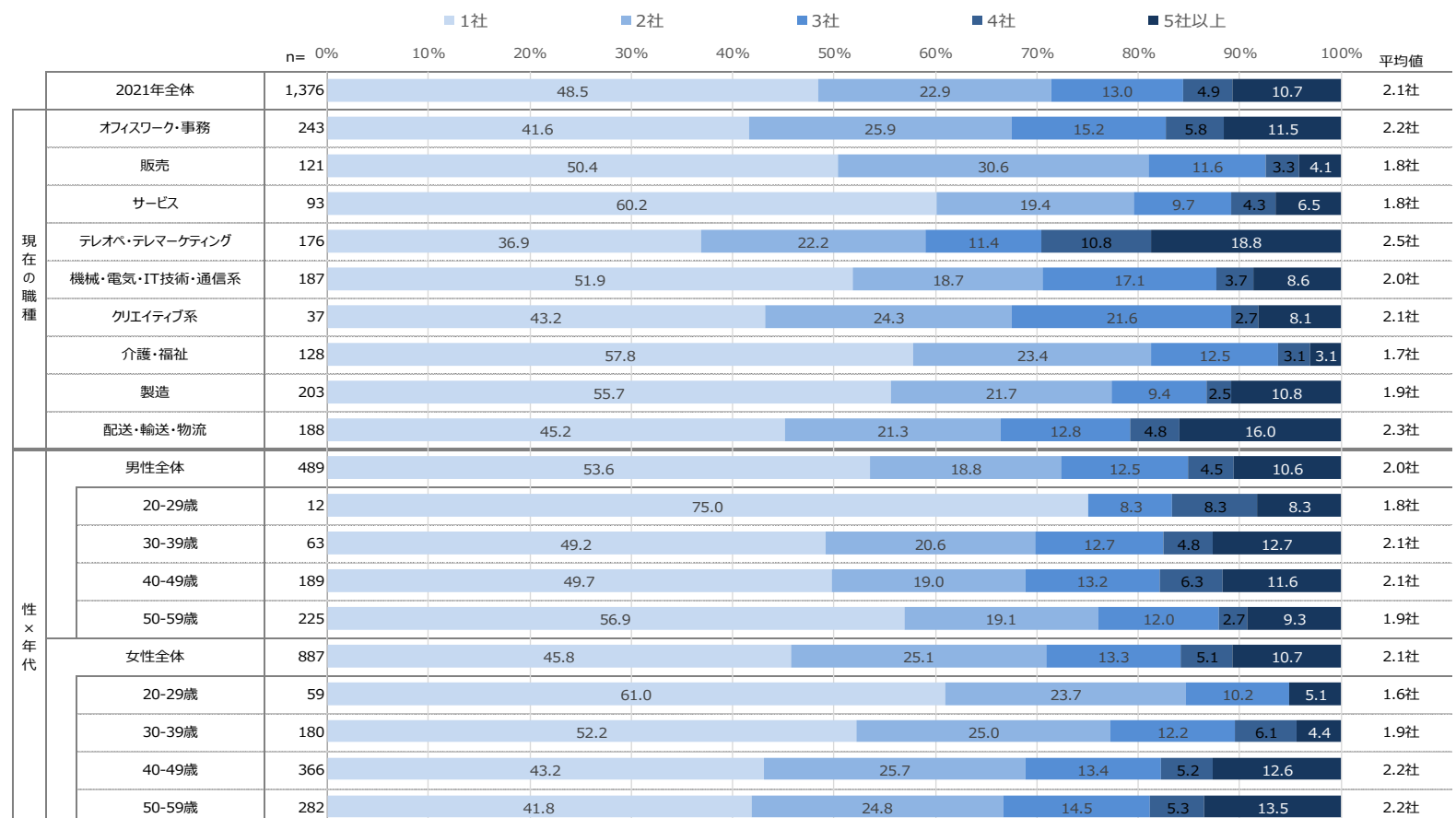
派遣先の職場見学が発生した派遣会社の数（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【介護・福祉】【製造】は「1社」、【オフィスワーク・事務】は「2社以上」が全体に比べ高く、それぞれ過半数を占める。一方、【販売】【サービス】は「登録したことのある派遣会社では『職場見学』が1度もなかった」の割合が3割強と、全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【女性】では高年層ほど派遣先の職場見学が発生した派遣会社の平均数が増える。



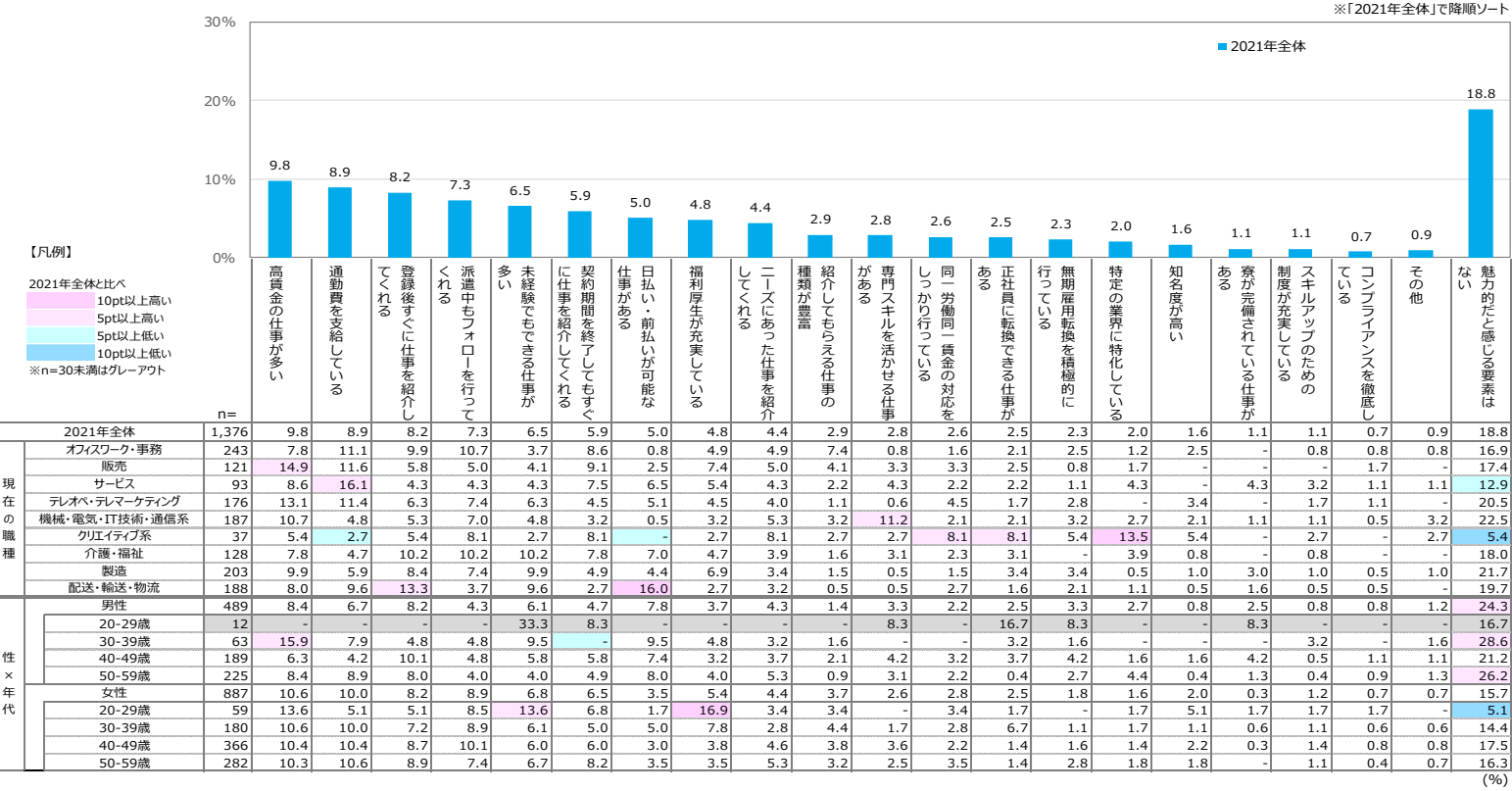
実際に派遣されて就業したことのある派遣会社の数（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】で「2社以上」就業したことがある人が6割強と他の職種よりも多く、「5社以上」も2割弱にのぼる。一方、【サービス】【介護・福祉】は「1社」が6割前後と全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【女性】では高年層ほど平均就業社数が増える。



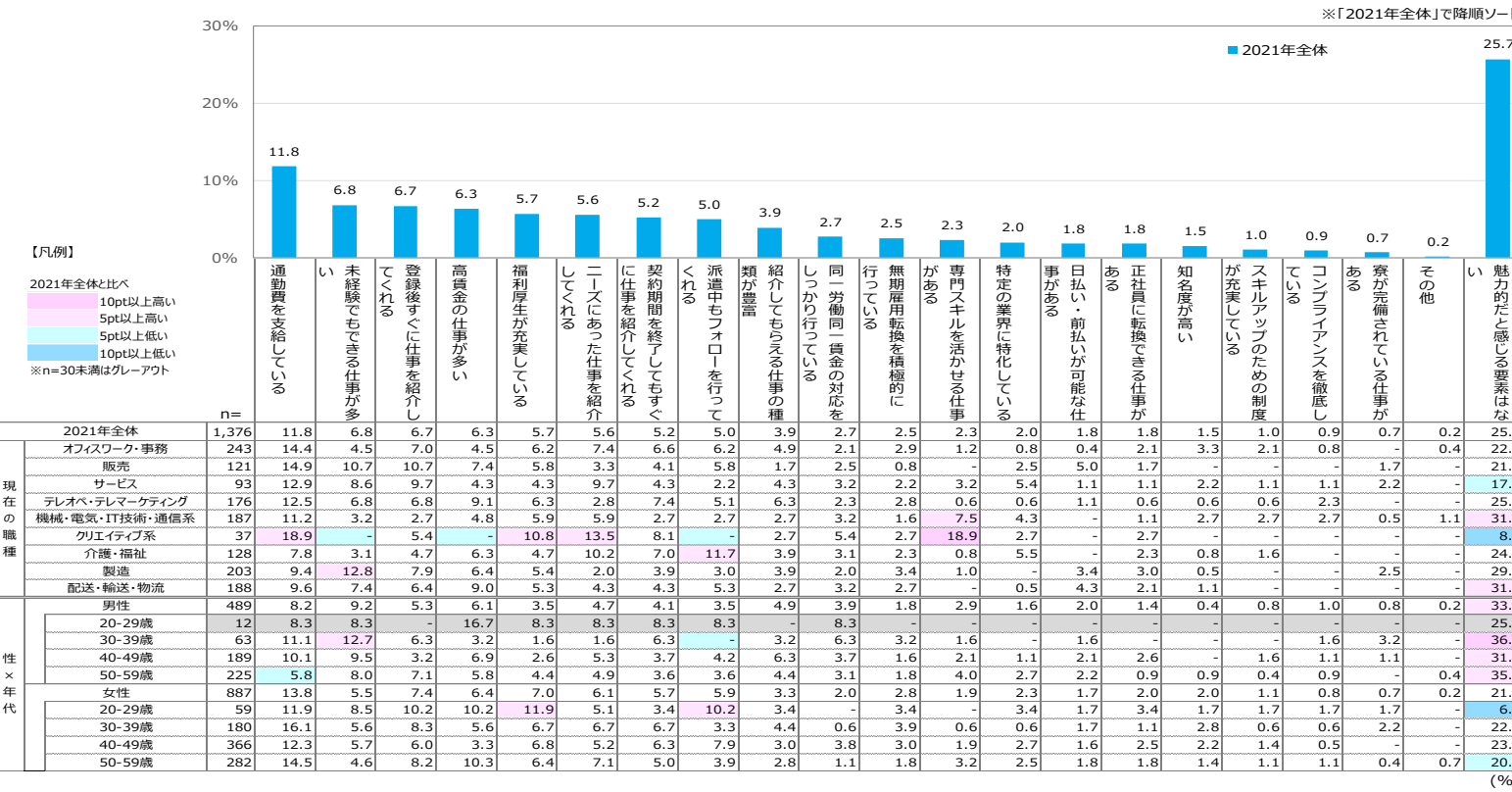
現在の派遣元の魅力要素＜最も魅力だと感じる要素＞（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】で「特定の業界に特化している」、
- 【配送・輸送・物流】で「日払い・前払いが可能な仕事がある」が全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「福利厚生が充実している」が高い。



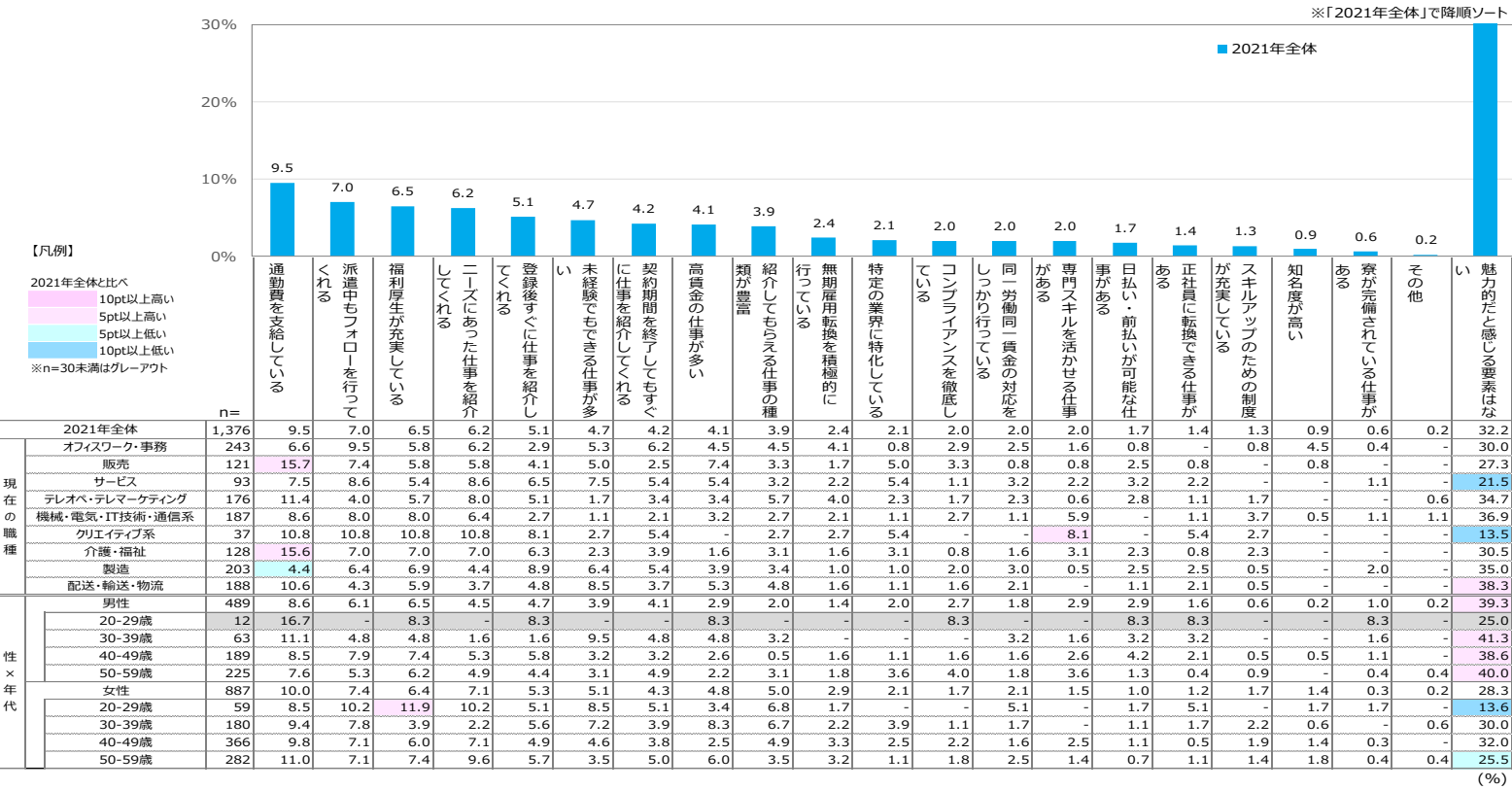
現在の派遣元の魅力要素＜2番目に魅力だと感じる要素＞（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】で「専門のスキルを活かせる仕事がある」が全体に比べ高い。



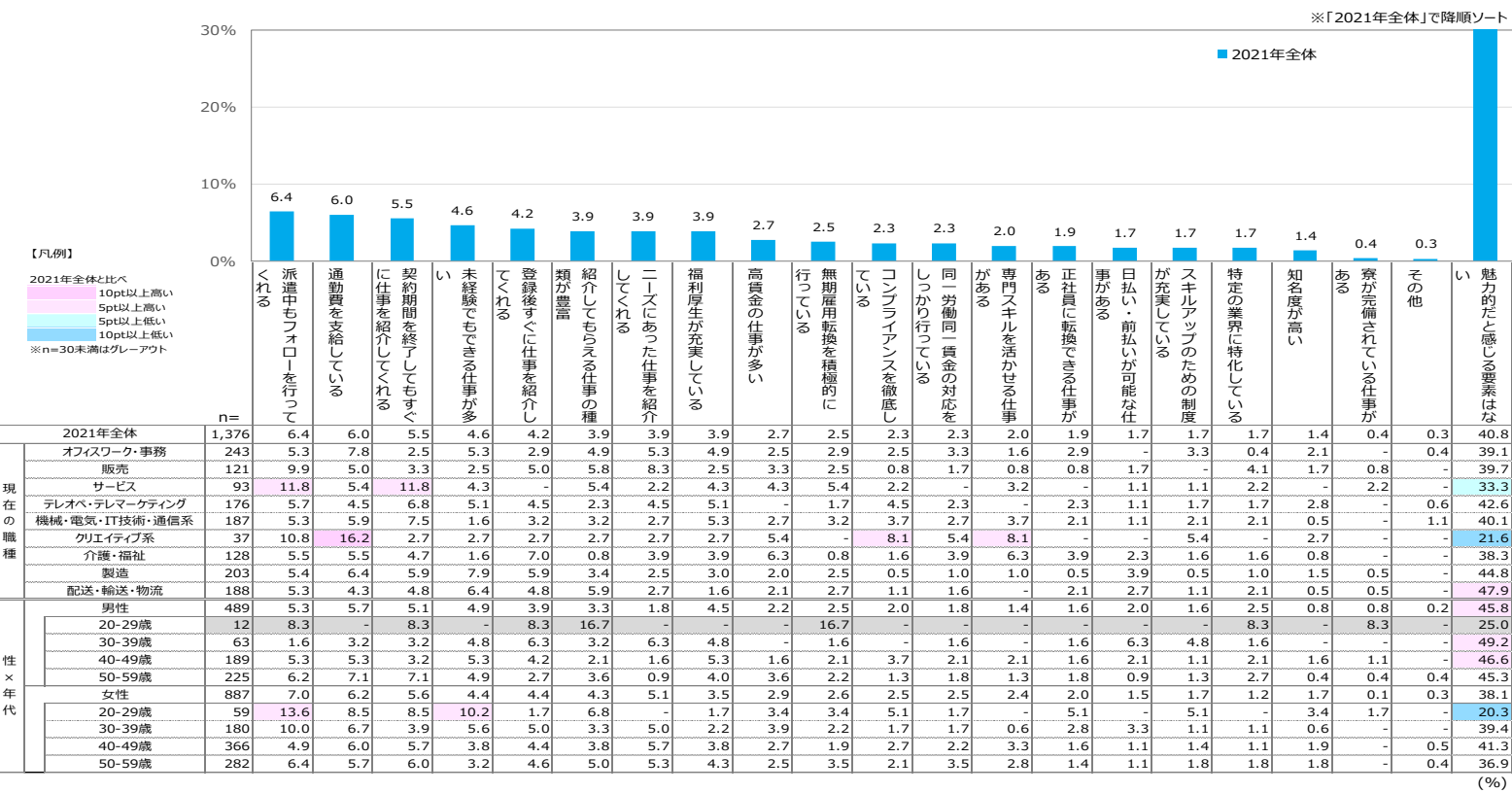
現在の派遣元の魅力要素＜3番目に魅力だと感じる要素＞（単一回答）

・どの職種、性年代でも全体と比較して10pt以上の大きな差は見られない。



現在の派遣元の魅力要素＜4番目に魅力だと感じる要素＞（単一回答）

・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】で「通勤費を支給している」が全体に比べ高い。



・どの職種、性年代でも全体と比較して10pt以上の大きな差は見られない。



・雇用形態で見ると、登録型・紹介予定派遣は「高賃金の仕事が多い」、常用雇成型派遣は「通勤費を支給している」が最も高い。

・派遣された会社数別で見ると、1社では「未経験でもできる仕事が多い」、2社・3社以上では「高賃金の仕事が多い」が最も高い。



・雇用形態で見ると、紹介予定派遣では「未経験でもできる仕事が多い」が全体に比べ高い。



現在の派遣元の魅力要素（雇用形態、派遣された会社数別）＜3番目に魅力だと感じる要素＞（単一回答）

- ・雇用形態で見ると、いずれの雇用形態でも「通勤費を支給している」が最も高い。
- ・派遣された会社数別で見ると、いずれの社数でも「通勤費を支給している」が最も高い。

【凡例】
2021年全体と比べ
10pt以上高い
5pt以上高い
5pt以上低い
10pt以上低い
※n=30未満はグレーアウト

	n=	通勤費を支給している	派遣中もフォローを行って くれる	福利厚生が充実している	二重に就いた仕事を紹介 してくれる	登録後すぐに仕事を紹介し てくれる	未経験でもできる仕事が多 い	契約期間を終了してもすぐ に仕事を紹介してくれる	高賃金の仕事が多い	紹介してもらえる仕事の種 類が豊富	無期雇用転換を積極的に 行っている	特定の業界に特化している	コンプライアンスを徹底し ている	同一労働同一賃金の対応を しっかりと行っている	専門スキルを活かせる仕事 がある	日払い・前払いが可能な仕 事がある	スキルアップのための制度 が充実している	知名度が高い	寮が完備されている仕事 がある	その他	魅力的だと感じる要素はな い
2021年全体	1,376	9.5	7.0	6.5	6.2	5.1	4.7	4.2	4.1	3.9	2.4	2.1	2.0	2.0	2.0	1.7	1.4	0.9	0.6	0.2	32.2
雇用形態	登録型の派遣社員（有期雇用契約）	772	9.1	7.6	6.0	7.5	4.9	5.1	4.9	5.3	1.4	1.8	1.7	2.1	1.9	2.1	1.0	1.0	0.5	0.3	29.3
	常用雇用型の派遣社員（無期雇用契約）	447	8.9	5.8	7.8	4.3	3.8	3.6	3.1	2.9	2.2	3.8	2.5	3.1	1.8	2.0	0.7	1.8	0.4	0.2	39.1
	派遣社員（紹介予定派遣契約）	157	13.4	7.0	5.1	5.1	9.6	4.5	3.2	3.8	1.9	3.2	2.5	0.6	2.5	1.9	2.5	0.6	1.3	-	26.8
派遣された 会社数	1社	668	9.4	7.0	7.5	4.3	4.6	4.8	3.3	3.0	3.6	3.0	2.2	2.2	1.5	1.8	1.6	0.9	0.7	0.3	34.7
	2社	315	10.2	6.7	4.1	8.3	5.4	5.1	4.8	5.1	1.6	3.2	1.6	1.6	1.6	1.3	1.0	1.0	0.3	-	31.4
	3社以上	393	9.2	7.1	6.6	7.6	5.6	3.8	5.1	5.6	3.6	2.0	1.0	2.0	3.3	2.5	2.0	1.0	0.5	0.3	28.5

(%)

現在の派遣元の魅力要素（雇用形態、派遣された会社数別）＜4番目に魅力だと感じる要素＞（単一回答）

- ・雇用形態で見ると、登録型派遣では「派遣中もフォローを行ってくれる」、紹介予定派遣では「契約期間を終了してもすぐに仕事を紹介してくれる」など、最も魅力とを感じる要素で上位にあがる項目と同様の項目が高い。

【凡例】

2021年全体と比べ

10pt以上高い

5pt以上高い

5pt以上低い

10pt以上低い

※n=30未満はグレーアウト

	n=	派遣中もフォローを行って くれる	通勤費を支給している	契約期間を終了してもすぐ に仕事を紹介してくれる	未経験でもできる仕事が多 い	登録後すぐに仕事を紹介し てくれる	紹介してもらえる仕事の種 類が豊富	二重に就いた仕事を紹介 してくれる	福利厚生が充実している	高賃金の仕事が多い	無期雇用転換を積極的に 行っている	特定の業界に特化している	コンプライアンスを徹底し ている	同一労働同一賃金の対応を しっかりと行っている	専門スキルを活かせる仕事 がある	日払い・前払いが可能な仕 事がある	スキルアップのための制度 が充実している	知名度が高い	寮が完備されている仕事 がある	その他	魅力的だと感じる要素はな い	
2021年全体	1,376	6.4	6.0	5.5	4.6	4.2	3.9	3.9	3.9	2.7	2.5	2.3	2.3	2.0	1.9	1.7	1.7	1.7	1.4	0.3	40.8	
雇用形態	登録型の派遣社員（有期雇用契約）	772	7.1	6.1	5.7	4.8	4.7	5.1	4.5	4.0	2.8	1.4	1.9	2.1	2.3	2.2	1.6	1.7	0.4	0.3	38.1	
	常用雇用型の派遣社員（無期雇用契約）	447	4.9	6.5	3.8	4.7	3.4	1.6	3.4	3.6	1.8	4.7	2.5	2.7	2.2	1.6	0.9	1.8	1.1	0.2	46.8	
	派遣社員（紹介予定派遣契約）	157	7.0	4.5	8.9	3.2	4.5	5.1	2.5	3.8	4.5	1.9	3.8	1.9	-	1.3	2.5	3.8	0.6	0.6	-	37.6
派遣された 会社数	1社	668	6.3	6.9	5.7	4.2	3.7	3.6	3.6	3.0	3.4	3.1	1.5	1.8	1.6	1.6	1.5	1.9	1.6	1.2	0.3	43.1
	2社	315	7.3	6.0	3.2	5.4	5.7	4.4	3.8	4.1	1.9	1.6	2.9	2.2	1.3	1.9	1.0	1.3	2.2	-	0.6	41.6
	3社以上	393	5.9	4.6	6.9	4.6	3.8	4.1	4.6	5.1	2.0	2.3	3.3	3.1	3.3	2.3	2.5	1.5	1.8	1.0	0.8	36.4

(%)

(%)

現在の派遣元の魅力要素（雇用形態、派遣された会社数別）＜5番目に魅力だと感じる要素＞（単一回答）

- ・雇用形態で見ると、登録型・紹介予定派遣では「派遣中もフォローを行ってくれる」など、最も魅力とを感じる要素で上位にあがる項目と同様の項目が高い。

【凡例】

2021年全体と比べ

10pt以上高い

5pt以上高い

5pt以上低い

10pt以上低い

※n=30未満はグレーアウト

	n=	派遣中もフォローを行って くれる	契約期間を終了してもすぐ に仕事を紹介してくれる	通勤費を支給している	登録後すぐに仕事を紹介し てくれる	二重に就いた仕事を紹介 してくれる	福利厚生が充実している	未経験でもできる仕事が多 い	紹介してもらえる仕事の種 類が豊富	同一労働同一賃金の対応を しっかりと行っている	高賃金の仕事が多い	コンプライアンスを徹底し ている	無期雇用転換を積極的に 行っている	専門スキルを活かせる仕事 がある	正社員に転換できる仕事 がある	知名度が高い	スキルアップのための制度 が充実している	特定の業界に特化している	日払い・前払いが可能な仕 事がある	寮が完備されている仕事 がある	その他	魅力的だと感じる要素はな い
2021年全体	1,376	5.7	5.2	5.0	4.6	4.4	4.1	4.1	2.9	2.5	2.2	2.2	1.7	1.7	1.5	1.4	1.3	1.2	0.8	0.3	47.0	
雇用形態	登録型の派遣社員（有期雇用契約）	772	6.5	5.4	4.9	4.9	5.1	4.1	4.9	2.3	2.5	2.2	2.2	1.2	1.2	1.7	1.8	1.7	0.9	0.8	0.1	45.2
	常用雇用型の派遣社員（無期雇用契約）	447	4.0	5.1	5.4	3.8	2.7	2.9	2.7	3.4	2.5	2.2	2.2	3.1	1.6	1.6	0.9	1.1	1.6	0.9	0.7	51.5
	派遣社員（紹介予定派遣契約）	157	6.4	3.8	4.5	5.1	6.4	7.6	3.8	4.5	2.5	1.9	1.9	0.6	4.5	0.6	0.6	-	1.3	0.6	-	43.3
派遣された 会社数	1社	668	5.8	4.0	4.6	4.8	3.9	3.7	4.3	2.8	3.1	1.9	2.2	1.6	1.6	1.9	1.0	1.2	1.8	0.4	0.1	48.4
	2社	315	7.3	6.0	6.0	3.5	4.1	4.8	2.2	2.5	1.0	3.2	1.3	1.0	2.2	0.3	1.0	1.3	0.3	0.6	0.3	50.8
	3社以上	393	4.1	6.4	4.8	5.1	5.6	4.3	5.1	3.3	2.5	1.8	2.8	2.5	1.3	1.8	2.3	1.5	0.8	1.8	0.3	41.7

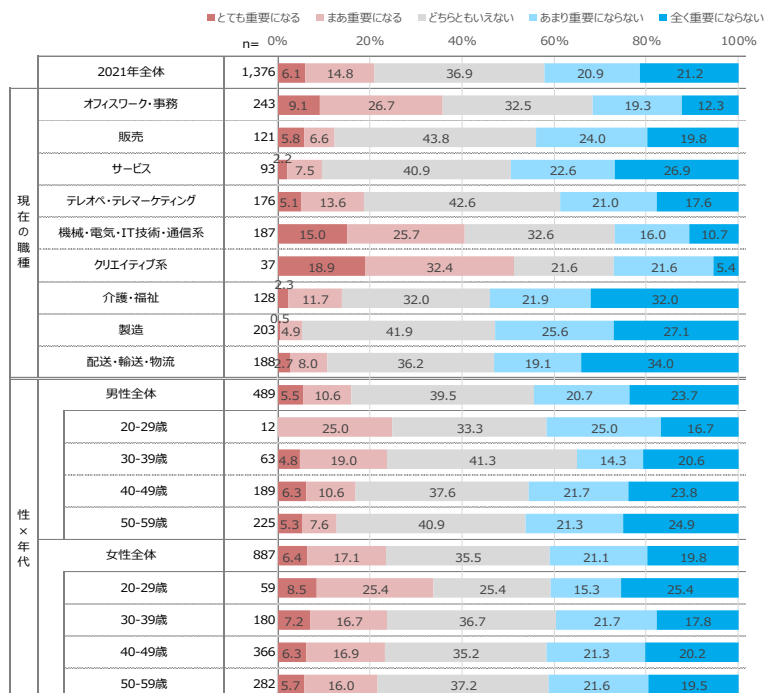
(%)

(%)

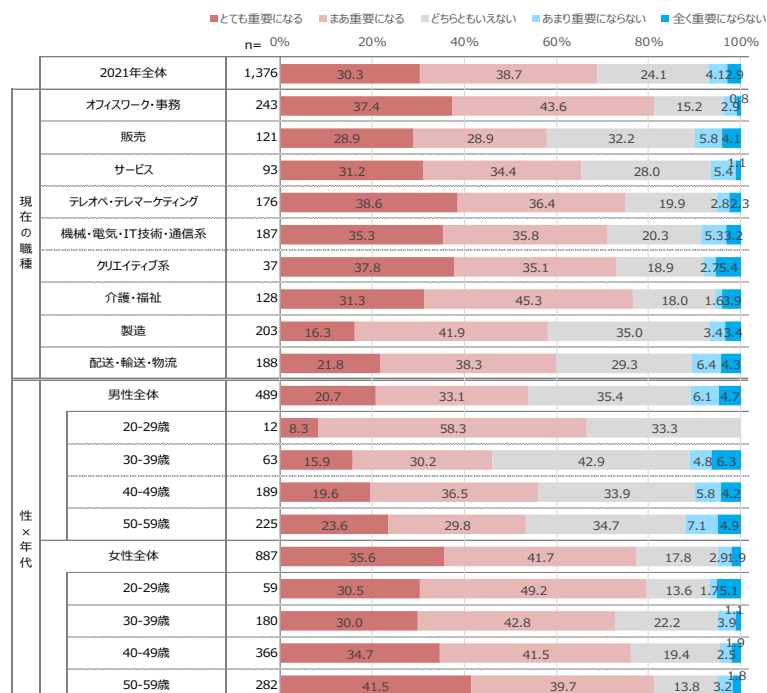
派遣先選択軸となる要素と重要度①（単一回答）

- ・＜在宅勤務の有無＞現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で重要度が全体に比べ高い。
- ・＜コロナウイルス感染対策を行っている職場＞現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】で重要度が全体に比べ高い。
- ・＜コロナウイルス感染対策を行っている職場＞重要度は【男性】に比べ【女性】で高く、特に高い【女性・20-29歳】【女性・50-59歳】で8割前後にのぼる。

＜在宅勤務の有無＞



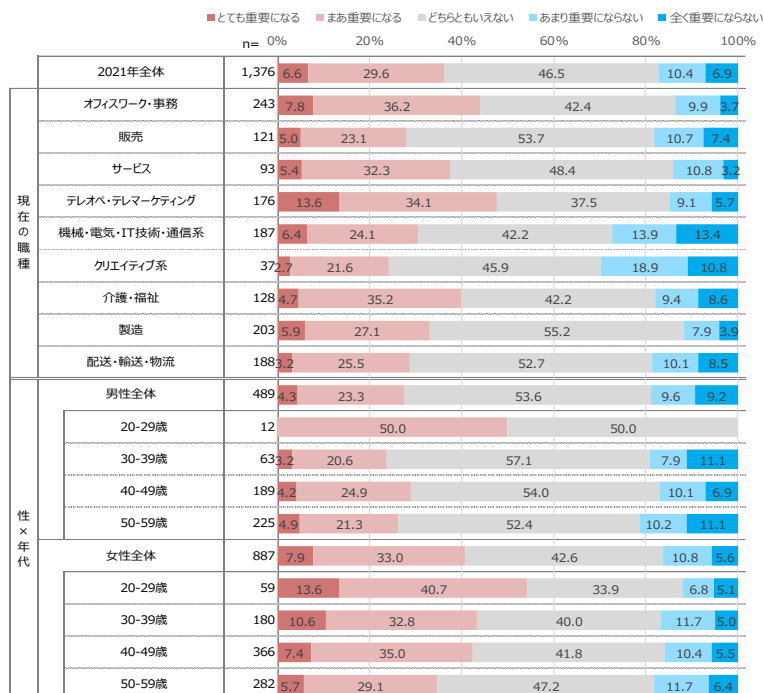
＜コロナウイルス感染対策を行っている職場＞



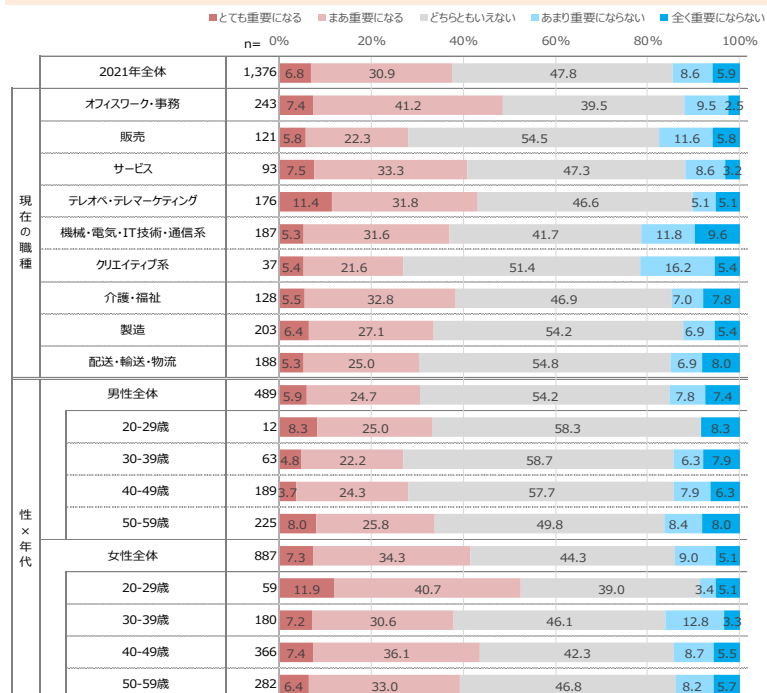
派遣先選択軸となる要素と重要度②（単一回答）

- ・＜同じ部署、または近くの部署で派遣社員が働いている＞現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】で重要度が全体に比べ高い。
- ・＜同じ部署、または近くの部署で派遣社員が働いている＞性×年代では、【女性】で若年層ほど重要度が高く、
- ・＜派遣元との関係が深い＞現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】で、重要度が全体に比べ高い。
- ・＜派遣元との関係が深い＞性×年代でみると、重要度は【男性】に比べ【女性】で高く、特に高い【女性・20-29歳】で過半数を占める。

＜同じ部署、または近くの部署で派遣社員が働いている＞



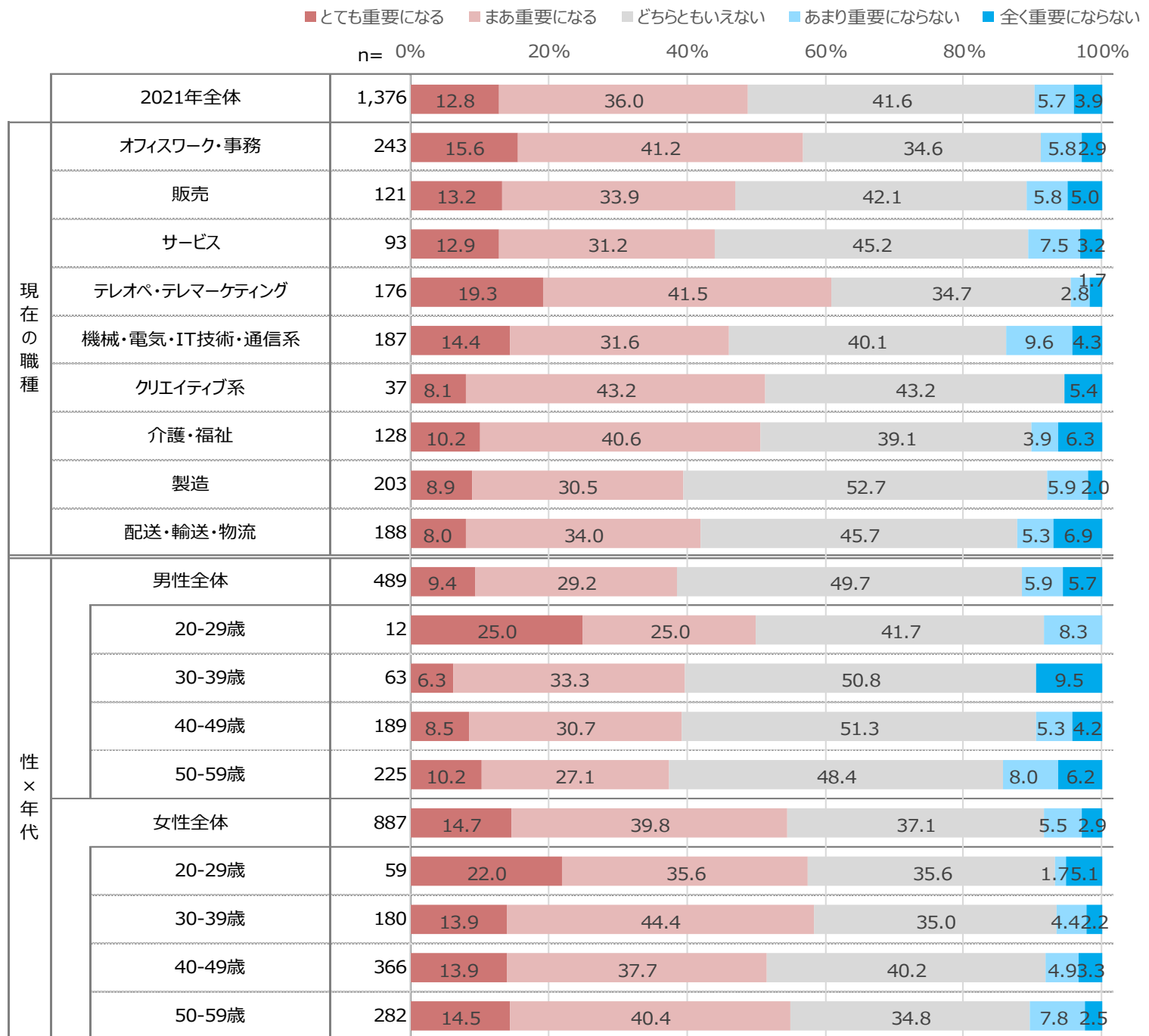
＜派遣元との関係が深い（過去に派遣実績がある、担当者同士の付き合いが長いなど）＞



派遣先選択軸となる要素と重要度③（単一回答）

- ・＜会社施設を自由に利用できる＞現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】で重要度が6割強と全体に比べ高い。
- ・＜会社施設を自由に利用できる＞性×年代では、重要度は【男性】に比べ【女性】で高く、特に高い【女性・20-29歳】【女性・30-39歳】で6割強にのぼる。

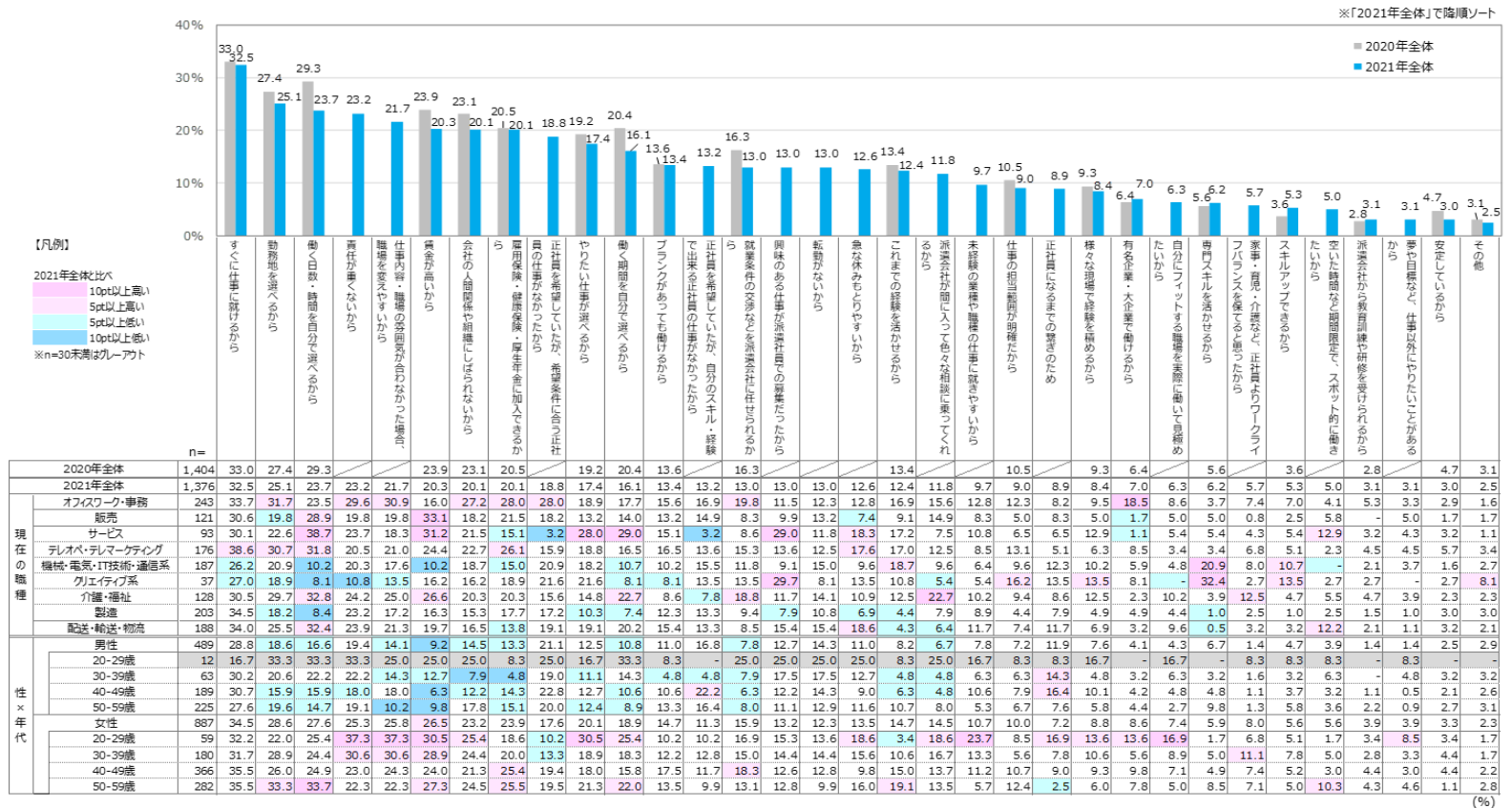
＜会社施設を自由に利用できる（社員食堂、リフレッシュルームなど）＞



(4) 就労意識

派遣社員を選んだ理由（複数回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】【テレオペ・テレマーケティング】【機械・電気・IT技術・通信系】【製造】【配送・輸送・物流】で「すぐに仕事に就けるから」、【サービス】【介護・福祉】で「働く日数・時間を自分で選べるから」、【販売】で「賃金が高いから」、【クリエイティブ系】で「専門スキルを活かせるから」が最も高い。
- ・性×年代では、ほとんどの層で「すぐに仕事に就けるから」が最も高い。
- 【女性・20-29歳】では「責任が重くないから」「仕事内容・職場の雰囲気が合わなかった場合、職場を変えやすいから」が最も高い。



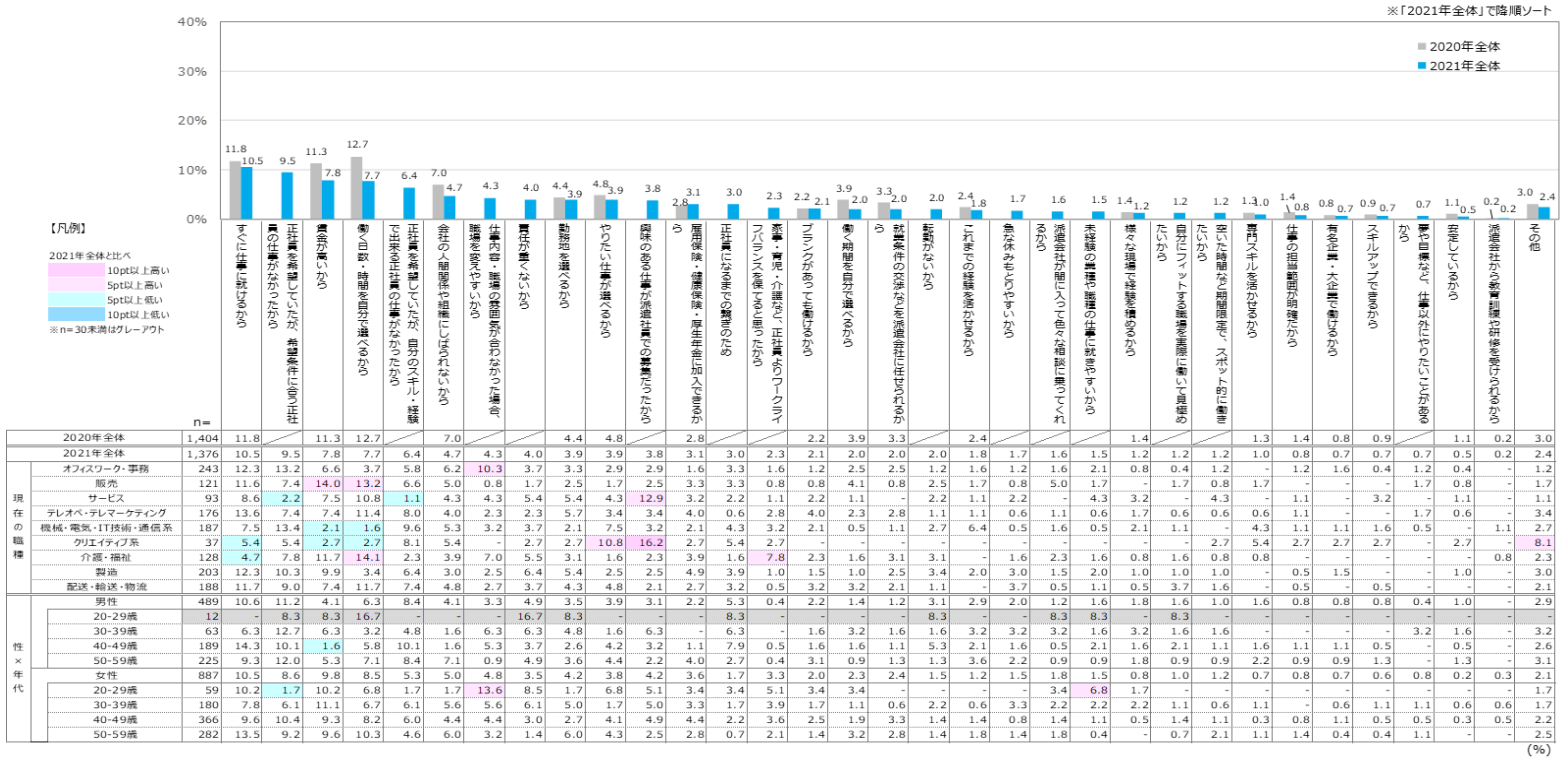
派遣社員を選んだ理由＜派遣社員という働き方満足度、就業経験別＞（複数回答）

- ・派遣社員という働き方満足度TOP2では「すぐに仕事に就けるから」が最も高く、「働く日数・時間を自分で選べるから」が全体より高い。
- ・正社員就業経験の有無では、「すぐに仕事に就けるから」「雇用保険・健康保険・校正年金に加入できるから」が、【正社員経験無し】で全体より低く、正社員経験の有無により、派遣社員を選んだ理由に違いがある。



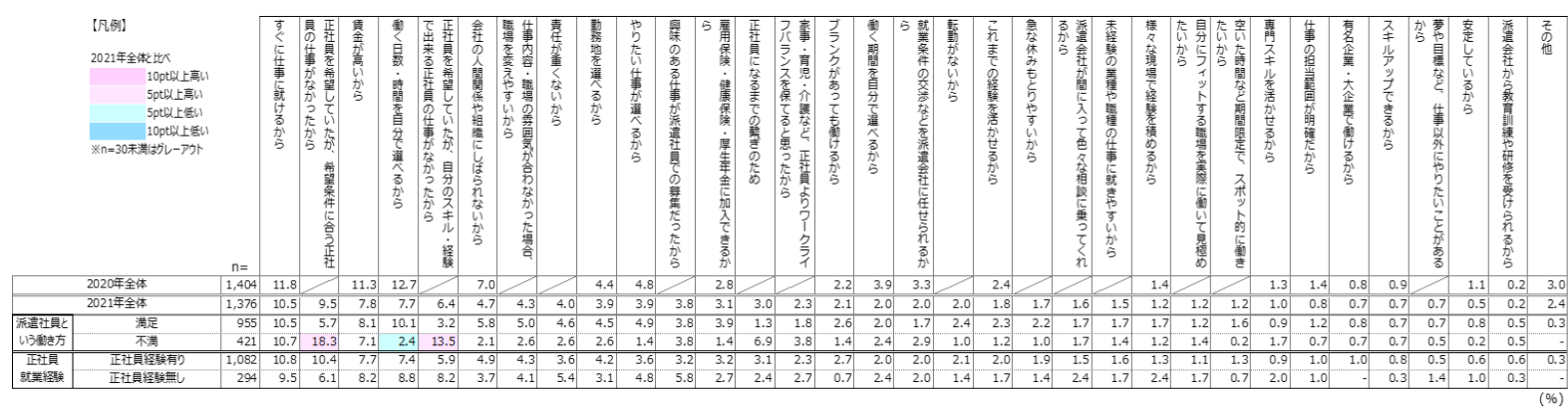
派遣社員を選んだ最大理由（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】【製造】【配送・輸送・物流】で「すぐに仕事に就けるから」、【オフィスワーク・事務】【機械・電気・IT技術・通信系】で「正社員を希望していたが、希望条件に合う正社員の仕事なかったから」、【販売】で「賃金が高い」、【介護・福祉】で「働く日数・時間を自分で選べる」、【サービス】【クリエイティブ系】で「興味のある仕事派遣社員（またはパート・アルバイト、契約社員）での募集だったから」が最も高い。
- ・性×年代では、【女性・20-29歳】で「仕事内容・職場の雰囲気合わなかった場合、職場を変えやすいから」が全体に比べ高く、理由のトップにあがる。



派遣社員を選んだ最大理由＜派遣社員という働き方満足度、就業経験別＞（単一回答）

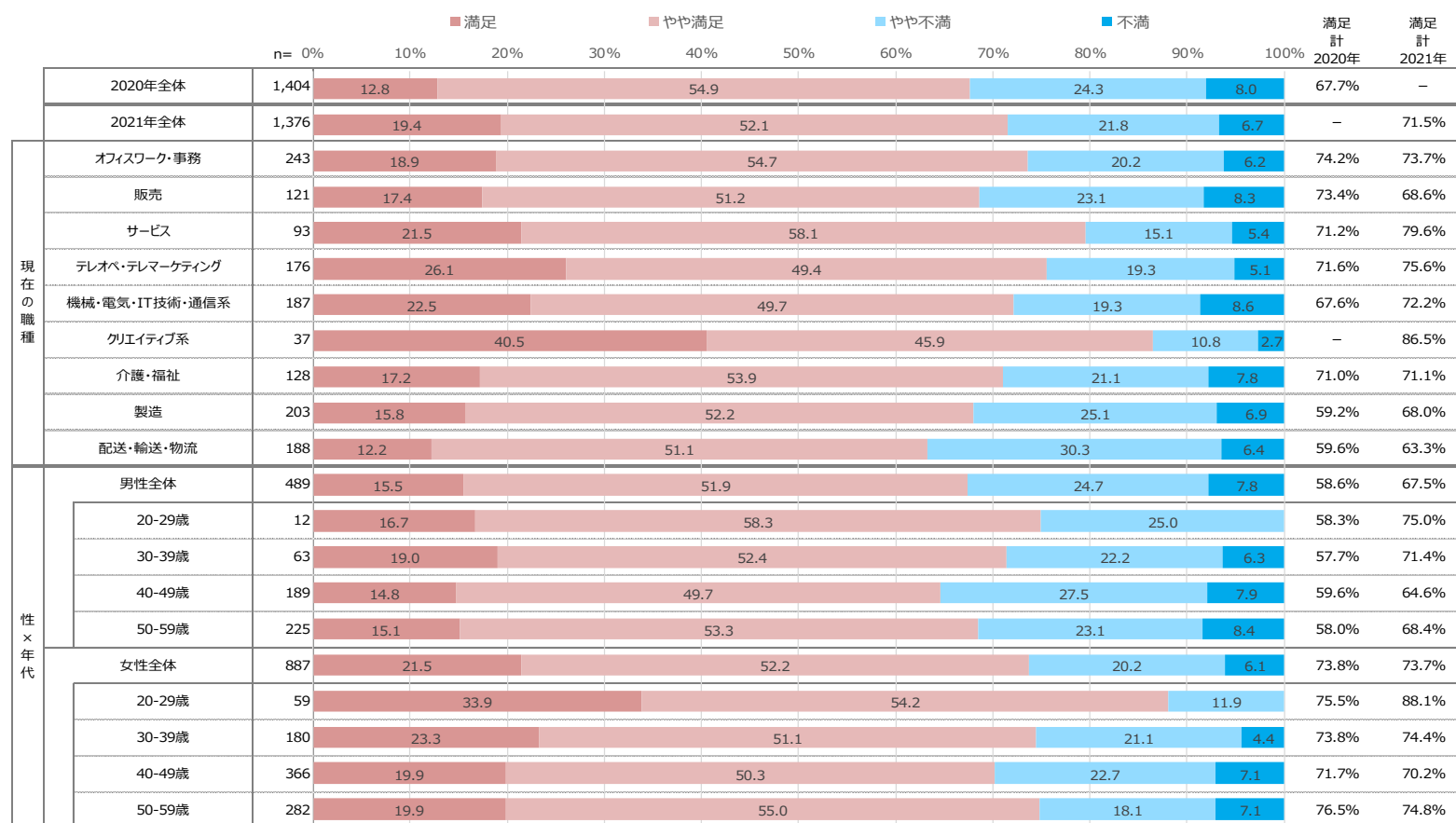
- ・派遣社員という働き方満足度TOP2では「すぐに仕事に就けるから」が最も高く、BOTTOM2では「正社員を希望していたが、希望条件に合う正社員の仕事なかったから」が最も高い。
- ・正社員就業経験の有無では、いずれも「すぐに仕事に就けるから」が最も高い。



（5）派遣会社の定着につながるポイント

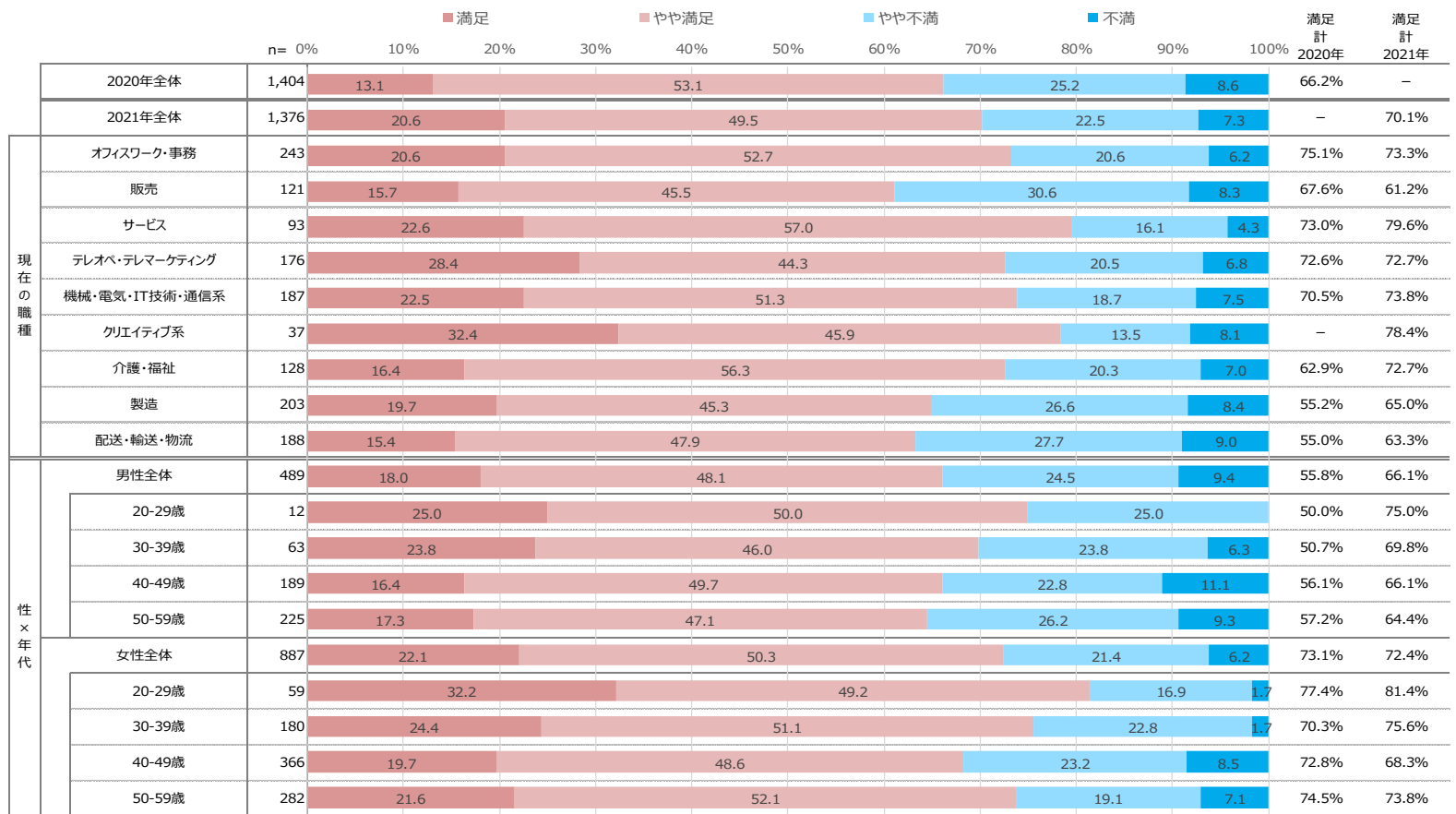
派遣元の満足度（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】で満足度が9割弱と最も高く、「満足」の割合も約4割と高い。
一方、最も満足度が低い【配送・輸送・物流】では6割強にとどまる。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で満足度が9割弱と全体に比べ高い。
一方、最も満足度が低い【男性・40-49歳】は6割半ばにとどまる。



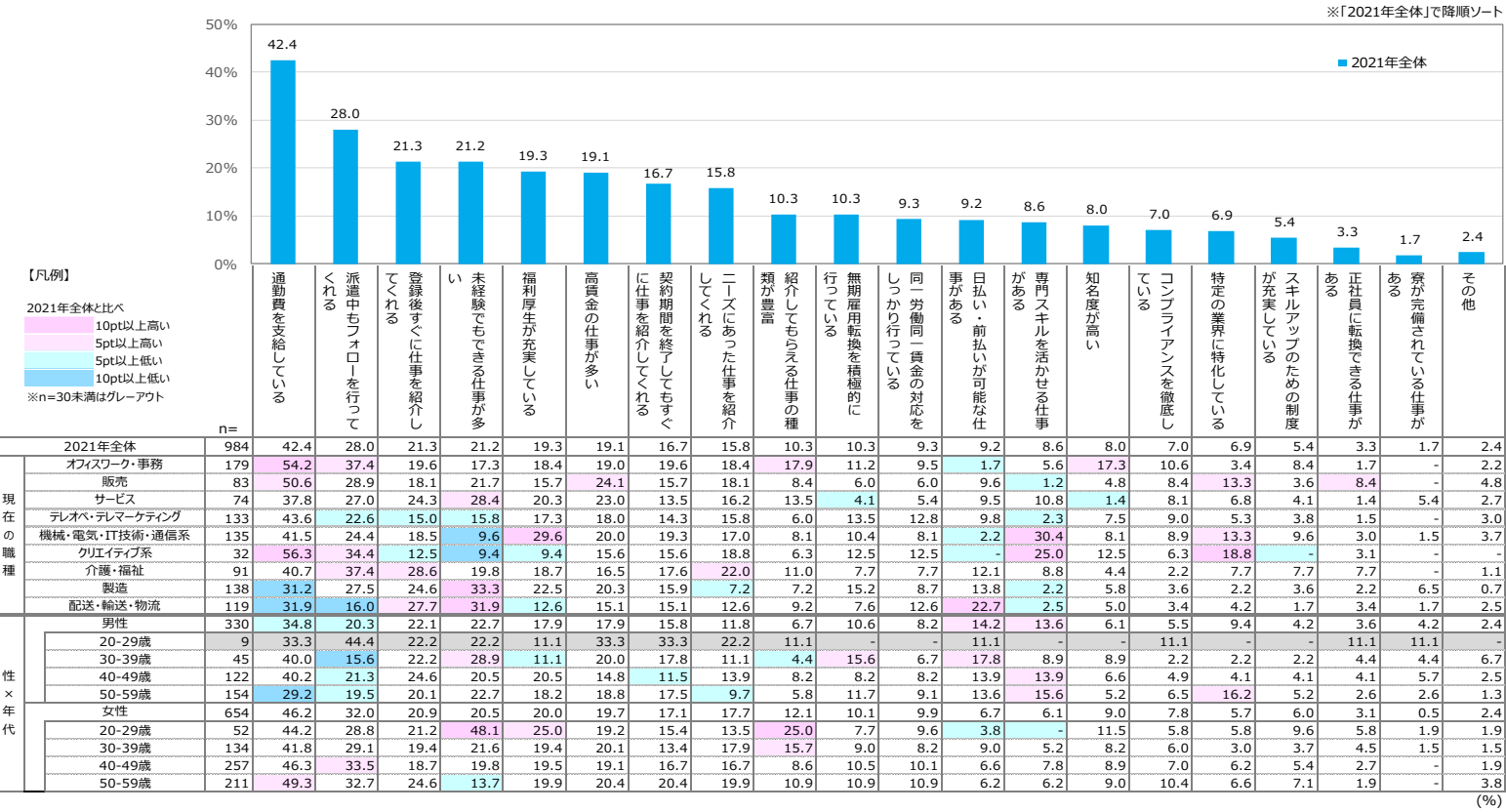
派遣先企業の満足度（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【サービス】【クリエイティブ系】で、派遣先企業に対する満足度が8割強と全体に比べやや高い。
一方、【販売】と【配送・輸送・物流】で派遣先企業に対する満足度が6割強とやや低め。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で満足度が8割強と全体に比べ高い。



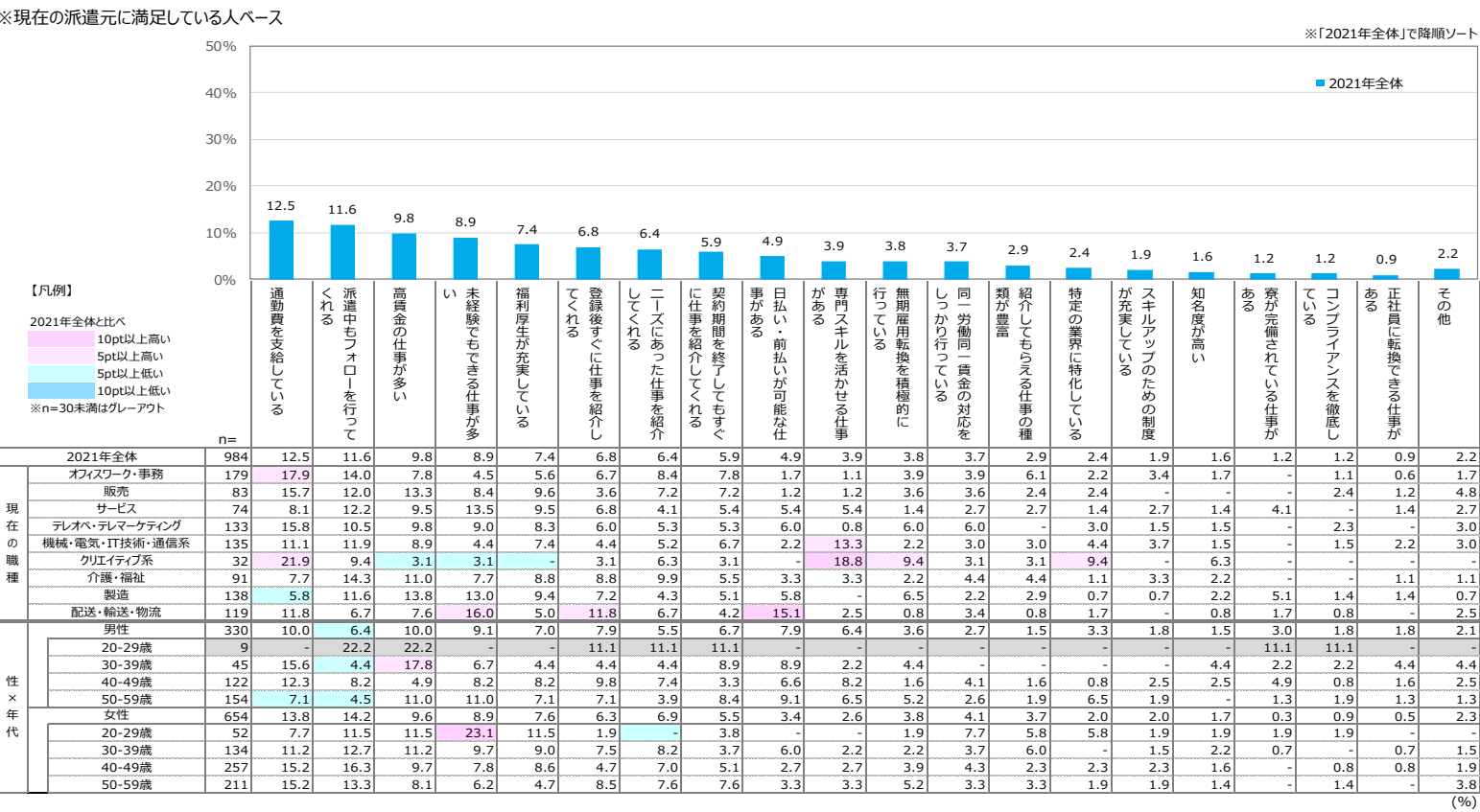
現在の派遣元に満足な理由（複数回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】【販売】【サービス】【テレオペ・テレマーケティング】【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】【介護・福祉】で「通勤費を支給している」、【製造】で「未経験でもできる仕事が多い」、【配送・輸送・物流】で「通勤費を支給している」「未経験でもできる仕事が多い」が最も高い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「未経験でもできる仕事が多い」「紹介してもらえる仕事の種類が豊富」が全体に比べて高い。



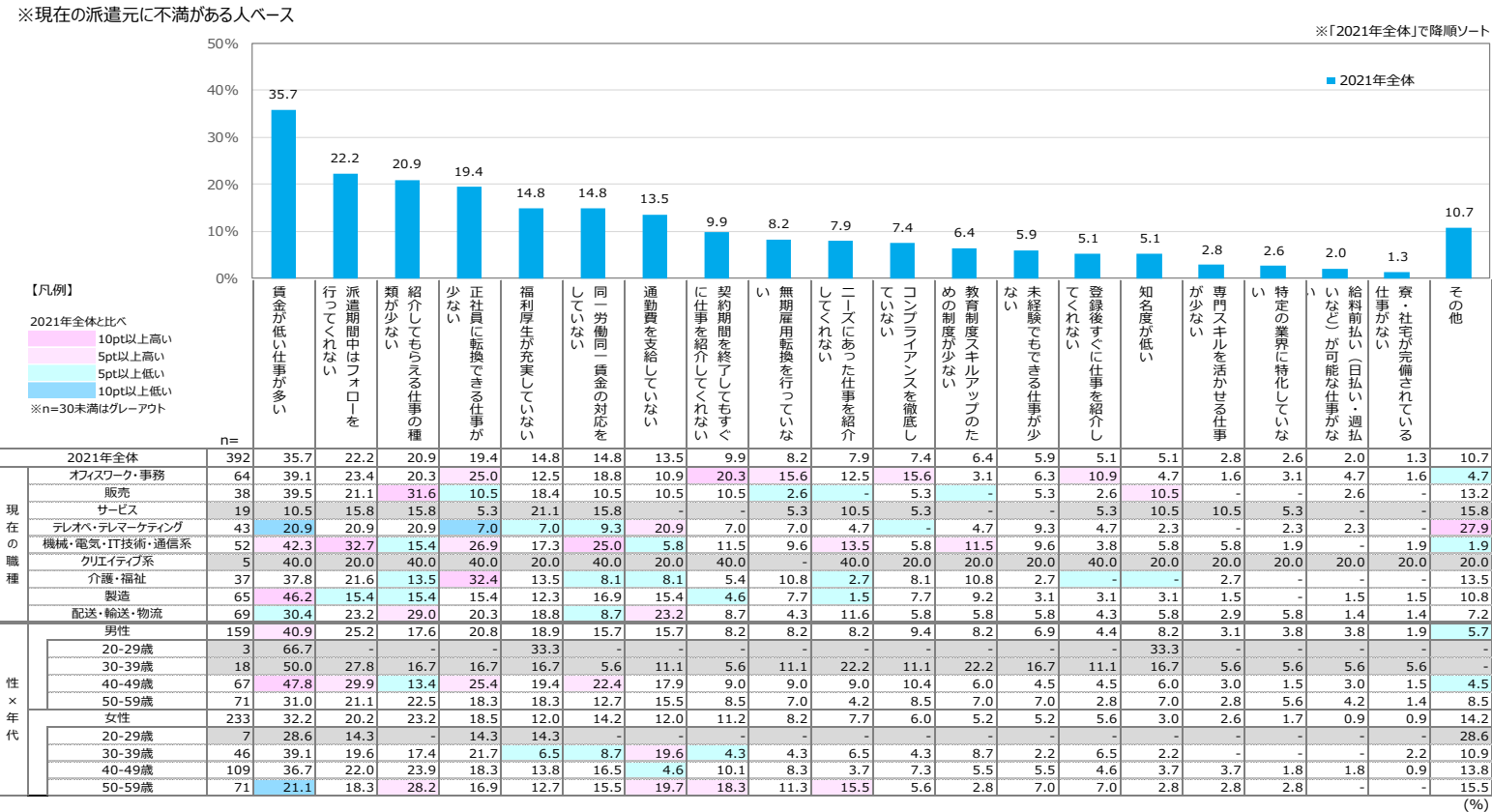
現在の派遣元に満足な最大理由（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】【販売】【テレオペ・テレマーケティング】【クリエイティブ系】で「通勤費を支給している」、【介護・福祉】で「派遣中もフォローを行ってくれる」、【製造】で「高賃金の仕事が多い」、【サービス】【配送・輸送・物流】で「未経験でもできる仕事が多い」、【機械・電気・IT技術・通信系】で「専門スキルを活かせる仕事がある」が最も高い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「未経験でもできる仕事が多い」が全体に比べ高い。



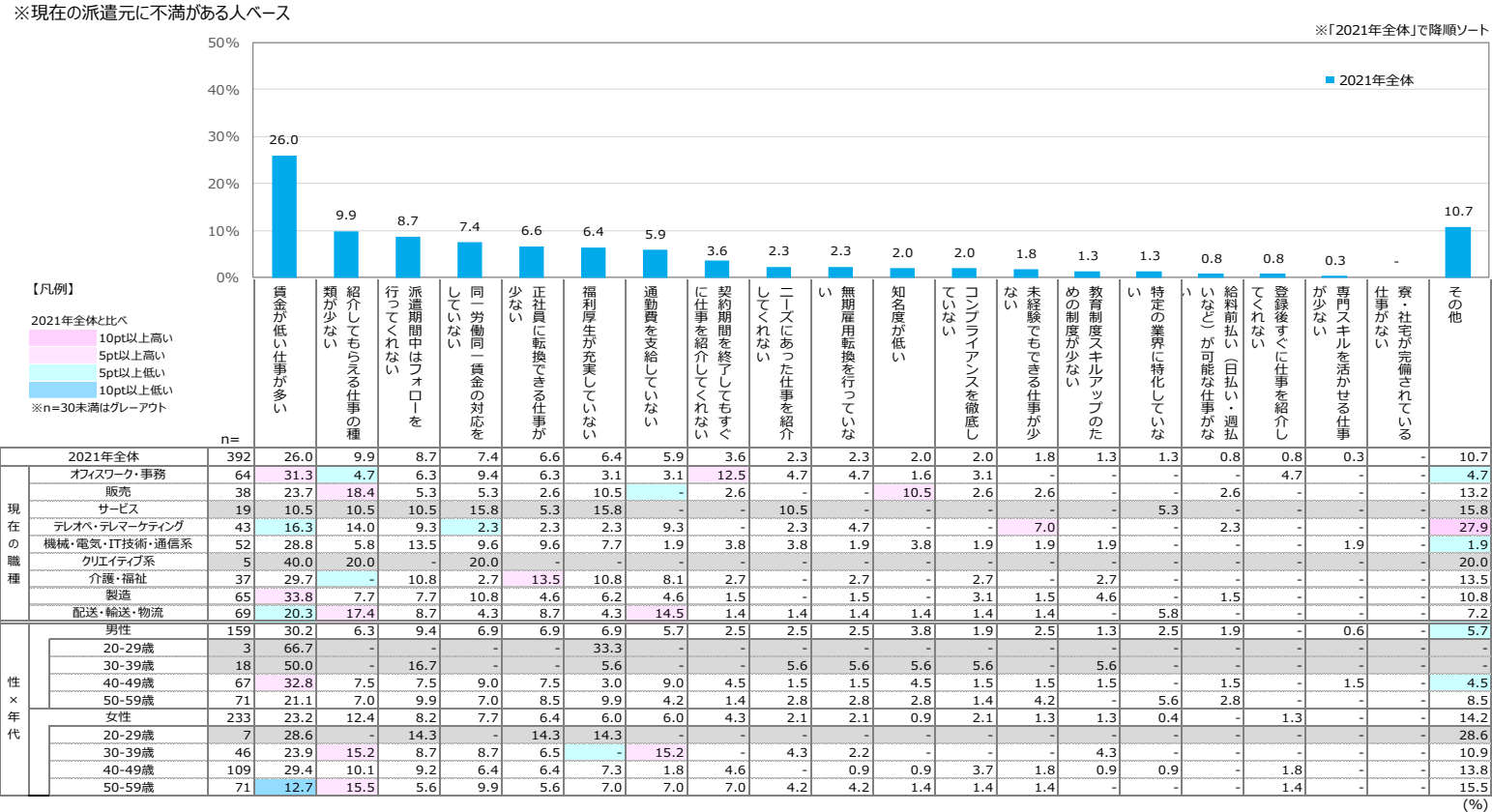
現在の派遣元に不満な理由（複数回答）

- ・現在の職種でみると、すべての職種で「賃金が低い仕事が多い」が最も高い。また、【テレオペ・テレマーケティング】では「派遣期間中はフォローを行ってくれない」「紹介してもらえる仕事の種類が少ない」も同率でトップにあがる。
- ・性×年代でみると、【男性・40-49歳】で「賃金が低い仕事が多い」が全体に比べ高い。



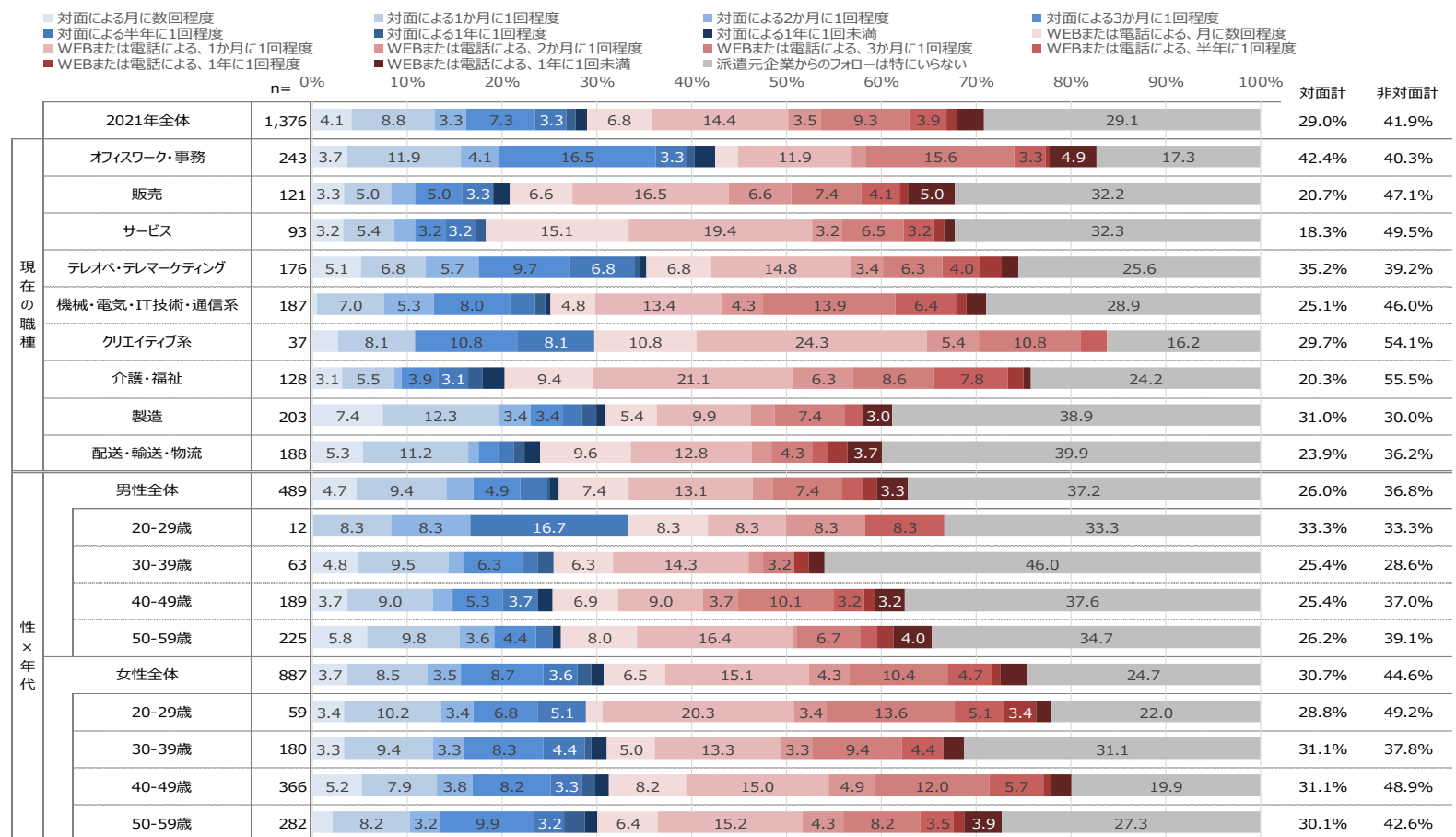
現在の派遣元に不満な最大理由（単一回答）

- ・現在の職種でみると、すべての職種で「賃金が低い仕事が多い」が最も高い。
- ・性×年代でみると、【女性・50-59歳】を除くすべての層で「賃金が低い仕事が多い」が最も高く、特に【男性・40-49歳】は3割強と全体に比べ高め。一方、【女性・50-59歳】では「紹介してもらえる仕事の種類が少ない」が最も高い。



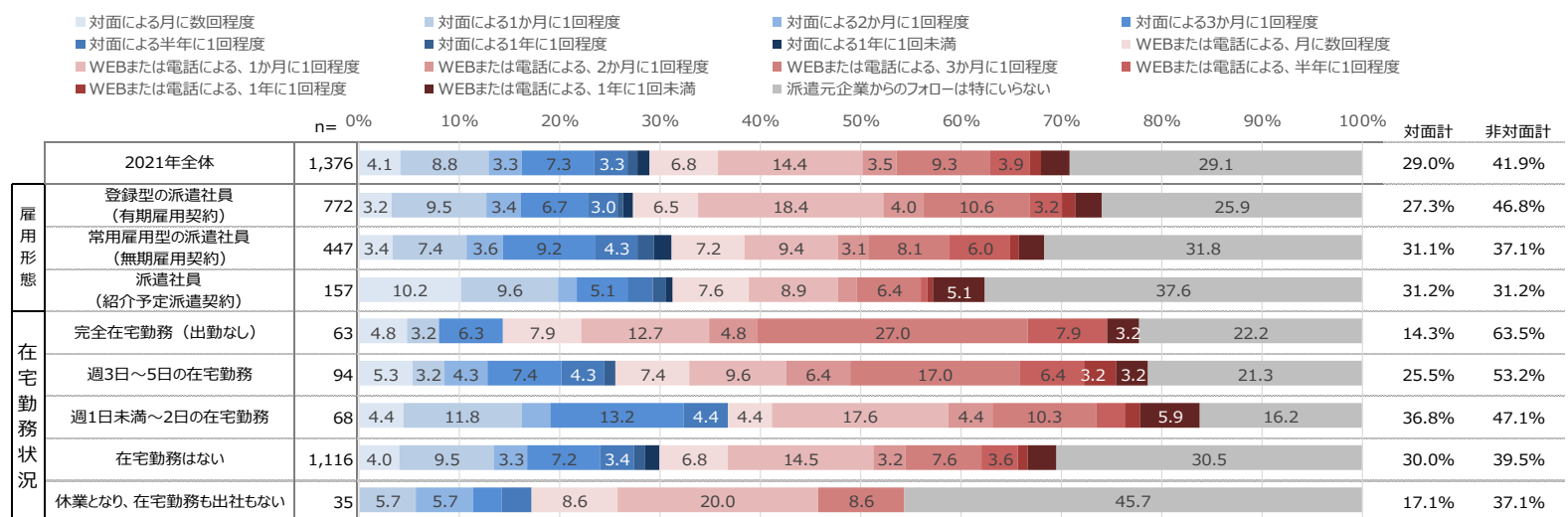
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <派遣先企業での困りごとやトラブルについて①>（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】は『対面』が4割強と『WEBまたは電話』より高く、他の職種はいずれも『WEBまたは電話』が高い。特に【クリエイティブ系】【介護・福祉】は『WEBまたは電話』が過半数を占める。
- ・『WEBまたは電話』は、ほとんどの職種で「1か月に1回程度」が最も高い。
- ・性×年代でみると、【男性】は若年層ほど「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が高い。



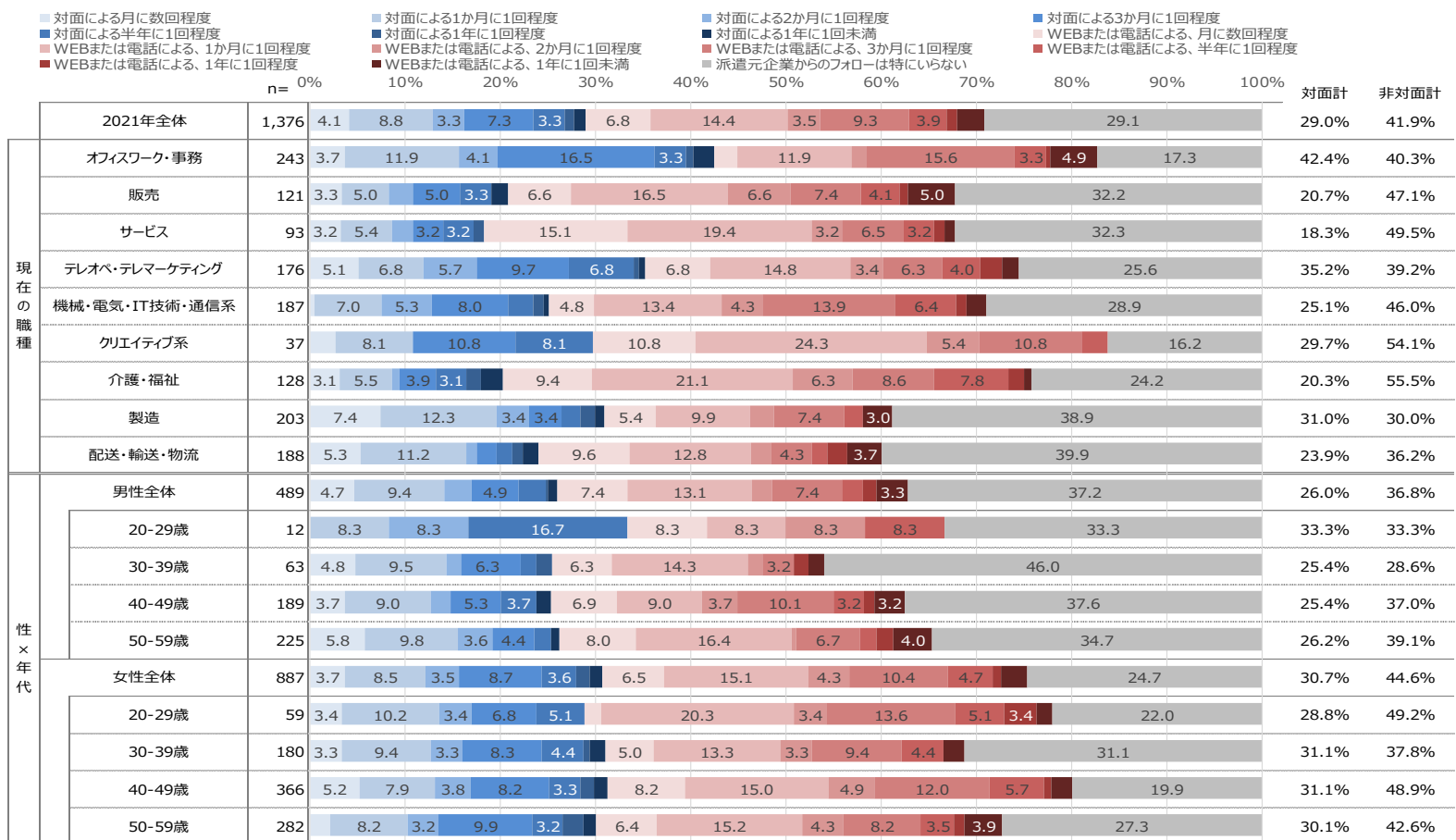
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <派遣先企業での困りごとやトラブルについて②>（単一回答）

- ・雇用形態では、対面とWEBまたは電話によるフォローの割合に大きな差はない。
- ・在宅勤務状況では、週に1日未満～2日の在宅勤務で対面によるフォローが高い。



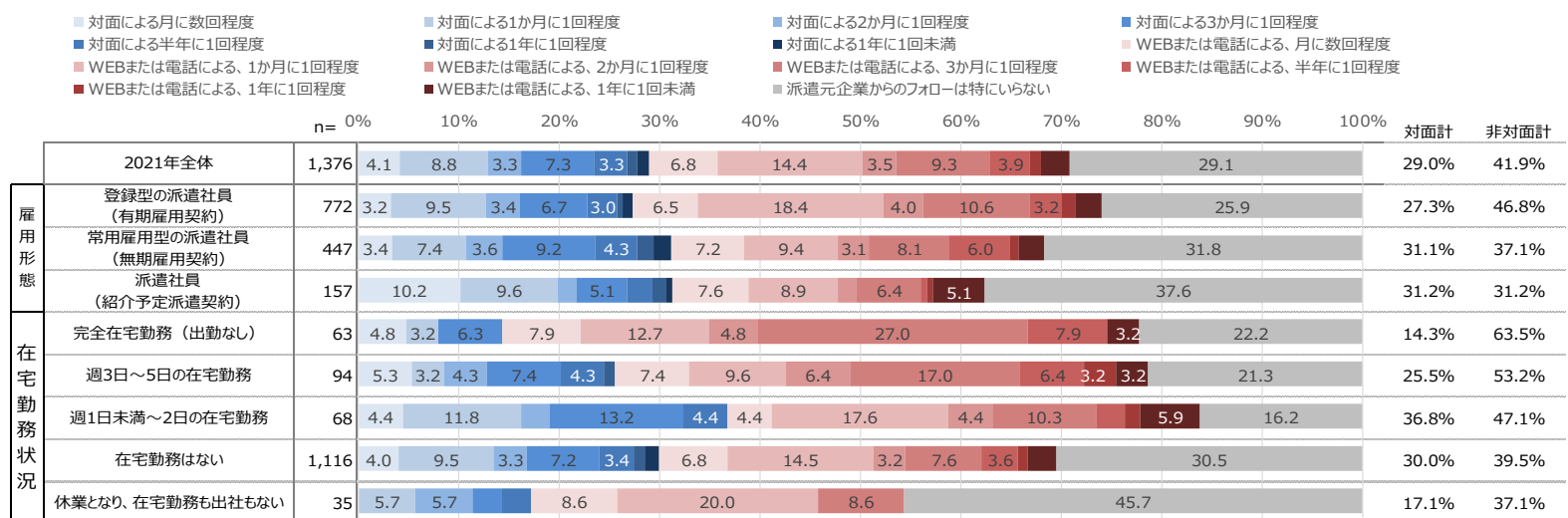
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法＜契約や福利厚生など労使関連について①＞（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も『対面』より『WEBまたは電話』が高いが、【サービス】【テレオペ・テレマーケティング】【機械・電気・IT技術・通信系】【製造】【配送・輸送・物流】は「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が4割前後と最も多くを占める。
- 一方、【クリエイティブ系】は「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が2割強と全体に比べ低い。
- ・性×年代でみると、【男性】はいずれも「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が4割以上で、『対面』『WEBまたは電話』より多い。



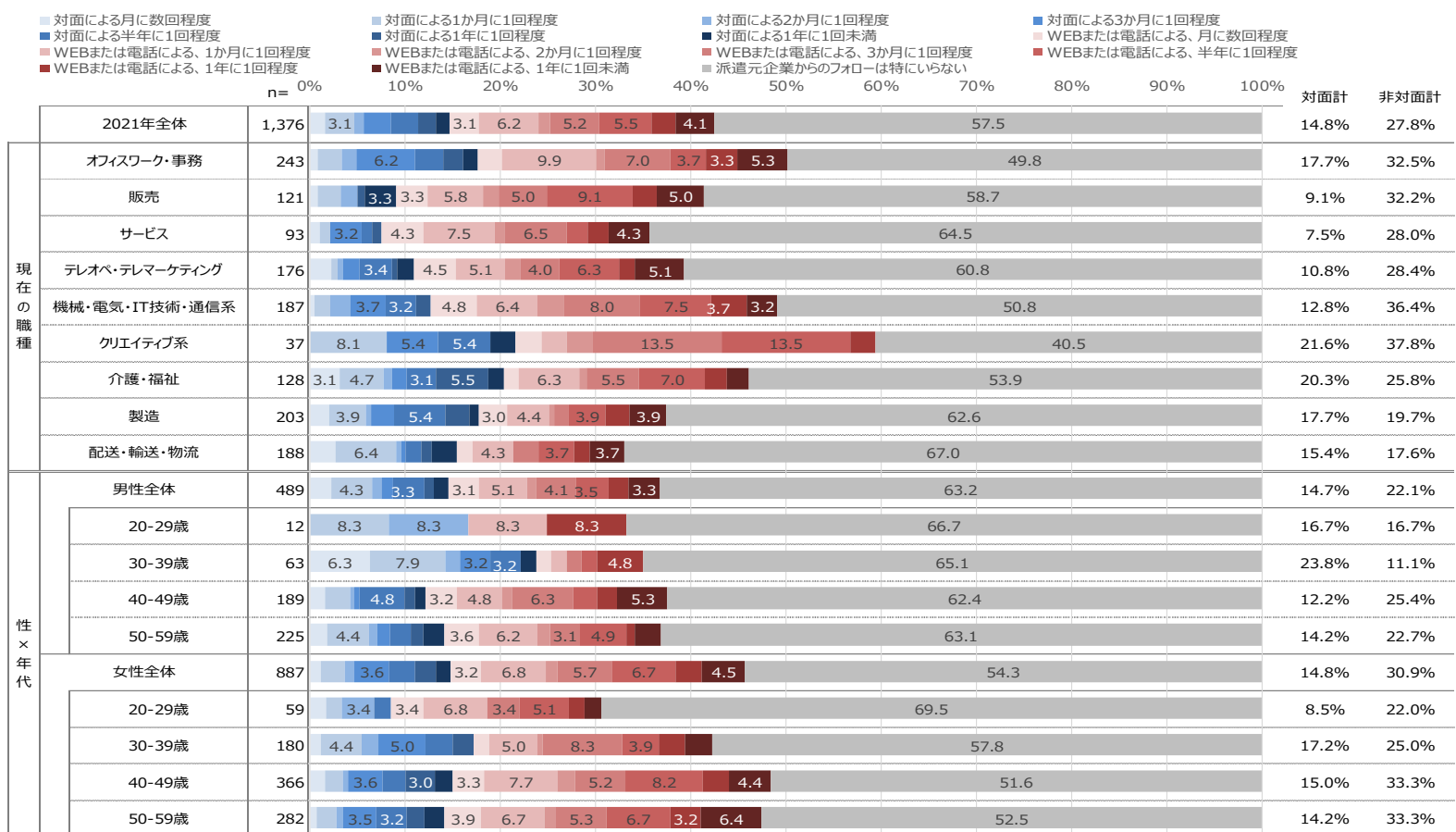
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法＜契約や福利厚生など労使関連について②＞（単一回答）

- ・雇用形態では、対面とWEBまたは電話によるフォローの割合に大きな差はない。
- ・在宅勤務状況では、週に1日未満～2日の在宅勤務で対面によるフォローが高い。



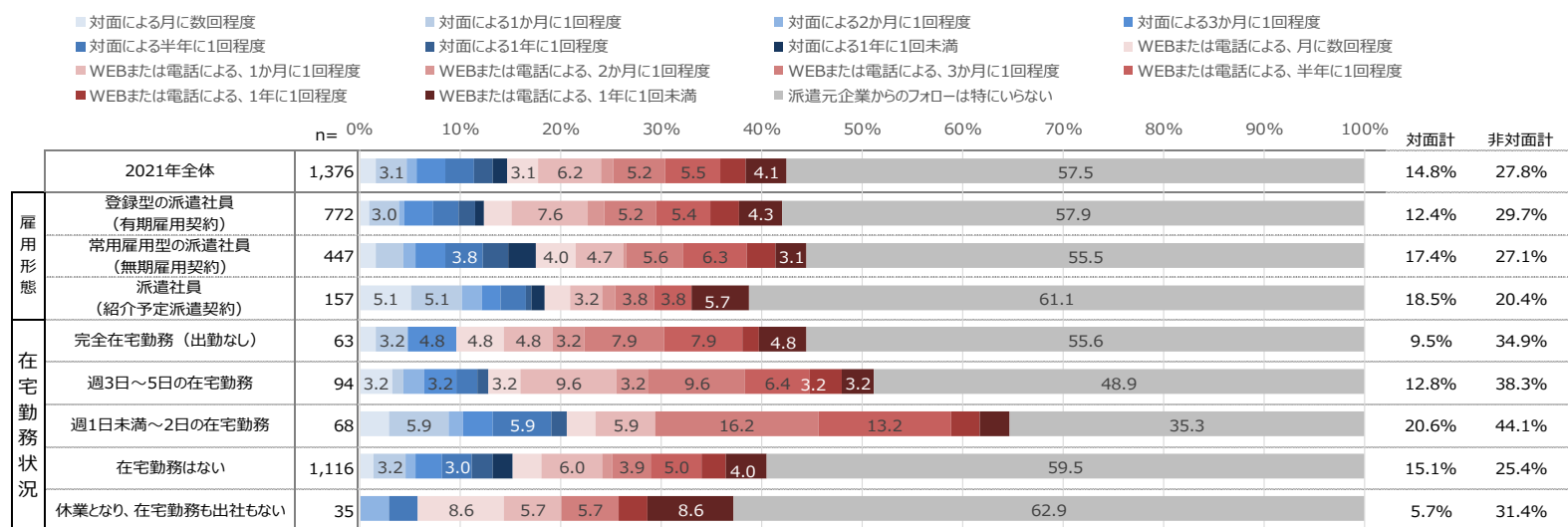
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <スキルアップや資格取得について①>（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が最も多くを占めるが、【クリエイティブ系】は他の職種に比べ低く、4割程度。
- ・性×年代でみると、いずれの層も「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が最も多く、特に【女性・20-29歳】ではおよそ7割にのぼる。



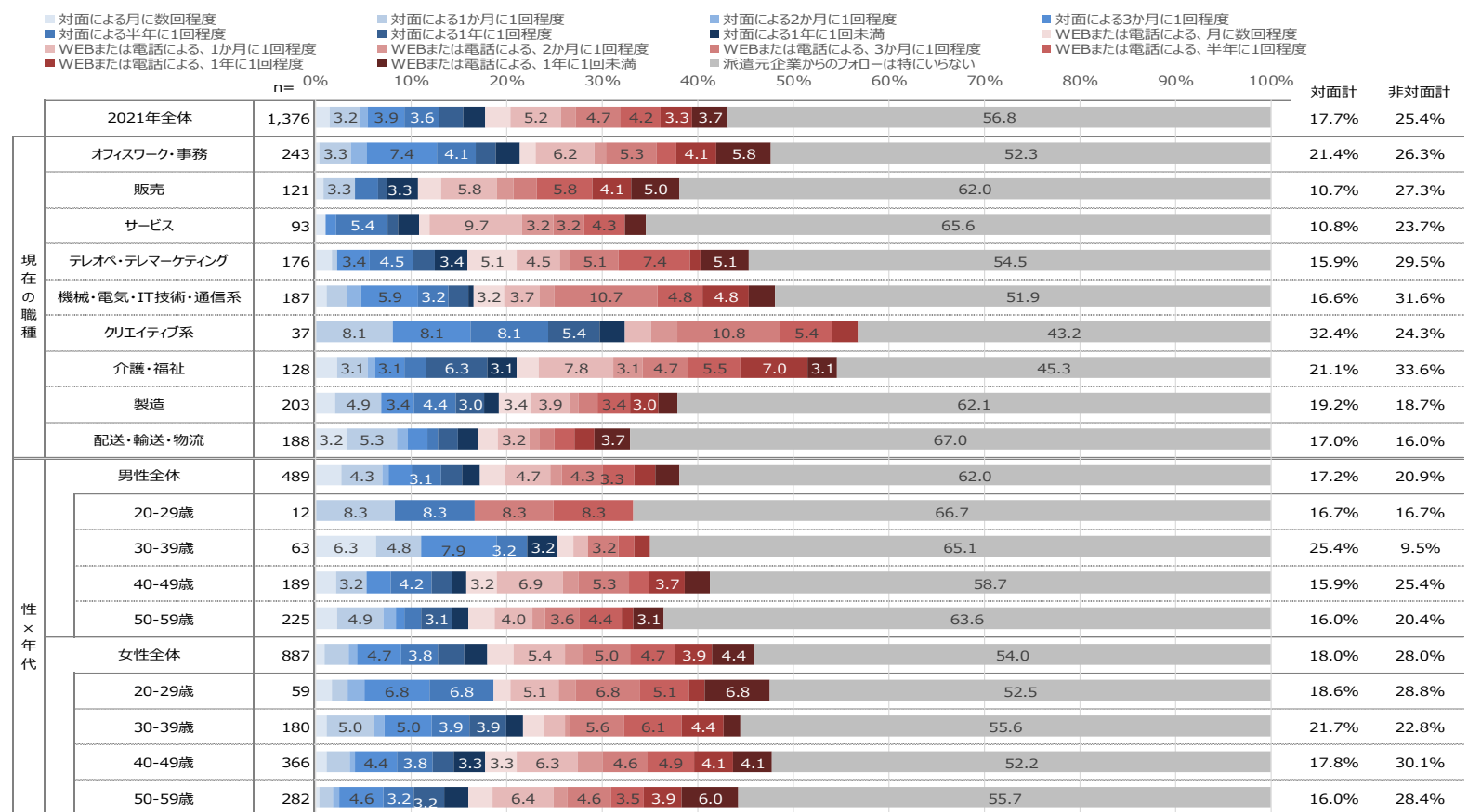
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <スキルアップや資格取得について②>（単一回答）

- ・雇用形態では、常用型の派遣社員において、対面・WEBまたは電話によるフォローの割合がやや高い。
- ・在宅勤務状況では、週に1日未満～2日の在宅勤務で対面によるフォロー・WEBまたは電話によるフォローが高い。



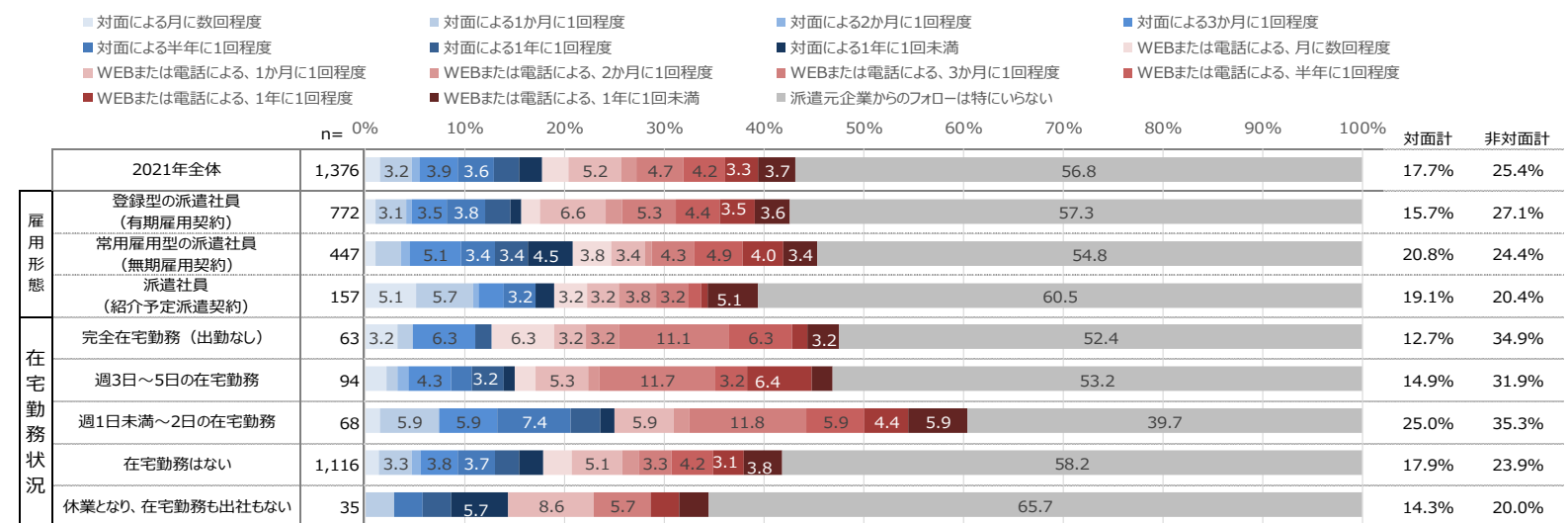
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <今後のキャリア形成について①> (単一回答)

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が最も多くを占めるが、【クリエイティブ系】【介護・福祉】は4割半ばにとどまる。一方、【配送・輸送・物流】は「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が7割弱にのぼる。
- また、【クリエイティブ系】では『WEBまたは電話』より『対面』の割合が高い。
- ・性×年代でみると、【男性】の各年代で「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が同年代の【女性】より高い。



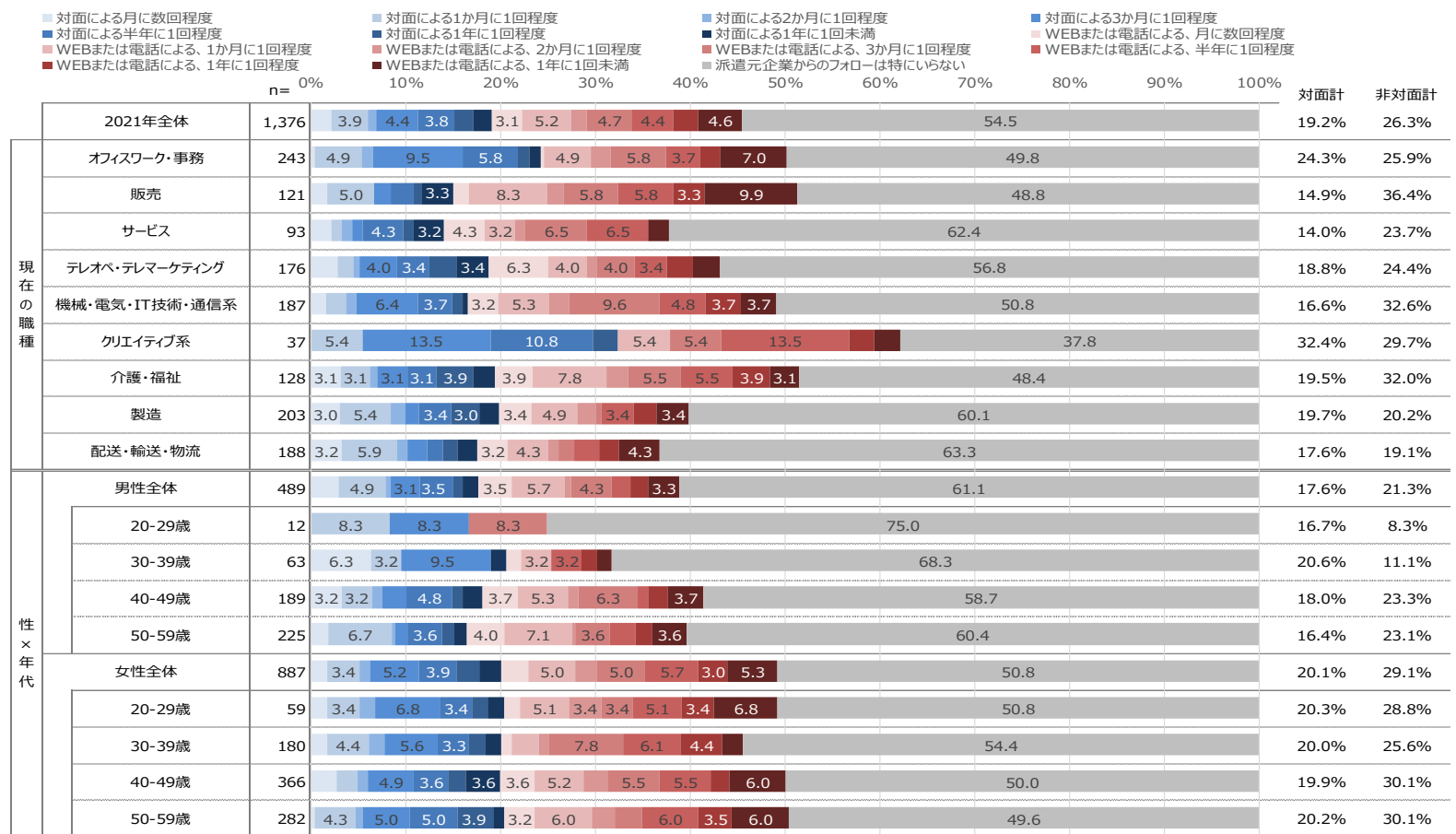
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <今後のキャリア形成について②> (単一回答)

- ・雇用形態では、常用型の派遣社員において、対面・WEBまたは電話によるフォローの割合がやや高い。
- ・在宅勤務状況では、週に1日未満～2日の在宅勤務で対面によるフォロー・WEBまたは電話によるフォローが高い。



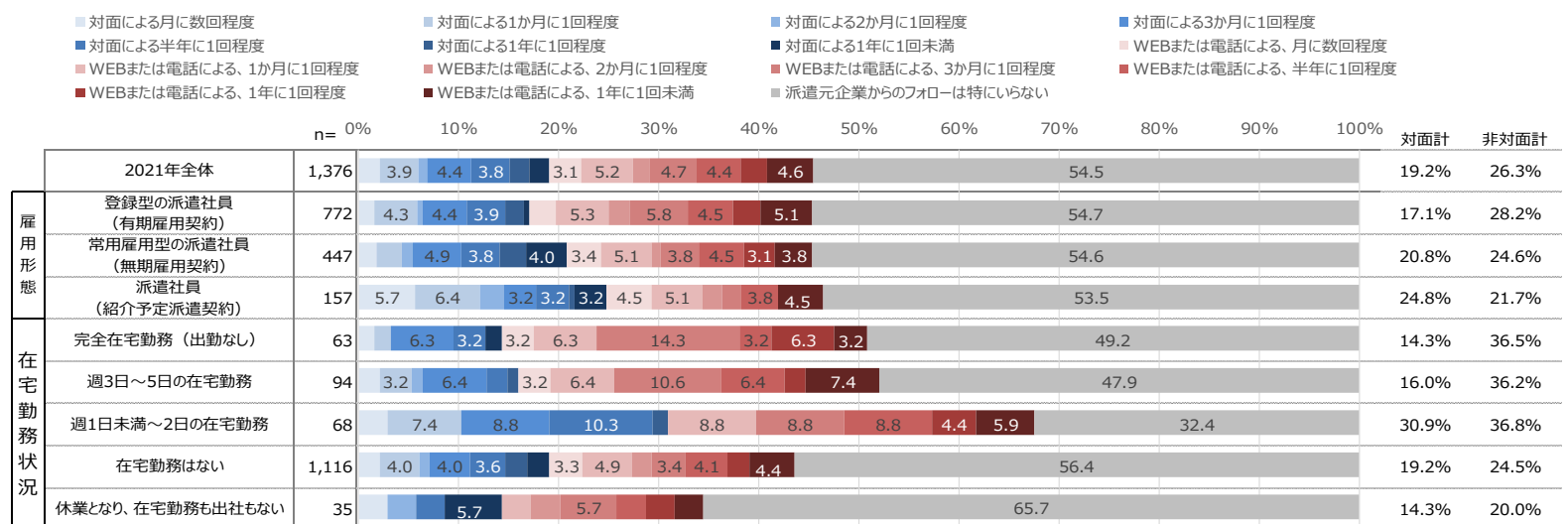
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <今後就業する可能性のある業界や企業の市況について①>（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が最も多くを占めるが、【クリエイティブ系】は4割弱にとどまる。また、【クリエイティブ系】では『対面』の割合が全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【男性】の各年代で「派遣元企業からのフォローは特にいらない」が同年代の【女性】より高く、特に【男性・30-39歳】では7割弱にのぼる。



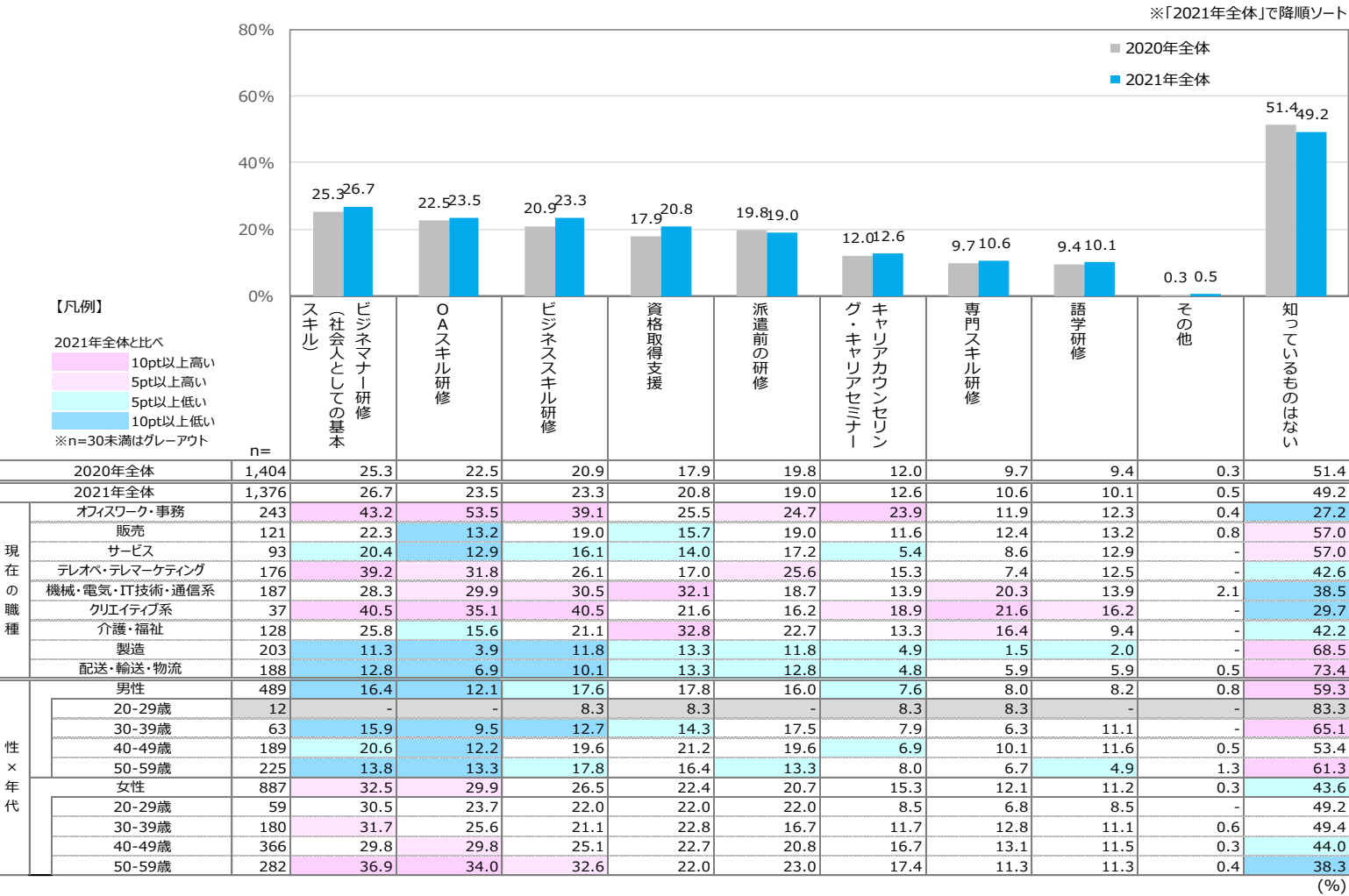
希望する派遣元からのフォロー頻度と方法 <今後就業する可能性のある業界や企業の市況について②>（単一回答）

- ・雇用形態では、対面とWEBまたは電話によるフォローの割合に大きな差はない。
- ・在宅勤務状況では、週に1日未満～2日の在宅勤務で対面によるフォローが高い。



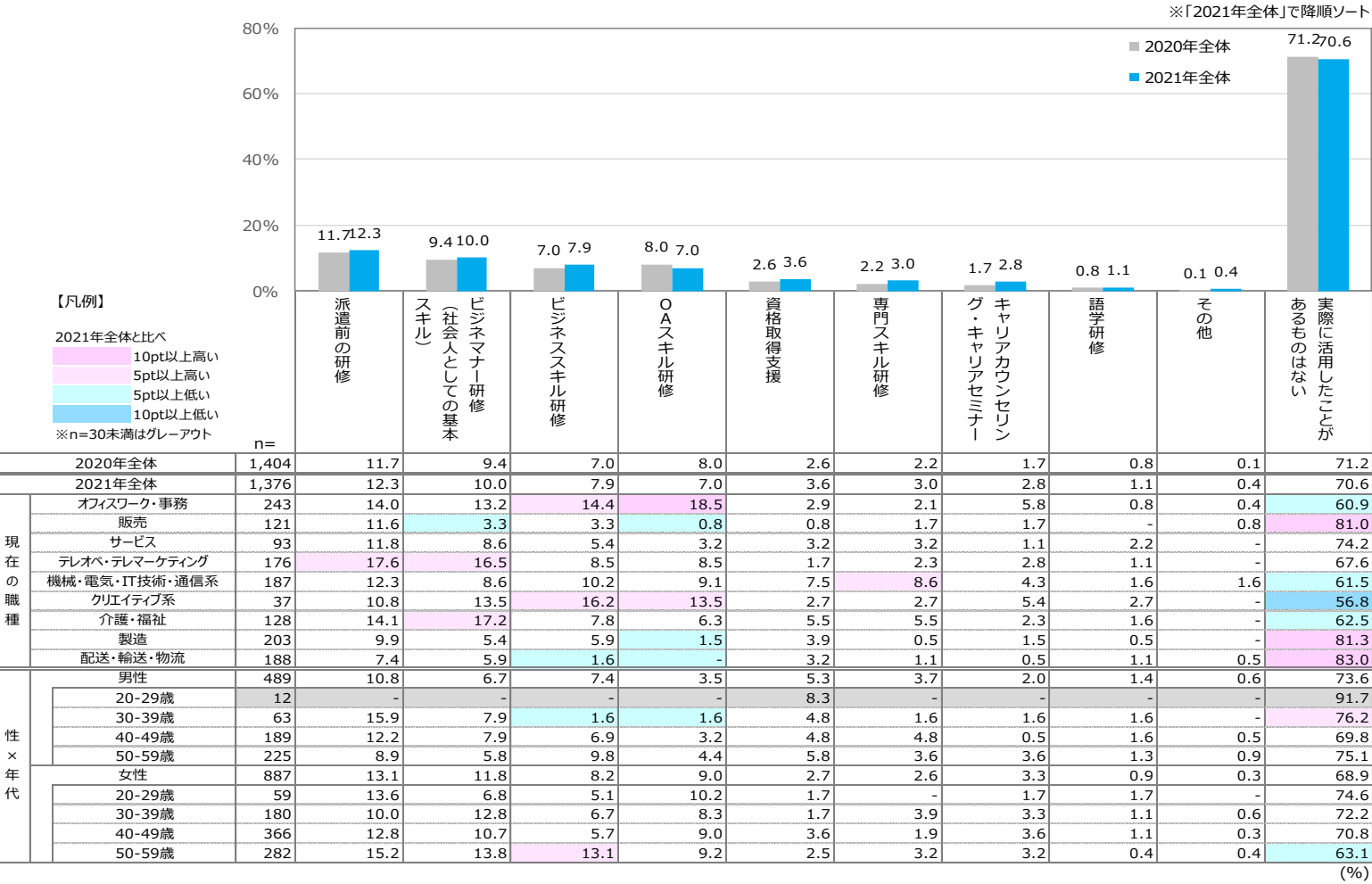
現在の派遣会社のスキルアップ制度：知っているもの（複数回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で認知率が高い項目が目立つ。
一方、【製造】【配送・輸送・物流】でスキルアップ全般について認知率が低い。
- ・性×年代でみると、【男性・30-39歳】【男性・50-59歳】で「知っているものはない」が6割強と高く、
スキルアップ全般について認知率が低いことがうかがわれる。



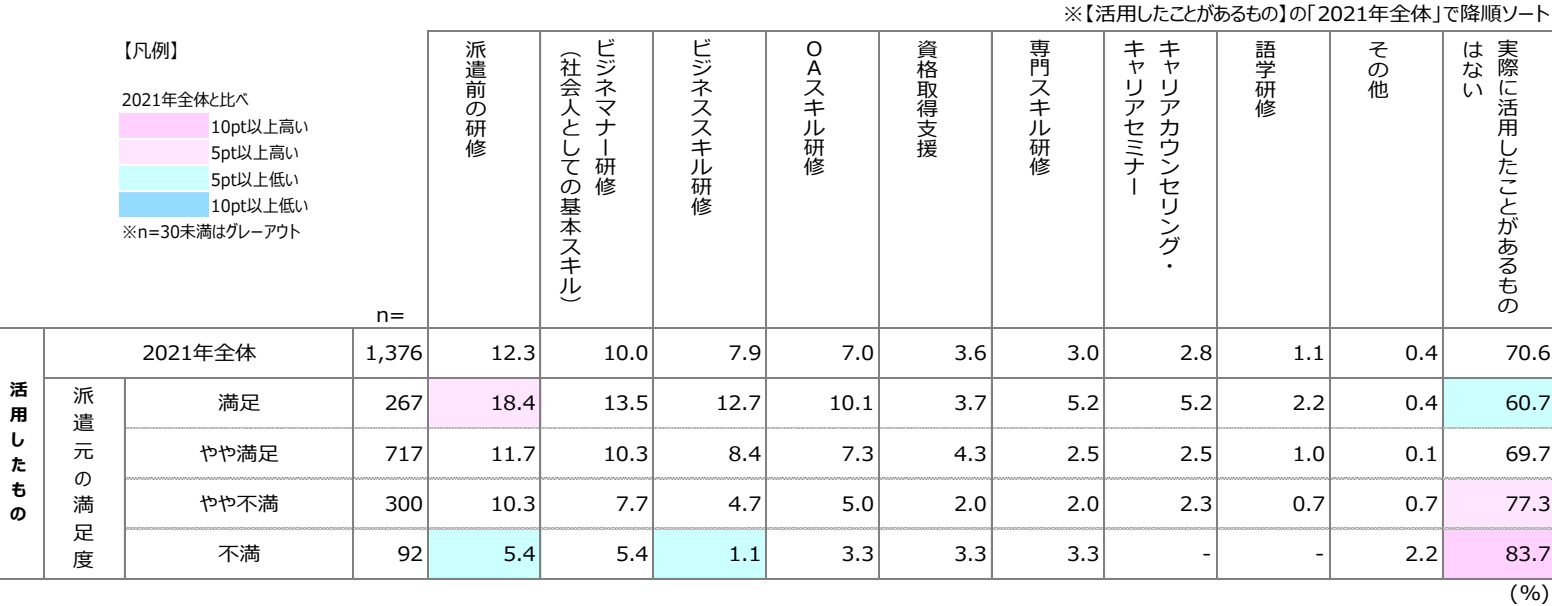
現在の派遣会社のスキルアップ制度：実際に活用したことがあるもの（複数回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】で「OAスキル研修」の活用率が2割弱と全体に比べ高い。
一方、【販売】【製造】【配送・輸送・物流】では「実際に活用したことがあるものはない」が8割台と非常に高い。
- ・性×年代でみると、【女性・50-59歳】で「ビジネススキル研修」が全体に比べやや高い。
一方、【男性・30-39歳】では「実際に活用したことがあるものはない」がやや高い。



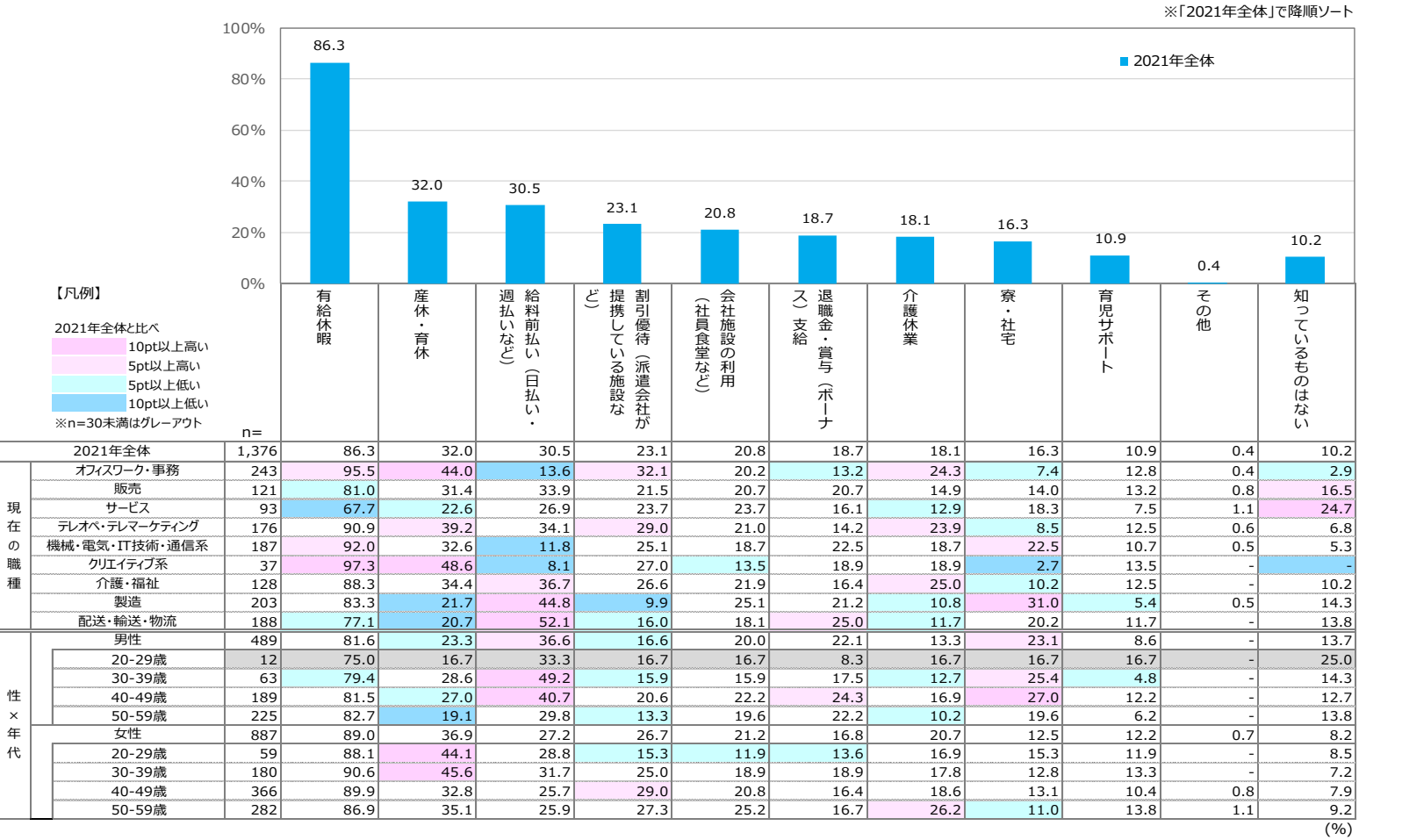
現在の派遣会社のスキルアップ制度：実際に活用したことがあるもの（複数回答）

- ・派遣元の満足度でみると、満足度が高い層で「派遣前の研修」の活用率が2割弱とやや高い。
- ・満足度が低い層ほど、「実際に活用したことがあるものはない」割合が高く、
スキルアップ制度の活用が満足度のアップに寄与している様子がうかがえる。



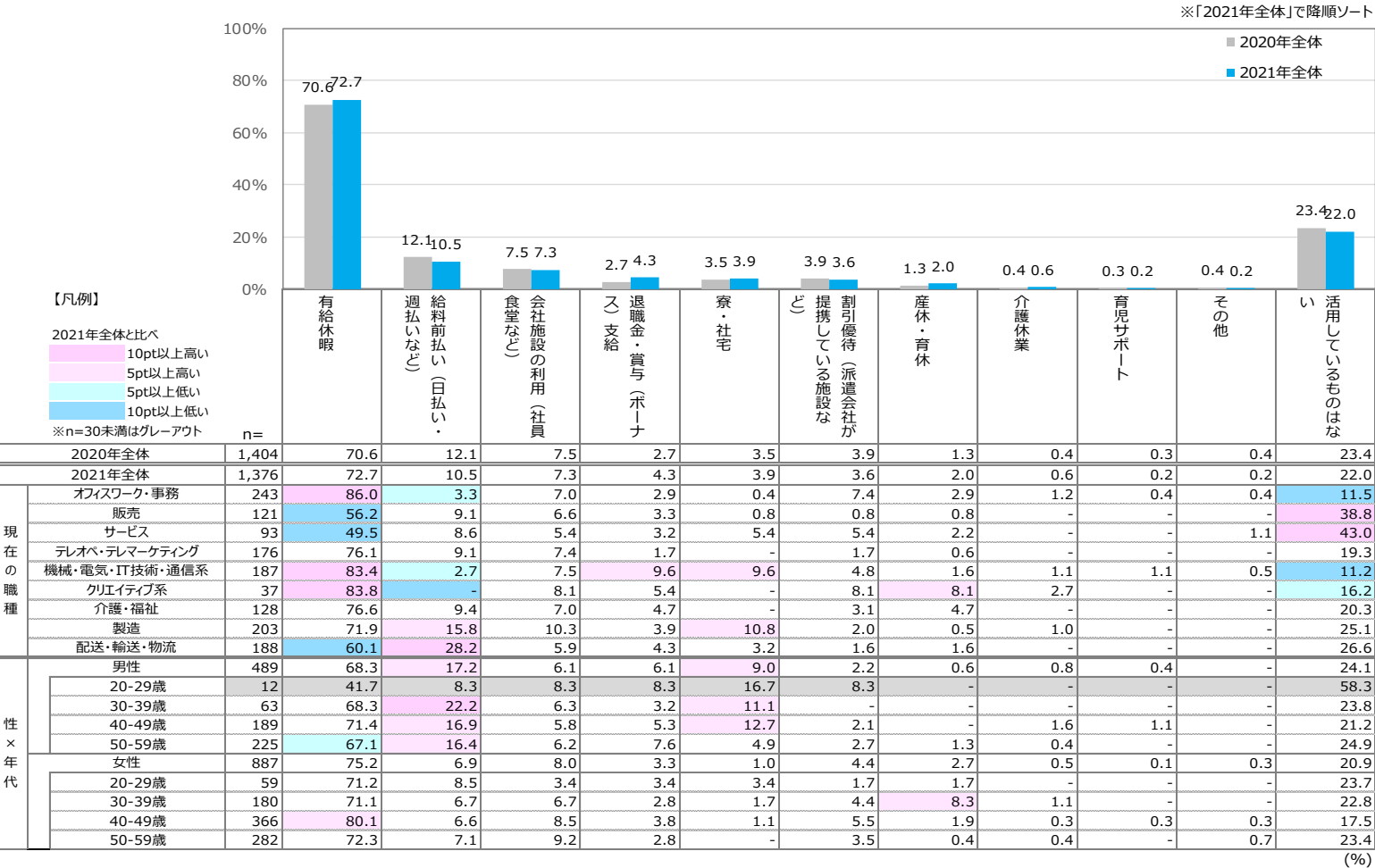
派遣元・派遣先の福利厚生制度：知っているもの（複数回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も「有給休暇」の認知が最も高い。また、【オフィスワーク・事務】【クリエイティブ系】は「産休・育休」、【製造】【配送・輸送・物流】で「給料前払い（日払い・週払いなど）」、【製造】で「寮・社宅」が全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、いずれの層も「有給休暇」の認知が最も高い。また、【女性・20-29歳】【女性・30-39歳】で「産休・育休」、【男性・30-39歳】【男性・40-49歳】で「給料前払い（日払い・週払いなど）」の認知が全体に比べ高い。



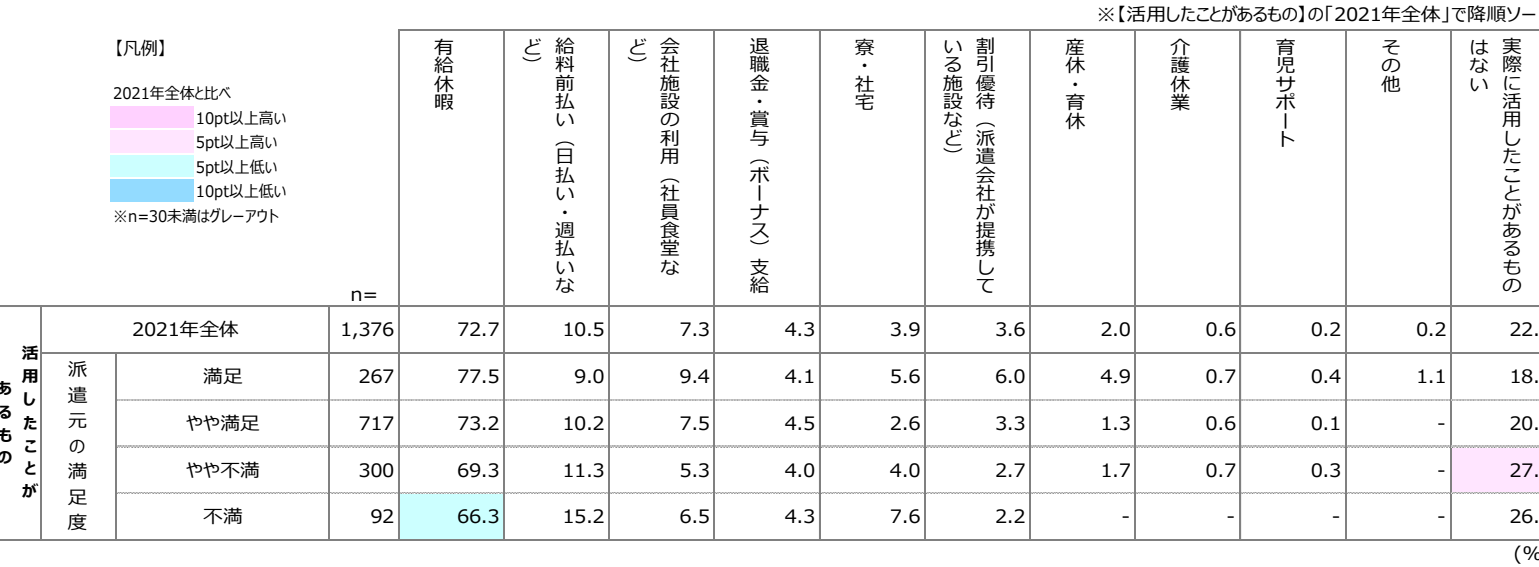
派遣元・派遣先の福利厚生制度：実際に活用したことがあるもの①（複数回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も「有給休暇」が最も高い。中でも【オフィスワーク・事務】【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で特に高く、8割強の活用率。一方、【販売】【サービス】【配送・輸送・物流】は活用率が他の職種に比べ低い。
- ・性×年代でみると、いずれの層も「有給休暇」が最も高い。また、【男性・30-39歳】では「給料前払い（日払い・週払いなど）」の活用率が全体に比べ高い。



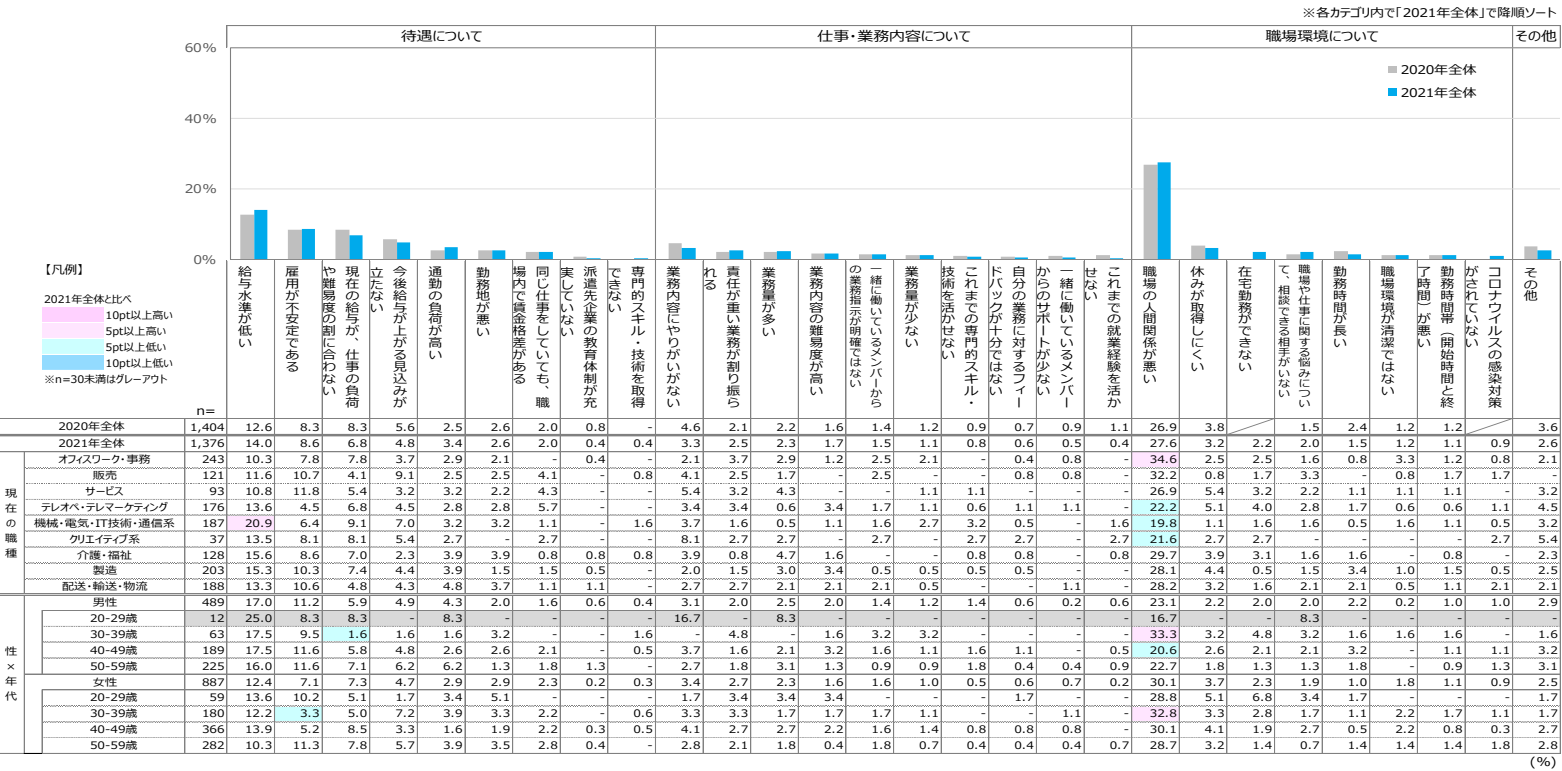
派遣元・派遣先の福利厚生制度：実際に活用したことがあるもの②（複数回答）

- ・派遣元の満足度でみると、満足度が高くなるほど「有給休暇」を活用している割合が高い。
- ・一方、「給料前払い（日払い・週払いなど）」は満足度が低くなるほど活用している割合が高い。



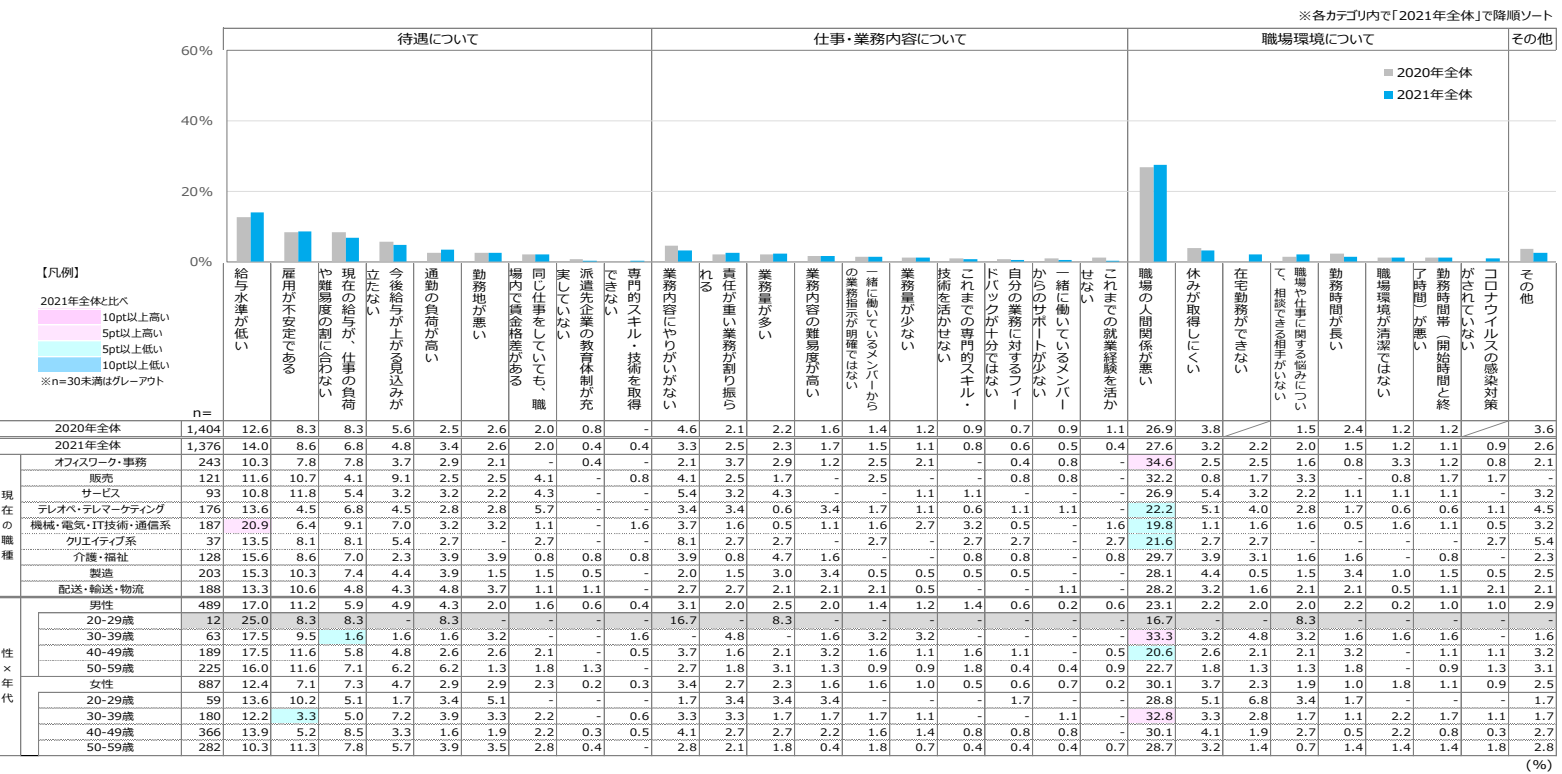
派遣先変更・退職検討要因（複数回答）

- ・現在の職種でみると、ほとんどの職種で「職場の人間関係が悪い」「給与水準が低い」が上位2位にあがる。
【サービス】は「職場の人間関係が悪い」に次いで、「雇用が不安定である」が2位にあがる。
- ・性×年代でみても、すべての層で「職場の人間関係が悪い」と「給与水準が低い」が上位2位。
また、【女性・20-29歳】【女性・30-39歳】【女性・40-49歳】で「休みが取得しにくい」が全体に比べやや高め。



派遣先変更・退職検討要因（単一回答）

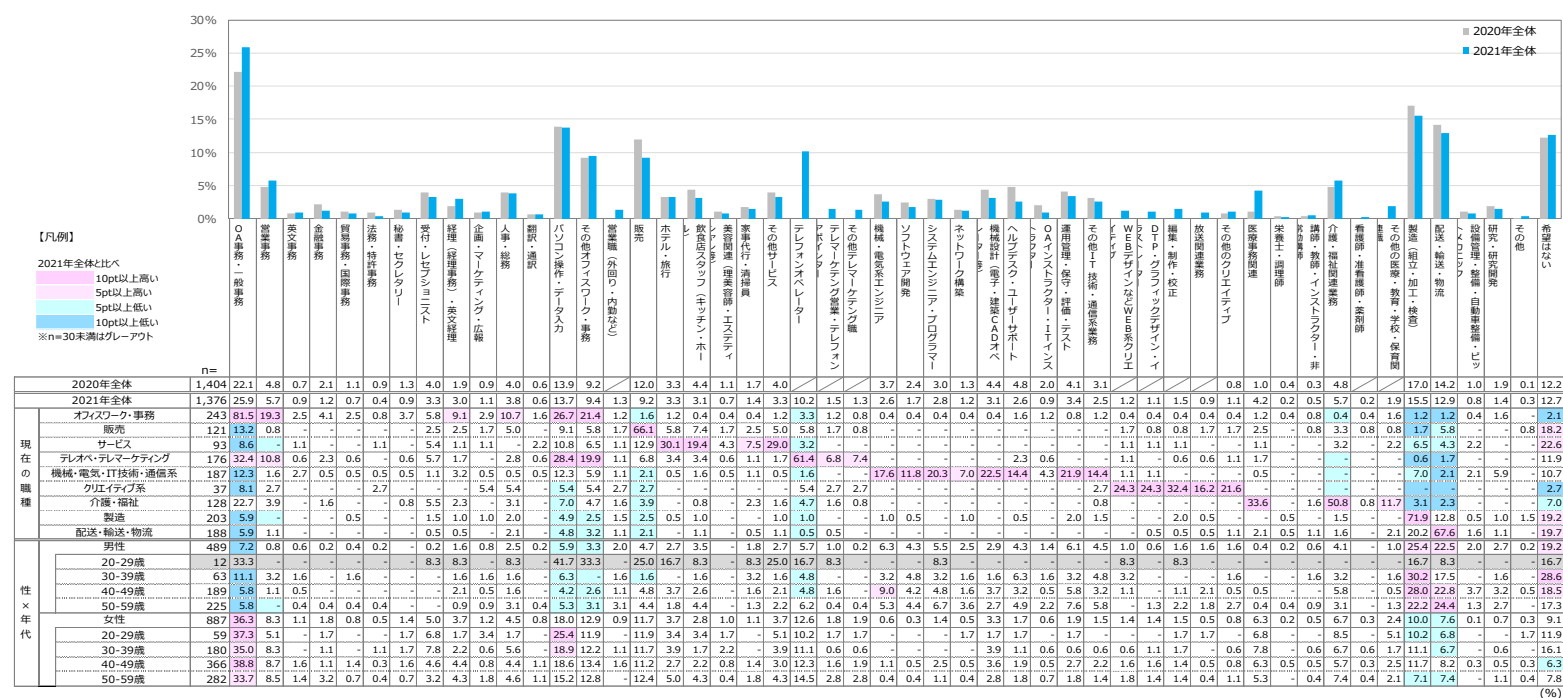
- ・現在の職種でみると、【機械・電気・IT技術・通信系】で「給与水準が低い」、その他の職種では「職場の人間関係が悪い」が最も高い。
- ・性×年代でみると、いずれも「職場の人間関係が悪い」が高い。



(6) 今後の就労意向

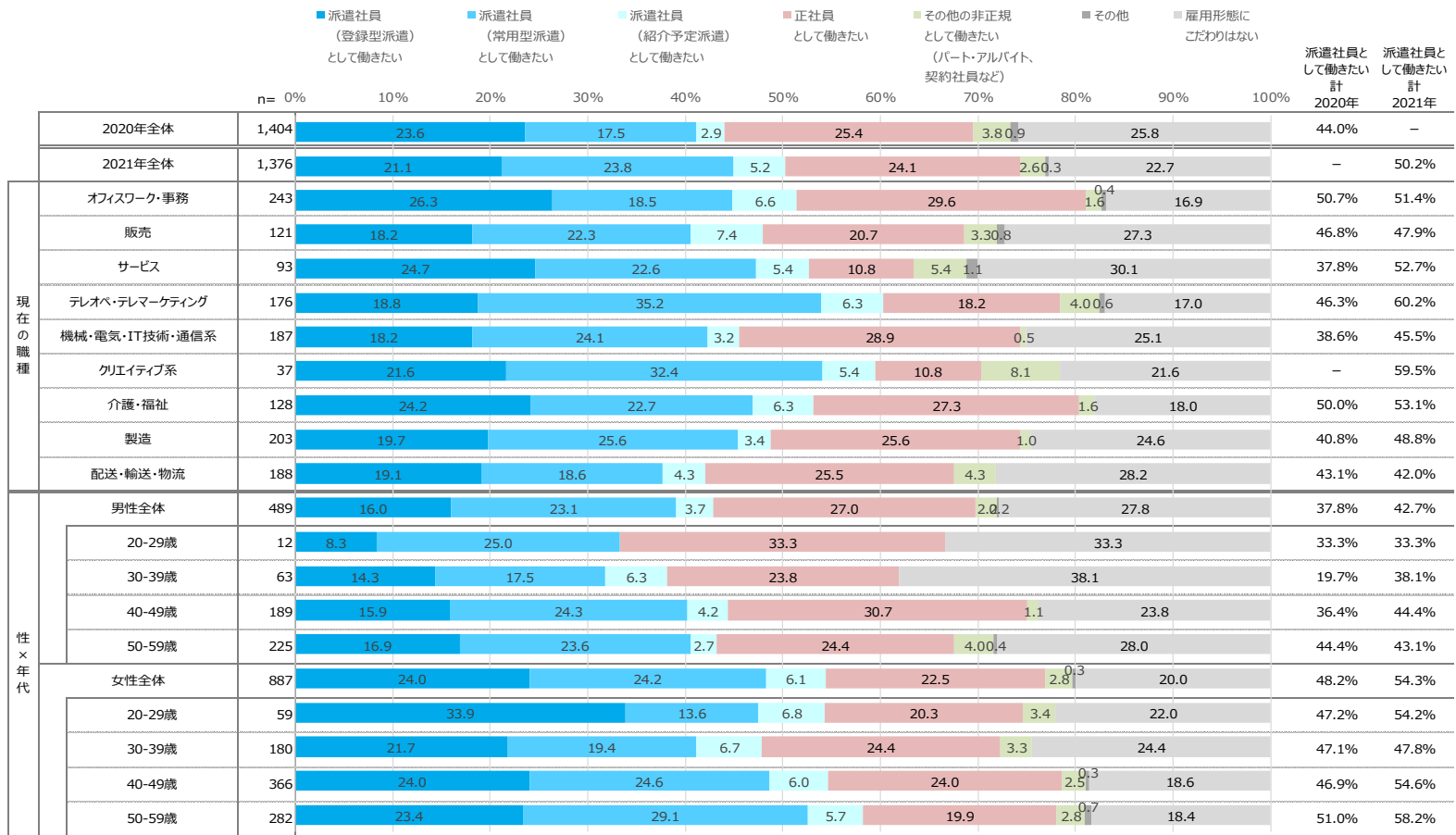
今後希望する職種（複数回答）

- ・『現在の職種』と『今後希望する職種』は概ね合致している。「パソコン操作・データ入力」「その他オフィスワーク・事務」は【オフィスワーク・事務】だけでなく【テレオペ・テレマーケティング】でも全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【男性・30-39歳】【男性・40-49歳】で「製造（組立・加工・検査）」と、【男性・50-59歳】で「配送・輸送・物流」が最も高い。【女性】は各年代で「OA事務・一般事務」が最も高い。
- また、【女性・20-29歳】で「パソコン操作・データ入力」が全体に比べ高い。



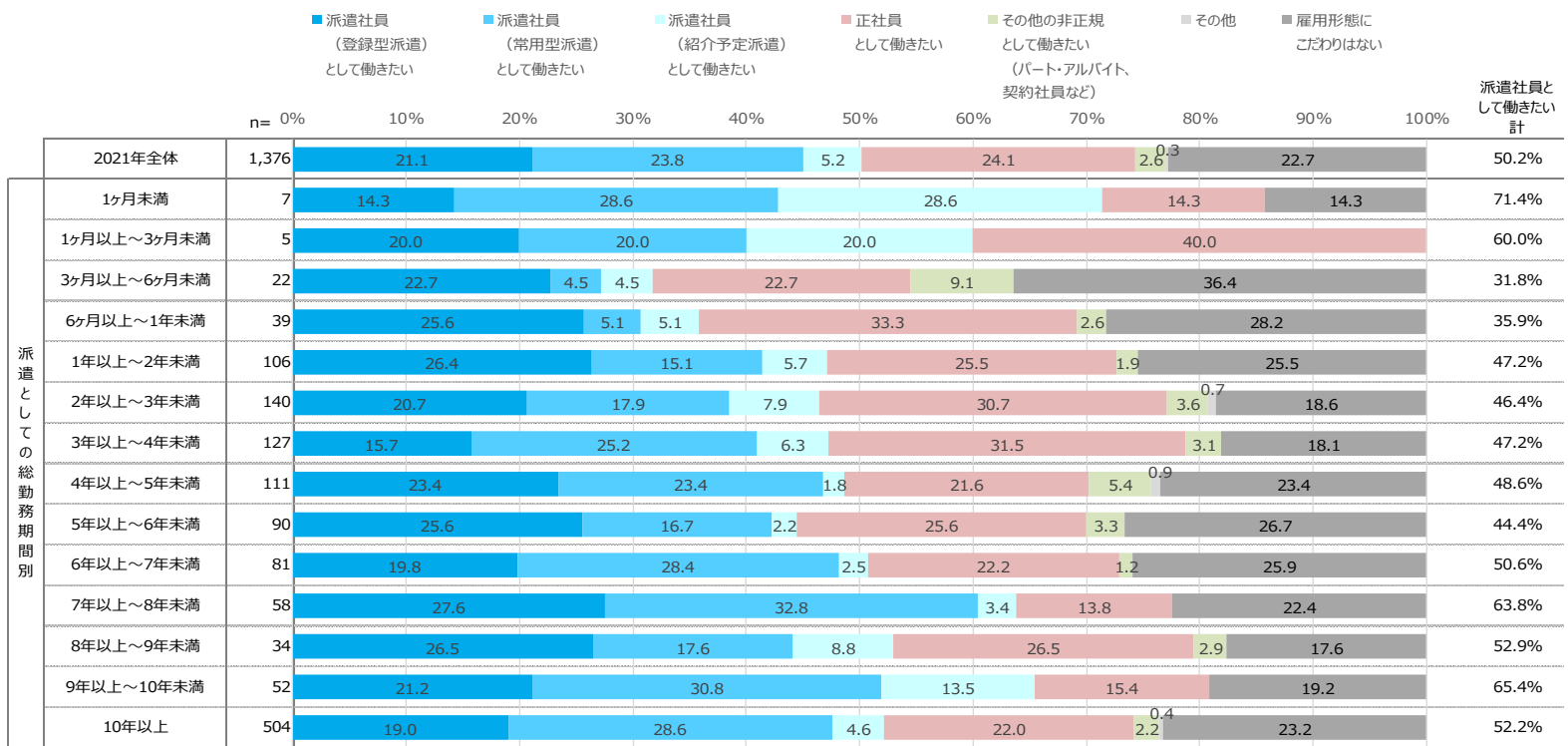
今後の派遣社員意向①（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種も「派遣社員として働きたい計」が最も多くを占める。特に【テレオペ・テレマーケティング】【クリエイティブ系】で「派遣社員として働きたい計」が6割前後と高い。
- ・性×年代でみると、【男性・30-39歳】は「派遣社員として働きたい計」が全体に比べ低く、「雇用形態にこだわりはない」と並ぶ。一方、【女性・50-59歳】は「派遣社員として働きたい計」の比率が6割弱と、全体に比べ高い。



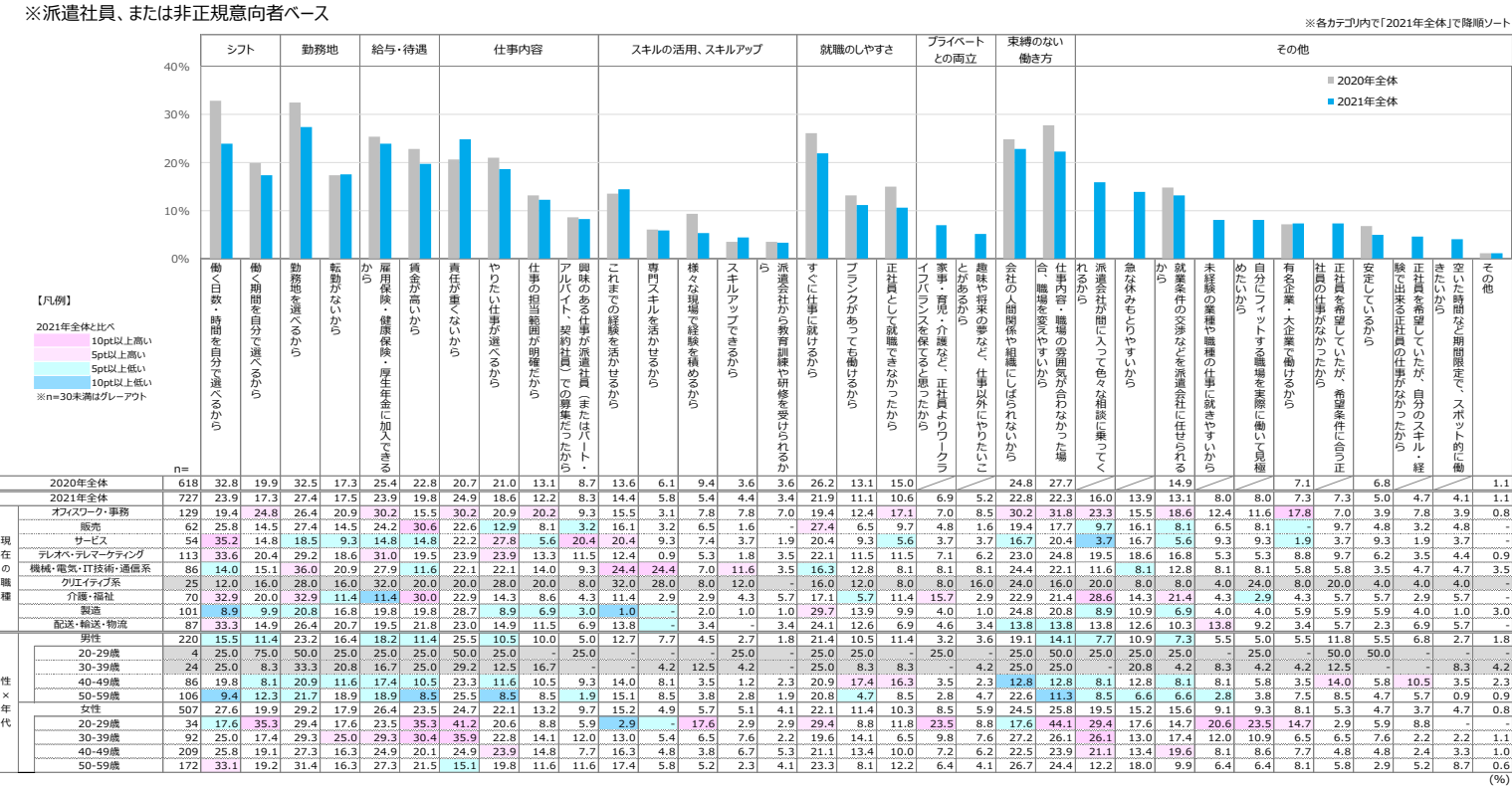
今後の派遣社員意向② <派遣としての総勤務期間別>（単一回答）

- ・派遣社員として働いてきた通算期間が6年以上の場合、「派遣社員として働きたい計」はいずれも5～6割台と全体と同等かそれ以上。
- ・通算期間が1年以上～6年未満の場合は4割台と全体をやや下回る。
- ・通算期間が3ヵ月以上～1年未満では3割台にとどまる。



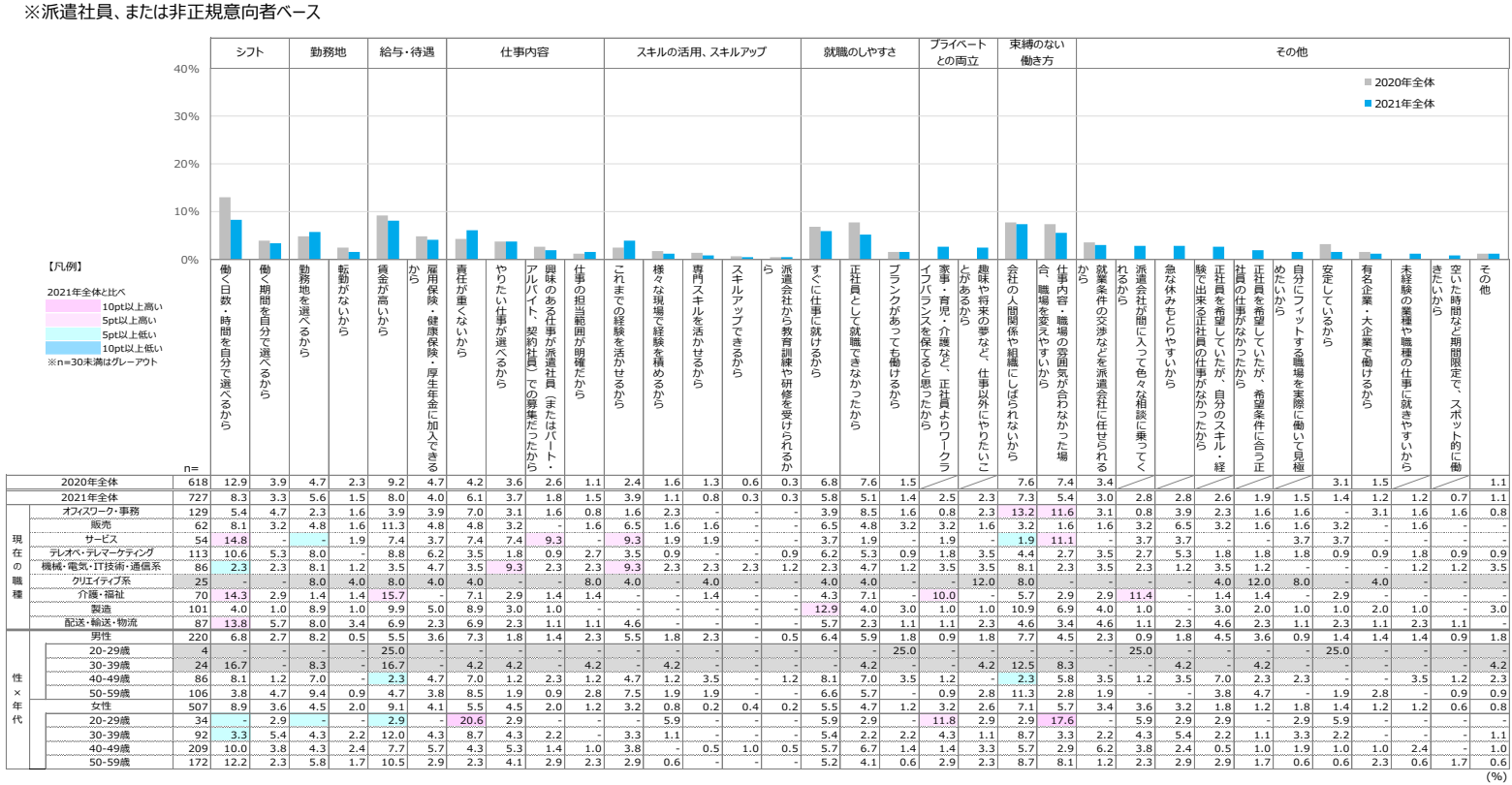
派遣社員、または非正規として働きたい理由（複数回答）

- ・今後派遣社員、または非正規として働きたい理由としては、全体的に「勤務地を選べるから」「責任が重くないから」といった理由が上位に挙がる。
- ・職種別でみると、【販売】【介護・福祉】で「賃金が高い」が他職種と比べて高い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「責任が重くないから」「仕事内容・職場の雰囲気が合わなかった場合、職場を変えやすいから」が4割強と高い。



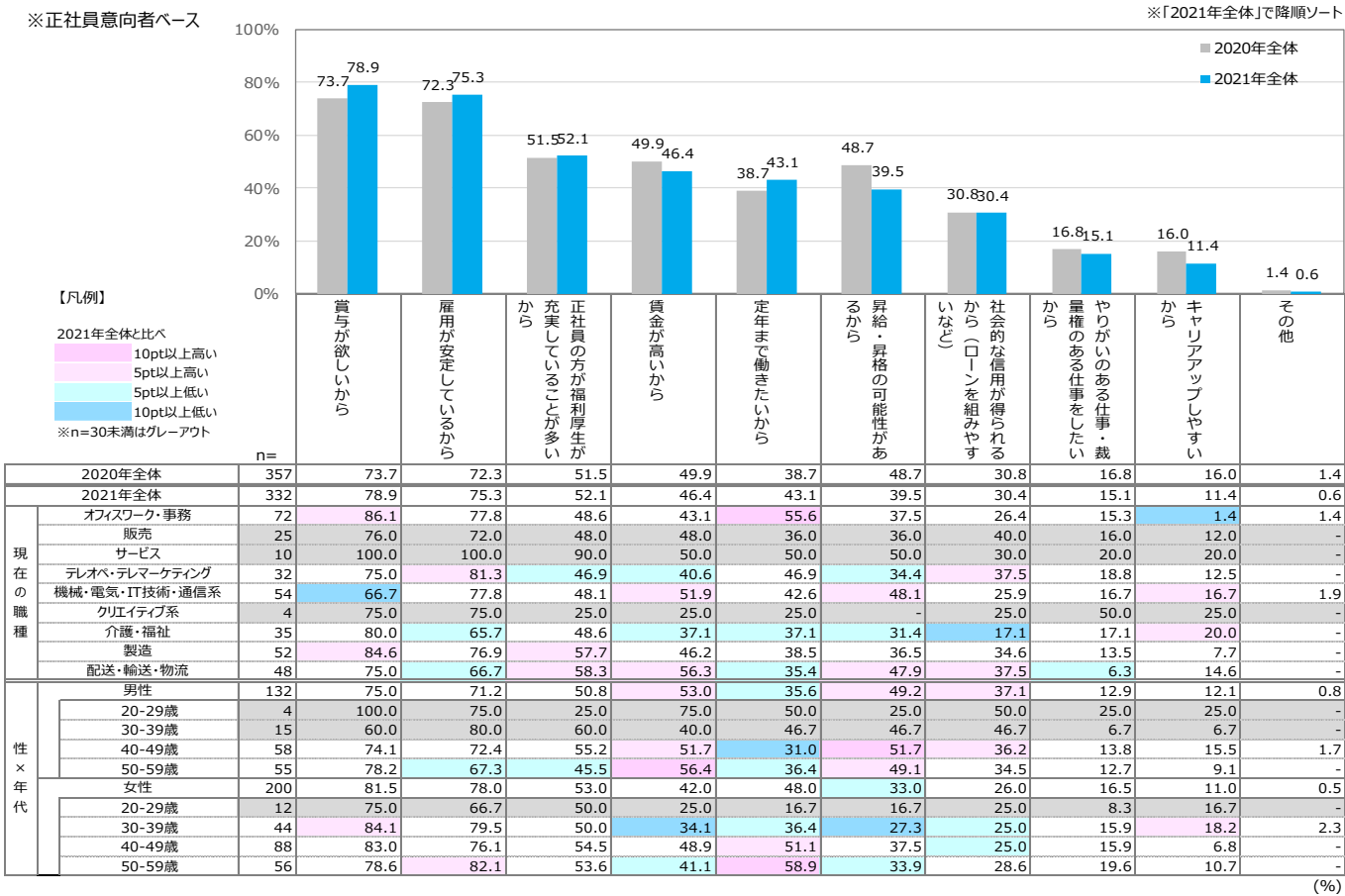
派遣社員、または非正規として働きたい最大の理由（単一回答）

- ・今後派遣社員、または非正規として働きたい最大の理由としては、全体的に「働く日数・時間を自分で選べるから」「賃金が高いから」が上位に挙がるが、1割に満たない。
- ・性×年代では、【女性・20-29歳】で「責任が重くないから」「仕事内容・職場の雰囲気が合わなかった場合、職場を変えやすいから」が全体に比べ高い。



正社員として働きたい理由（複数回答）

- ・今後正社員として働きたい理由としては、いずれの職種においても「賞与が欲しい」「雇用が安定している」が上位に挙がる。
また、【オフィスワーク・事務】では「定年まで働きたいから」が全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【男性・40-49歳】で「昇給・昇格の可能性があるから」、【男性・50-59歳】で「賃金が高いから」、
【女性・50-59歳】で「定年まで働きたいから」が全体に比べ高い。



正社員として働きたい最大理由（単一回答）

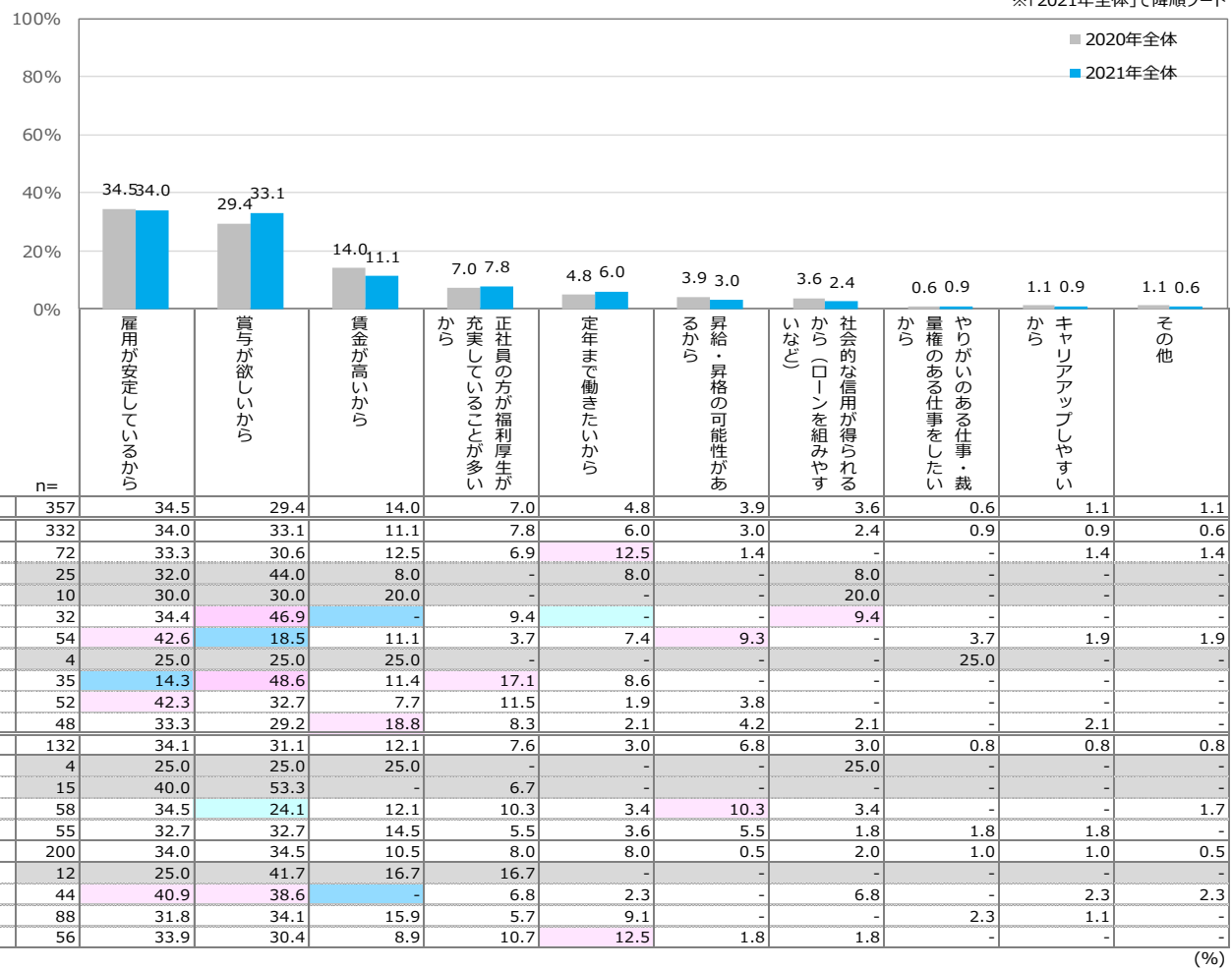
- ・今後正社員として働きたい最大の理由としては、いずれの職種においても「雇用が安定している」「賞与が欲しい」が上位に挙がる。
- 特に【テレオペ・テレマーケティング】【介護・福祉】で「賞与が欲しいから」が5割弱と全体に比べ高い。

※正社員意向者ベース

※「2021年全体」で降順ソート

【凡例】

2021年全体と比べ
 10pt以上高い
 5pt以上高い
 5pt以上低い
 10pt以上低い
 ※n=30未満はグレーアウト

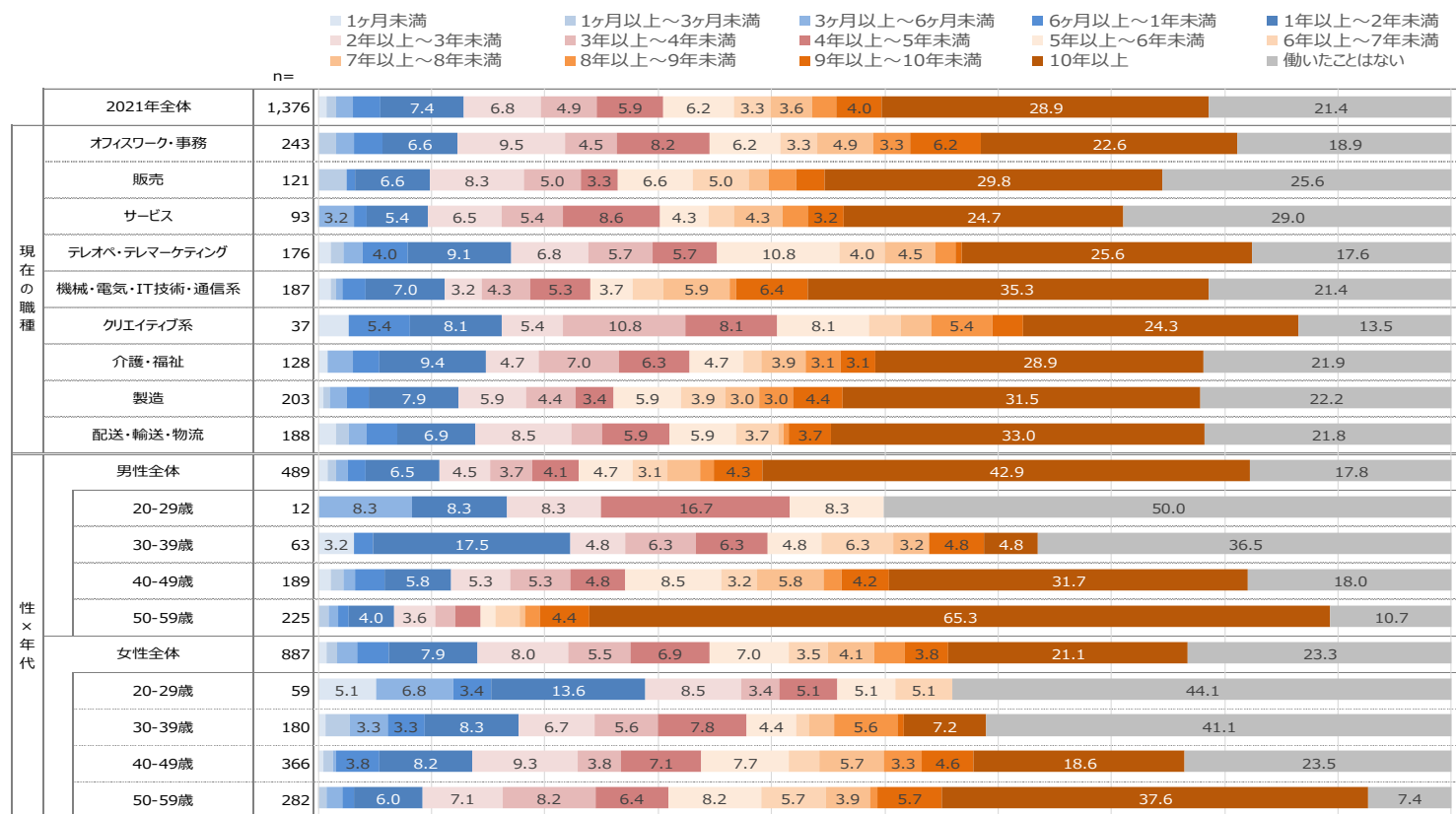


(%)

（7）派遣社員以外の雇用形態との比較

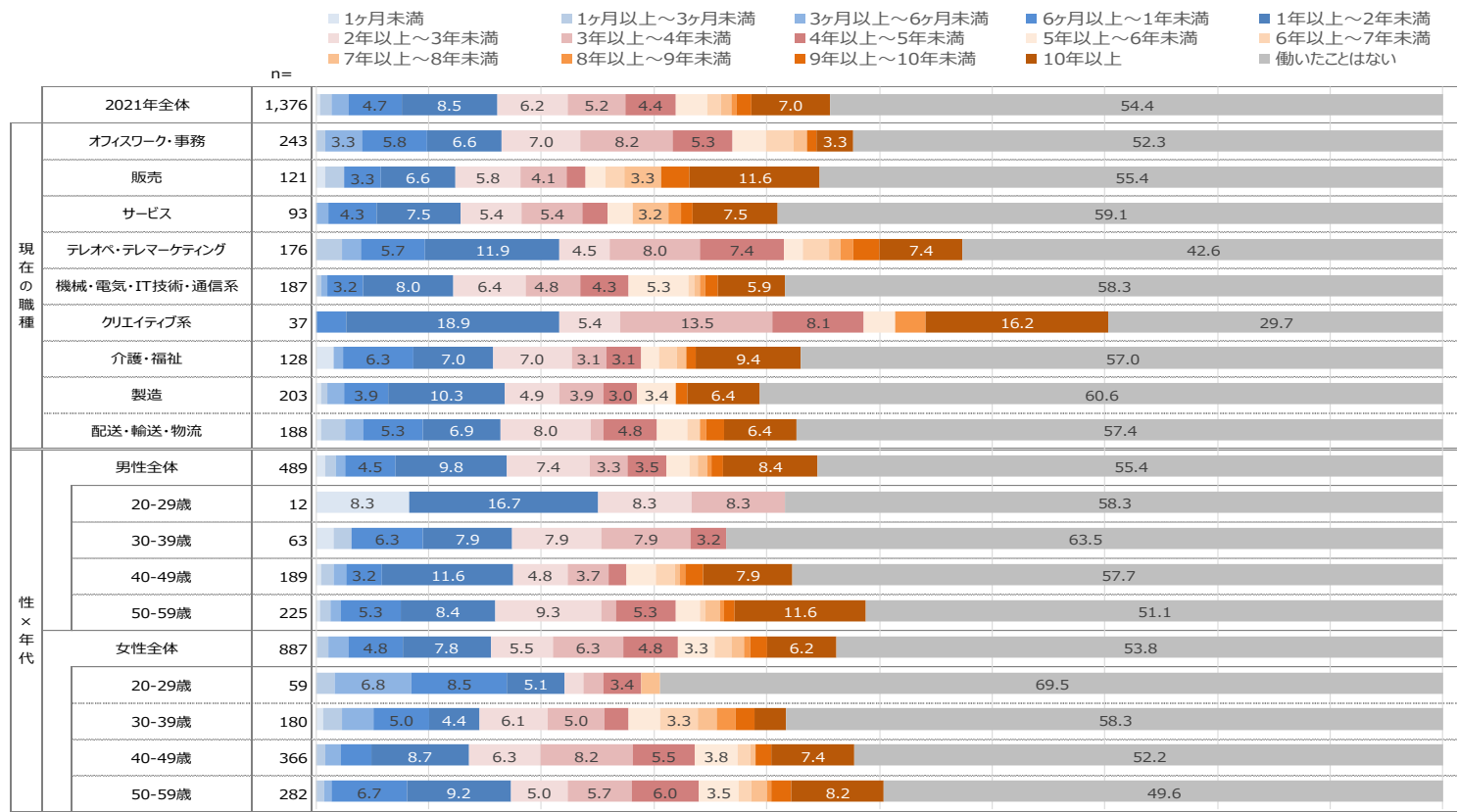
派遣社員以外の雇用形態勤務期間：正社員（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【サービス】で「働いたことはない」が最も多くを占めるが、他の職種では「10年以上」が最も高い。
特に【機械・電気・IT技術・通信系】では「10年以上」が3割半ばと、全体に比べ高い。
- ・性×年代では、男女とも高年層ほど正社員経験者（「働いたことはない」以外）の割合が高い。
特に【男性・50-59歳】は「10年以上」が6割半ばにのぼる。



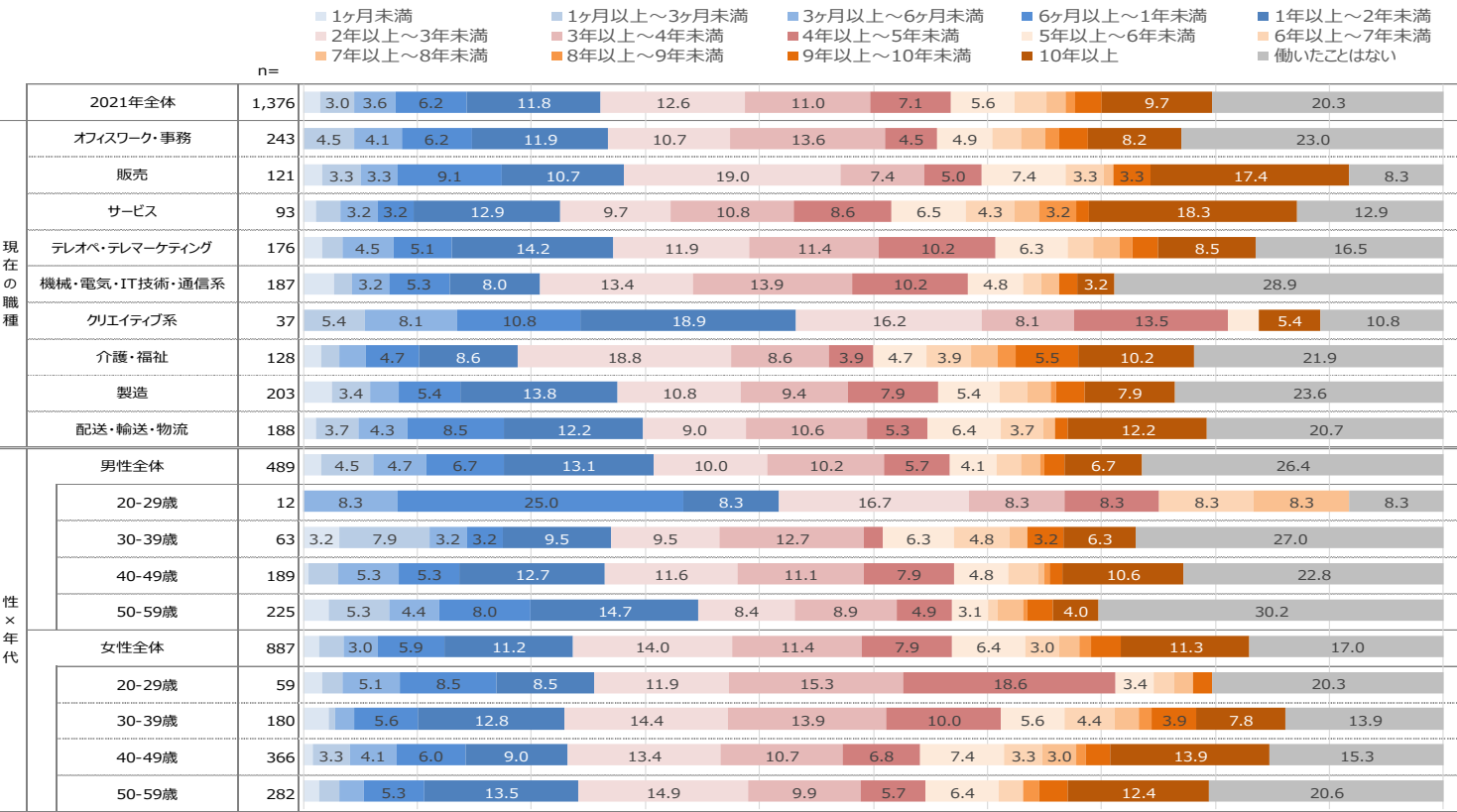
派遣社員以外の雇用形態勤務期間：契約社員（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【テレオペ・テレマーケティング】【クリエイティブ系】を除くすべての職種で「働いたことはない」が過半数を占める。
【クリエイティブ系】では「2年以上～」が5割弱と全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、男女とも高年層ほど契約社員経験者（「働いたことはない」以外）の割合が高い。



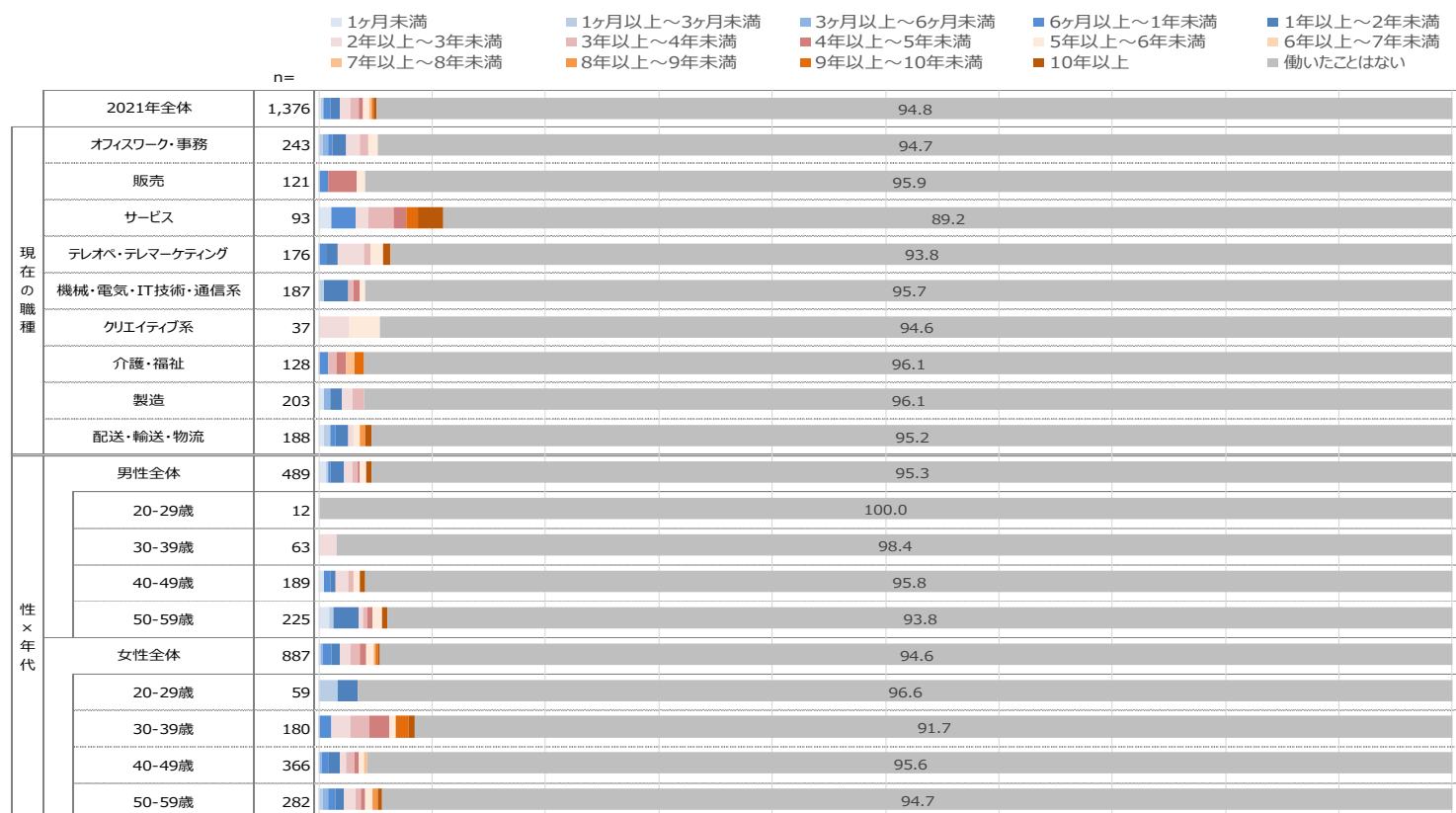
派遣社員以外の雇用形態勤務期間：パート・アルバイト（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【販売】【サービス】で「2年以上～」の割合が全体に比べ高い。一方、【機械・電気・IT技術・通信系】は「働いたことはない」が3割弱と、他の職種と比較するとやや高い。
- ・性×年代でみると、【女性】の各年代でパート・アルバイト経験者（「働いたことはない」以外）が、同年代の【男性】より高い。



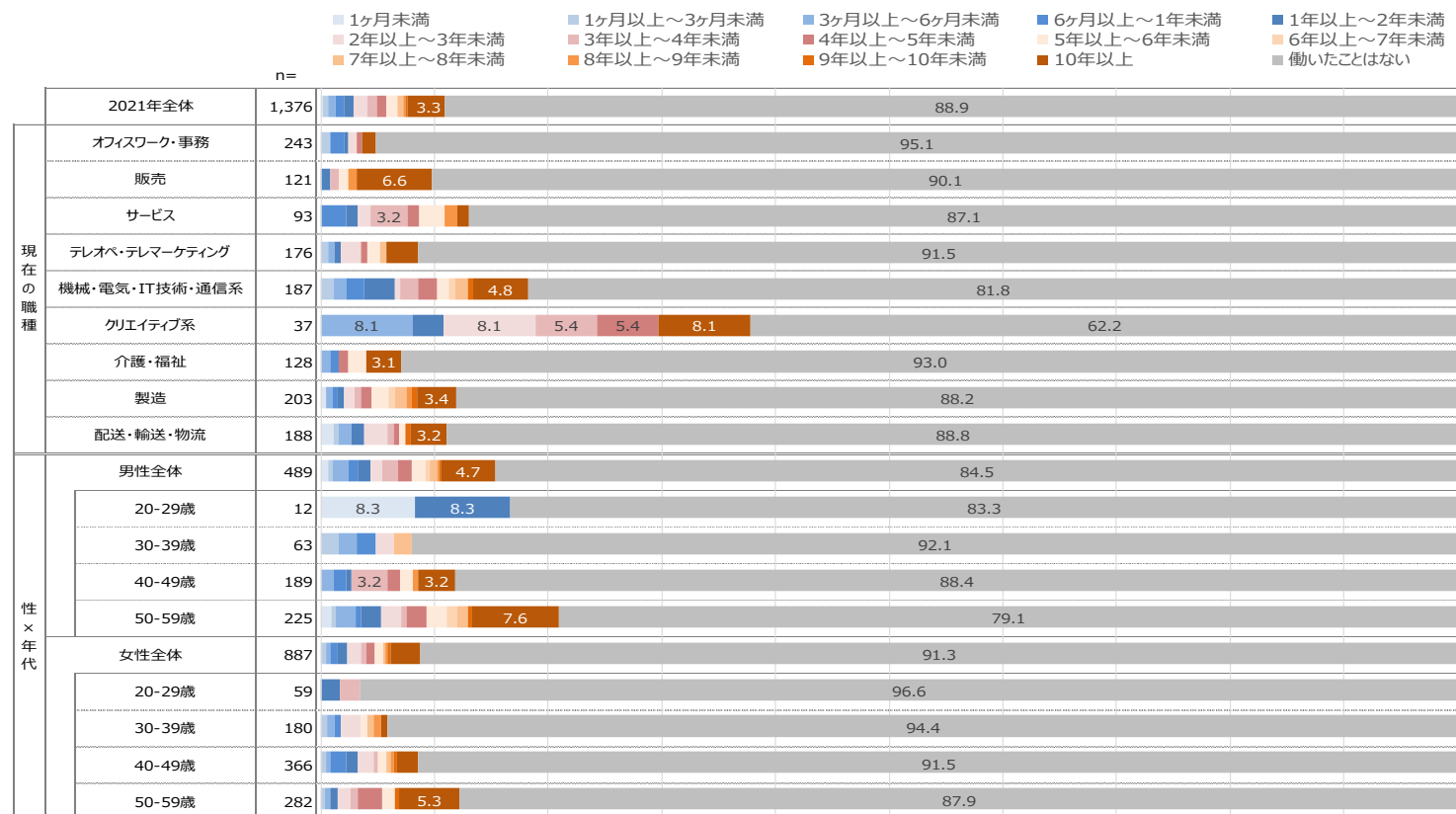
派遣社員以外の雇用形態勤務期間：嘱託社員（単一回答）

- ・現在の職種でみると、ほとんどの職種で「働いたことはない」が9割以上を占める。
- 【サービス】は嘱託社員経験者（「働いたことはない」以外）がおよそ1割と、全体に比べやや高め。
- ・性×年代で大きな差はみられない。



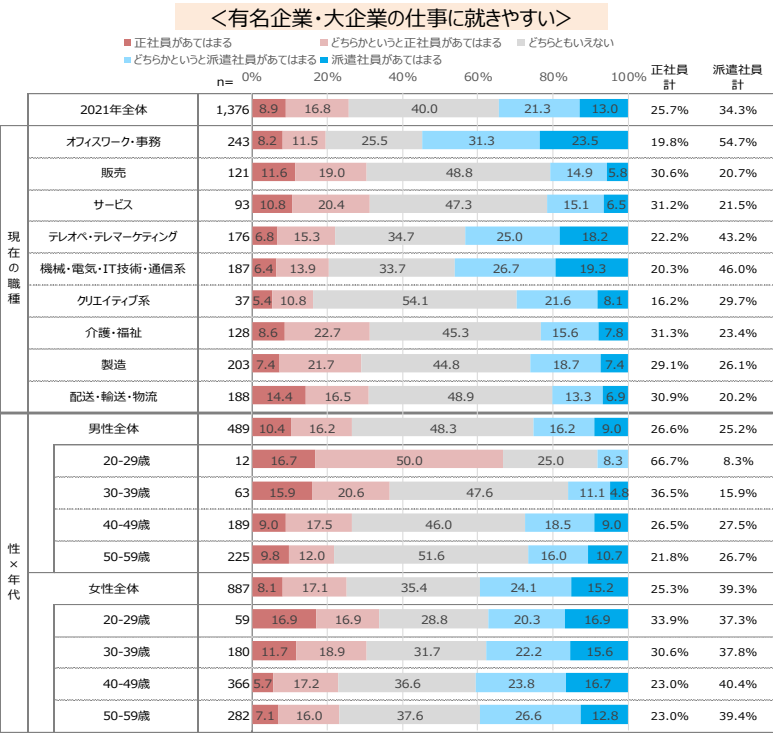
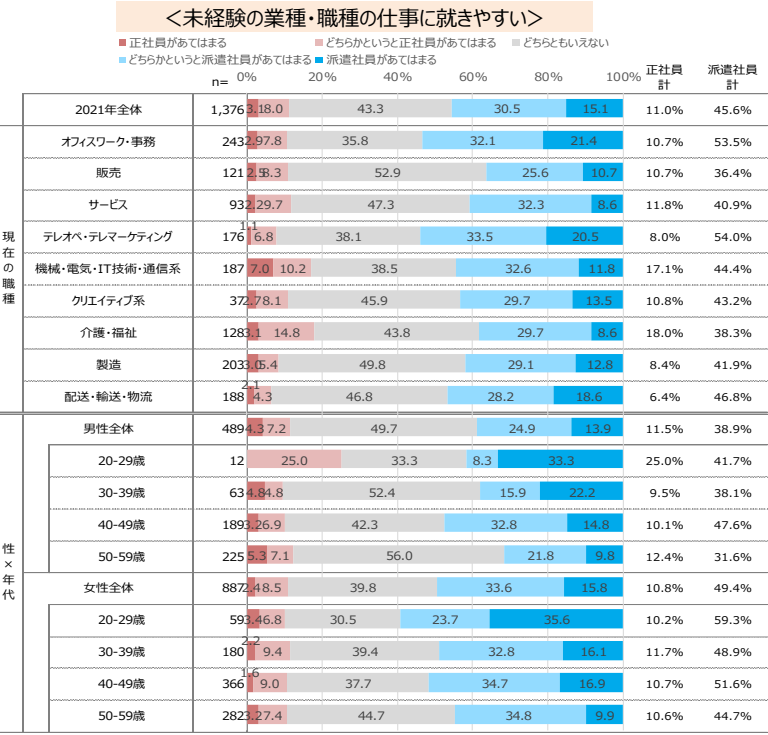
派遣社員以外の雇用形態勤務期間：自営業・フリーランス（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【クリエイティブ系】を除いたすべての職種で「働いたことはない」が8～9割台にのぼる。
- 【クリエイティブ系】は自営業・フリーランス経験者（「働いたことはない」以外）が4割弱と、突出して高い。
- ・性×年代でみると、男女ともに高年層ほど自営業・フリーランス経験者の割合が高く、最も高い【男性・50-59歳】で2割強。



正社員と派遣社員の比較①（単一回答）

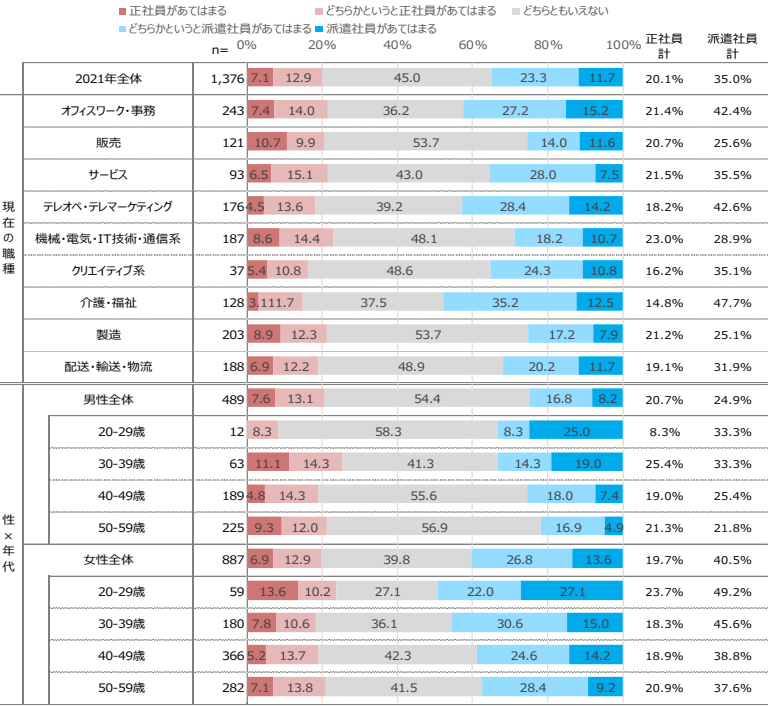
- ・＜未経験の業種・職種に就きやすい＞現在の職種でみると、いずれの職種においても、「派遣社員計」が「正社員計」より高い。
- ・＜未経験の業種・職種に就きやすい＞性×年代でも、すべての層で「派遣社員計」の方が高く、特に【女性・20-29歳】では「派遣社員計」が6割弱と高い。
- ・＜有名企業・大企業の仕事に就きやすい＞現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】で「派遣社員計」が5割半ばと「正社員計」を大きく上回る。
- ・＜有名企業・大企業の仕事に就きやすい＞性×年代でみると、【男性・30-39歳】で「正社員計」が「派遣社員計」より高い。



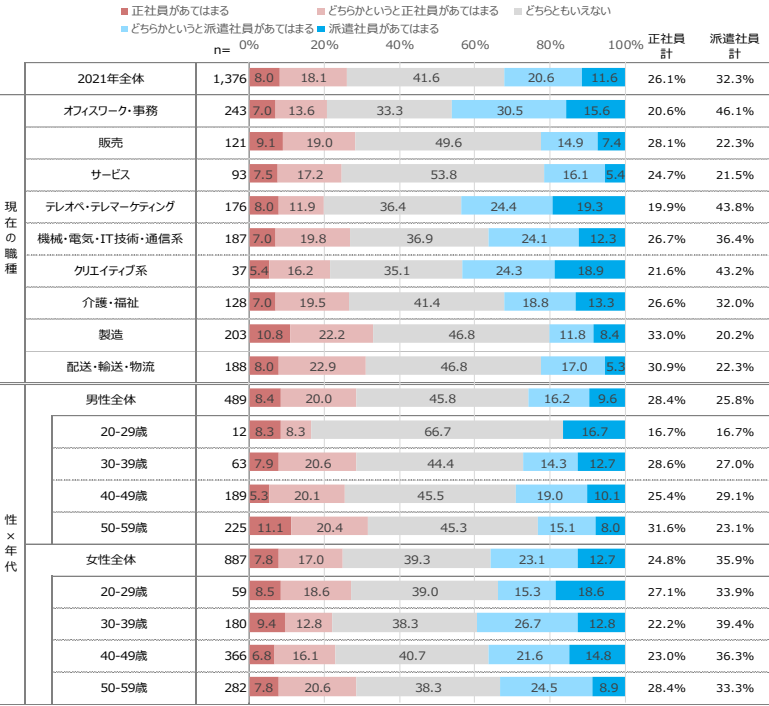
正社員と派遣社員の比較②（単一回答）

- ・＜育児・介護など、仕事とプライベートのバランスを保ちやすい＞いずれの職種も、「派遣社員計」が「正社員計」より高く、特に【介護・福祉】で顕著。
- ・＜育児・介護など、仕事とプライベートのバランスを保ちやすい＞【男性】より【女性】の「派遣社員計」が全体的に高め。また、男女とも若年層ほど高い。
- ・＜業務範囲や職務責任の範疇が明確＞【オフィスワーク・事務】【テレオペ・テレマーケティング】【クリエイティブ系】で「派遣社員計」が全体に比べ高い。
- ・＜業務範囲や職務責任の範疇が明確＞性×年代は、【男性】より【女性】の「派遣社員計」が全体的にやや高く、特に【女性・30-39歳】で4割弱と高め。

＜育児・介護など、仕事とプライベートのバランスを保ちやすい＞

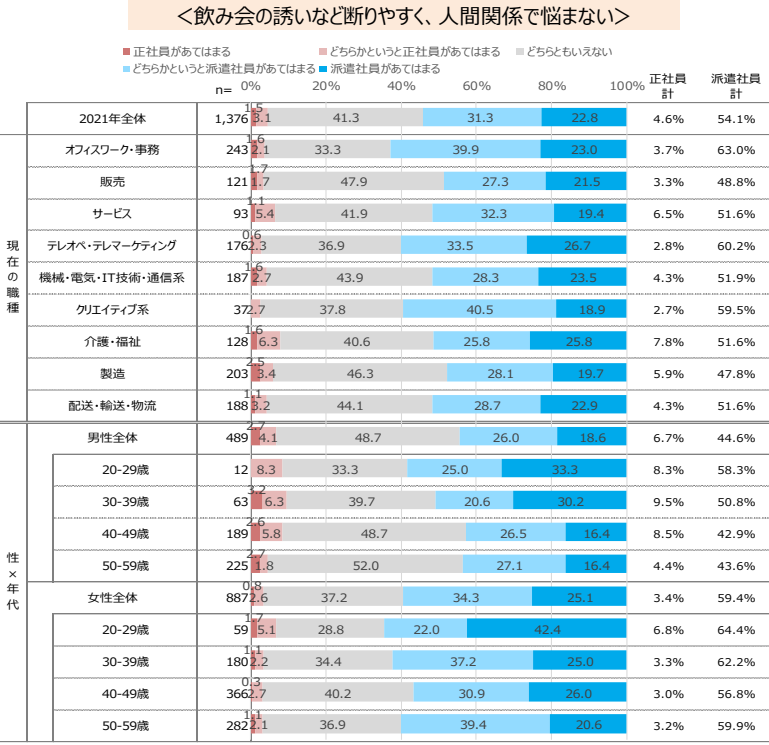
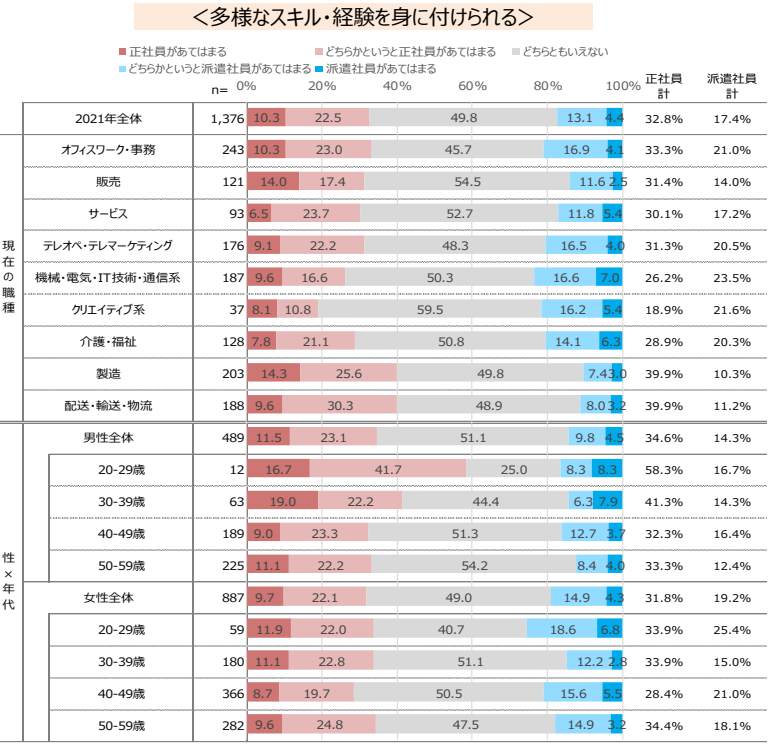


＜業務範囲や職務責任の範疇が明確＞



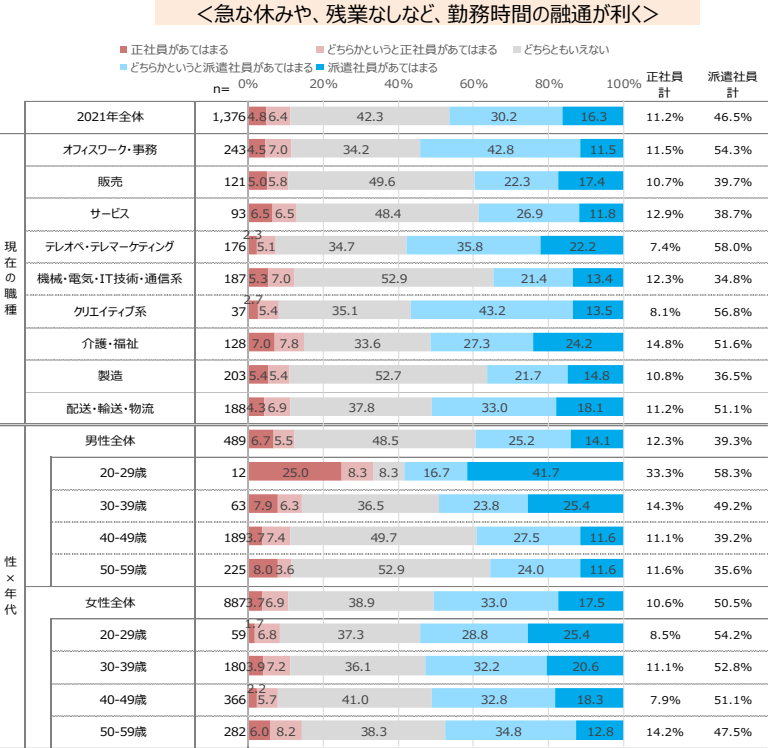
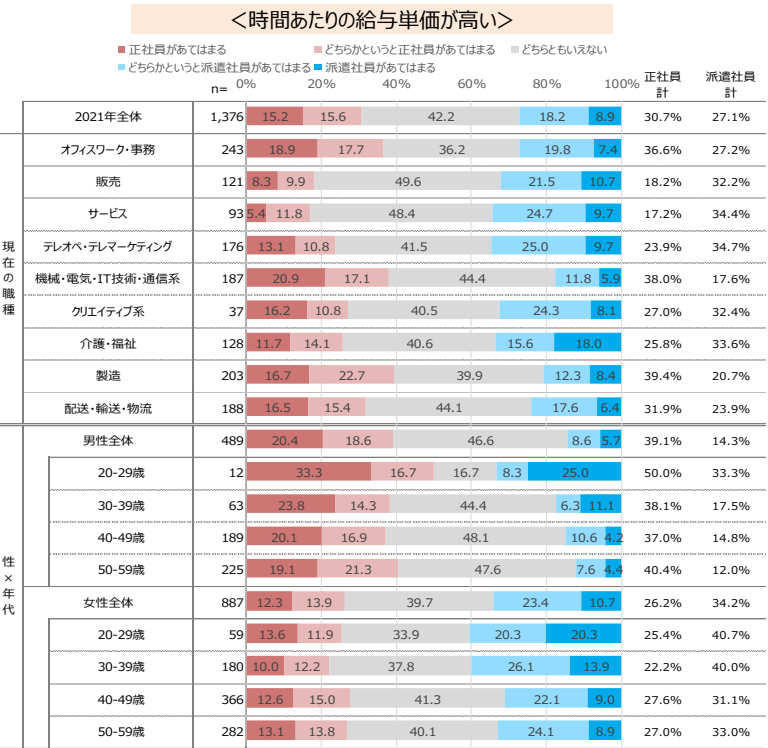
正社員と派遣社員の比較③（単一回答）

- ・＜多様なスキル・経験を身に付けられる＞現在の職種では、ほとんどの職種で「正社員計」が「派遣社員計」より高く、【製造】【配送・輸送・物流】で顕著。
- ・＜多様なスキル・経験を身に付けられる＞性×年代でみると、いずれの層でも「正社員計」が「派遣社員計」より高い。
- ・＜飲み会の誘いなど断りやすく、人間関係で悩まない＞現在の職種でみると、すべての職種で「派遣社員計」が「正社員計」より高い。
- ・＜飲み会の誘いなど断りやすく、人間関係で悩まない＞性×年代では、【男性】より【女性】の「派遣社員計」が全体的にやや高く、6割前後にのぼる。



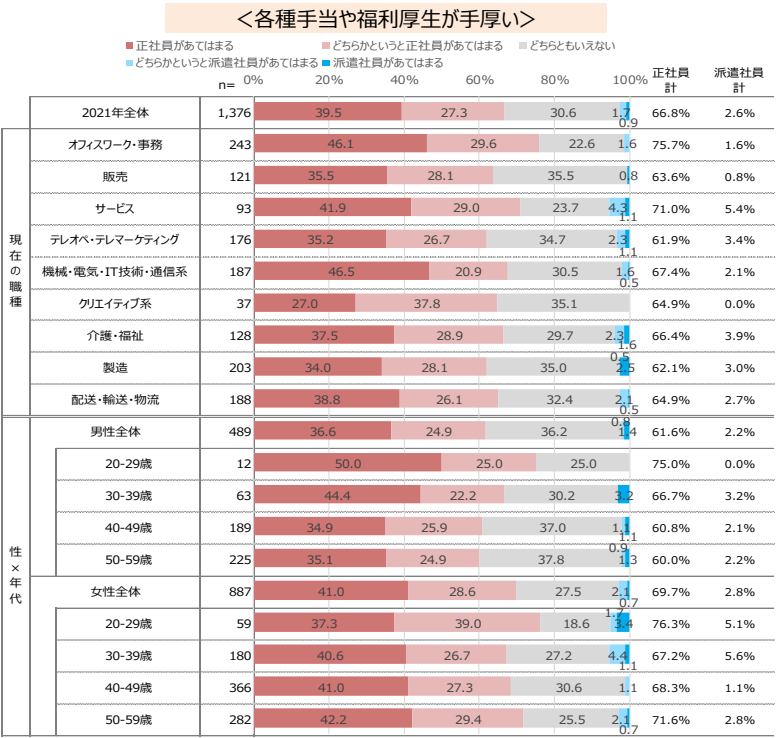
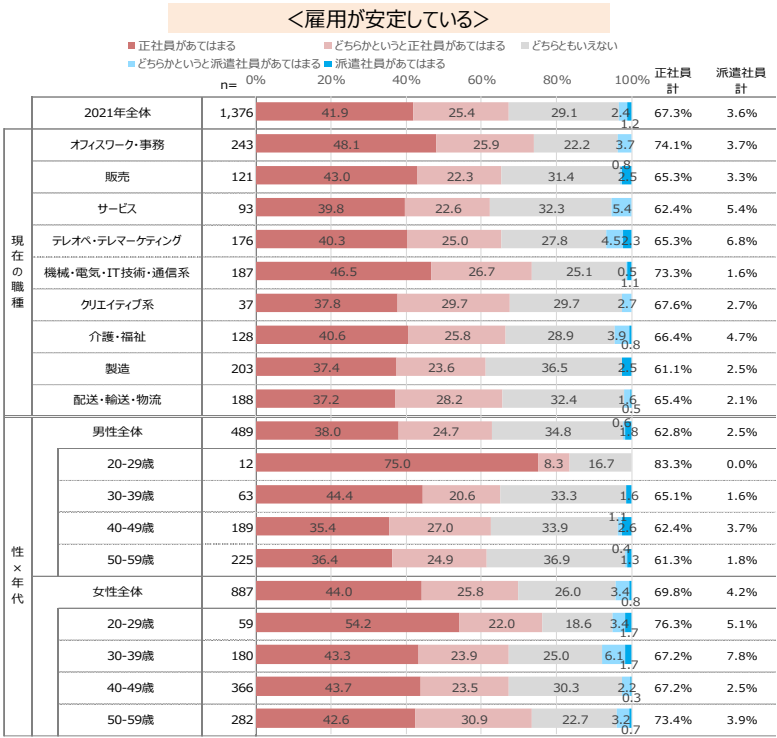
正社員と派遣社員の比較④（単一回答）

- ・＜時間あたりの給与単価が高い＞現在の職種では、【販売】【サービス】【テレオペ・テレマーケティング】などは「派遣社員計」が「正社員計」より高い。
- ・＜時間あたりの給与単価が高い＞性×年代でみると、【男性】は「正社員計」が、【女性】は「派遣社員計」の方が高い。
- ・＜急な休みや、残業なしなど、勤務時間の融通が利く＞現在の職種でみると、いずれの職種においても「派遣社員計」が「正社員計」に比べ高い。
- ・＜急な休みや、残業なしなど、勤務時間の融通が利く＞性×年代も、すべての層で「派遣社員計」の方が高いが、【男性】より【女性】が全体的に高めの傾向。



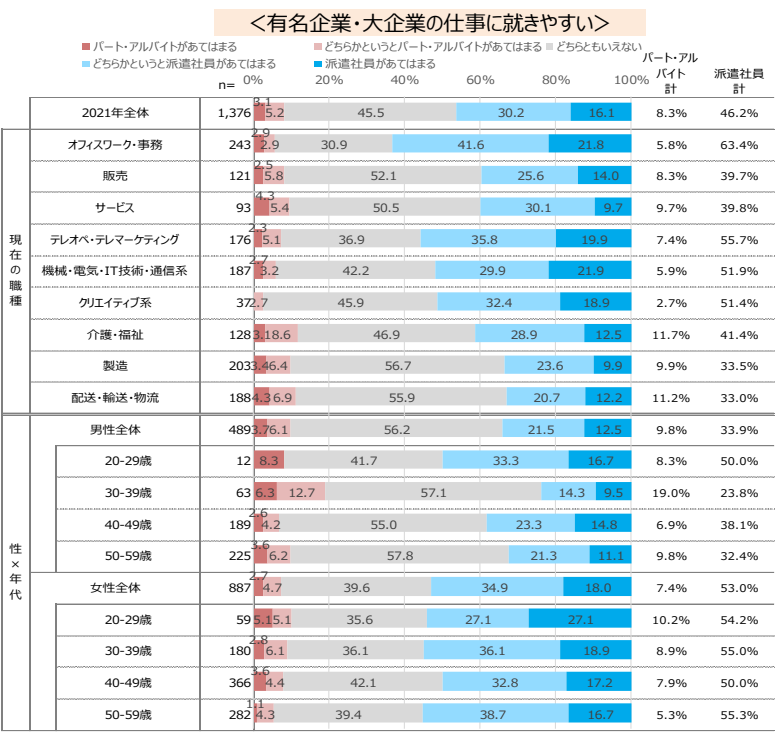
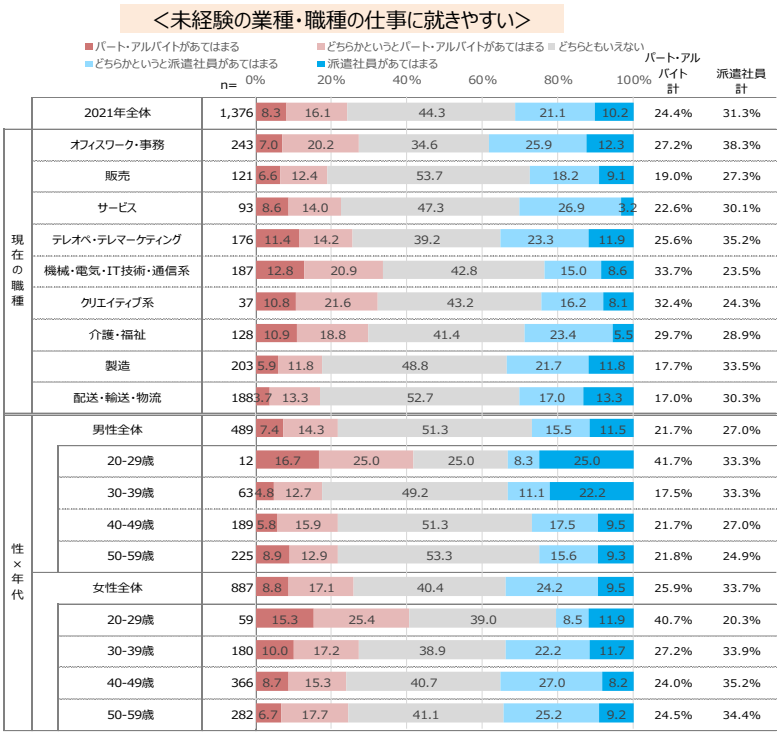
正社員と派遣社員の比較⑤（単一回答）

- ・＜雇用が安定している＞現在の職種では、いずれの職種においても「正社員計」が「派遣社員計」より高い。
- ・＜雇用が安定している＞性×年代においても、すべての層で「正社員計」が「派遣社員計」より高い。
- ・＜各種手当や福利厚生が手厚い＞現在の職種でみると、いずれの職種においても「正社員計」が「派遣社員計」より高い。
- ・＜各種手当や福利厚生が手厚い＞性×年代においても、すべての層で「正社員計」が「派遣社員計」のより高い。



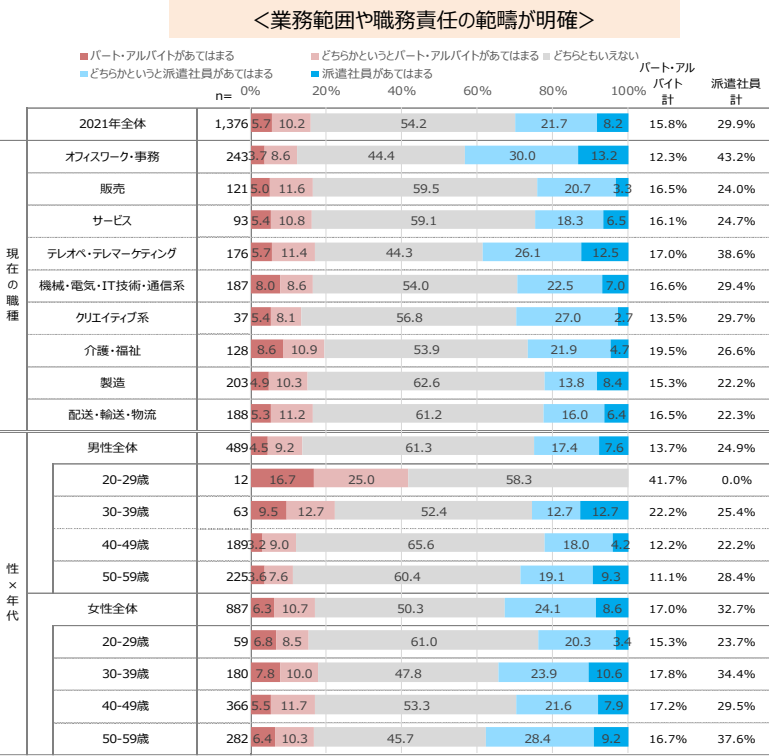
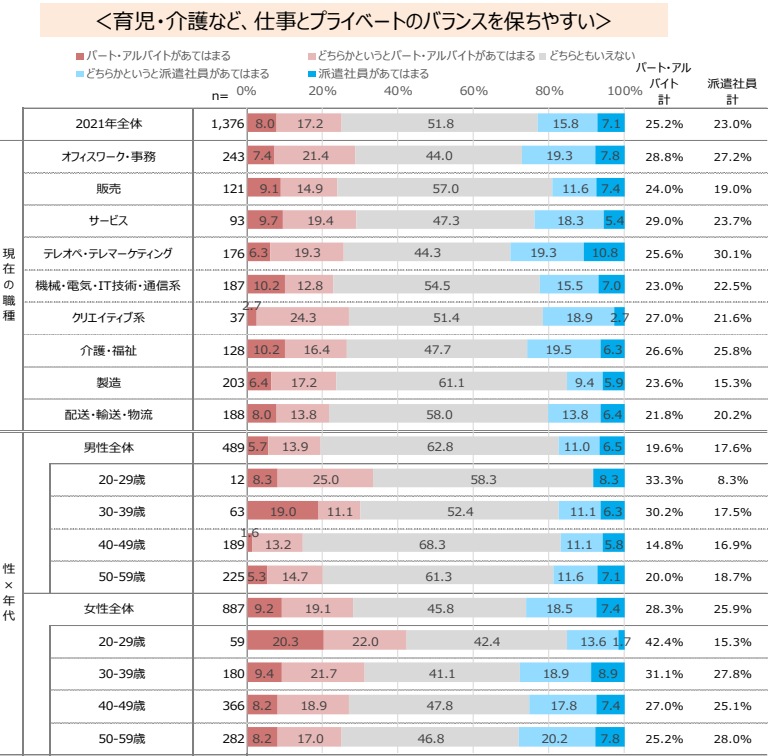
パート・アルバイトと派遣社員の比較①（単一回答）

- ・＜未経験の業種・職種に就きやすい＞現在の職種では、【オフィスワーク・事務】【製造】などで「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」を大きく上回る。
- ・＜未経験の業種・職種に就きやすい＞性×年代では、【女性・20-29歳】で「パート・アルバイト計」が高いが、他の層では「派遣社員計」の方が高い。
- ・＜有名企業・大企業の仕事に就きやすい＞いずれの職種も「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」を大きく上回り、特に【オフィスワーク・事務】で顕著。
- ・＜有名企業・大企業の仕事に就きやすい＞性×年代では、【男性・30-39歳】で「パート・アルバイト計」が他の層に比べやや高く、「派遣社員計」が低い。



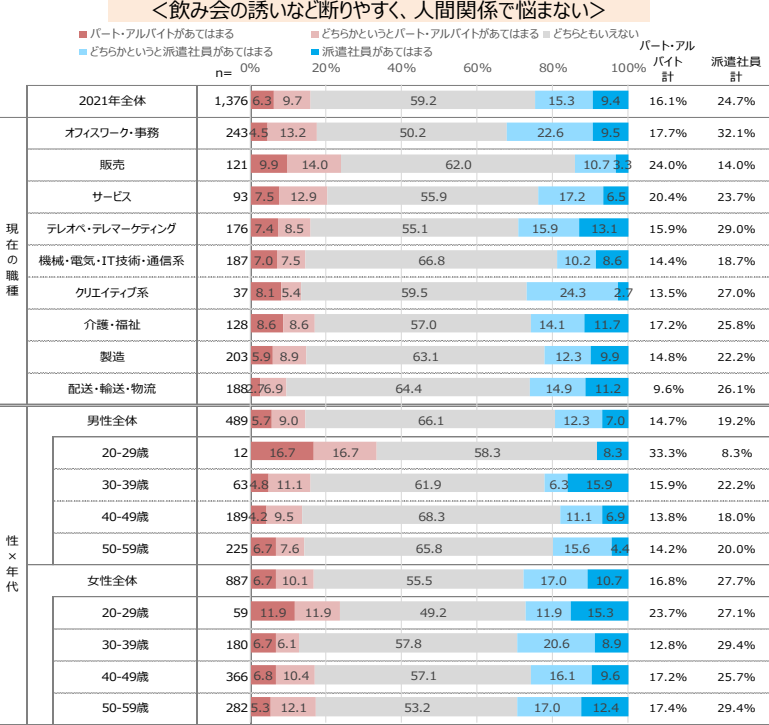
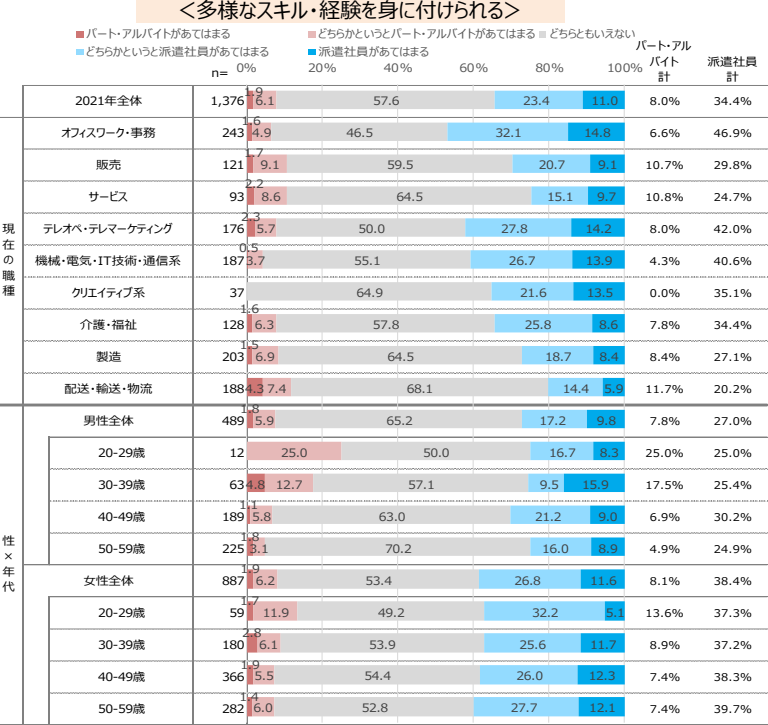
パート・アルバイトと派遣社員の比較②（単一回答）

- ・＜育児・介護など、仕事とプライベートのバランスを保ちやすい＞ 現在の職種では、概ねどの職種も、「派遣社員計」と「パート・アルバイト計」が拮抗。
- ・＜育児・介護など、仕事とプライベートのバランスを保ちやすい＞ 性×年代でみると、【女性】では、若年層ほど「パート・アルバイト計」が高い傾向。
- ・＜業務範囲や職務責任の範疇が明確＞ 現在の職種では、いずれも「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高く、【オフィスワーク・事務】で顕著。
- ・＜業務範囲や職務責任の範疇が明確＞ 性×年代でも、すべての層で「派遣社員計」の方が高い。また、【男性】より【女性】の「派遣社員計」が全体的に高め。



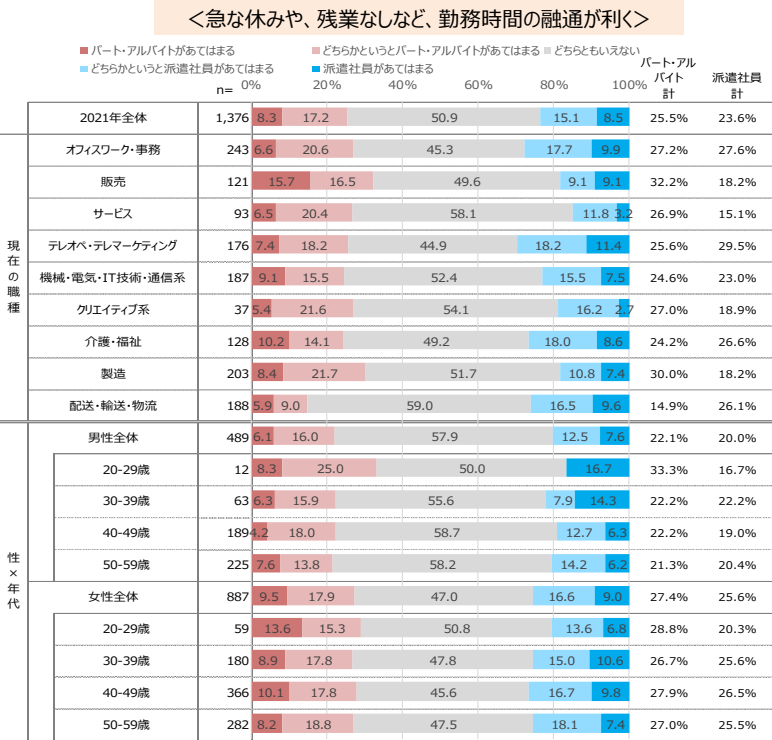
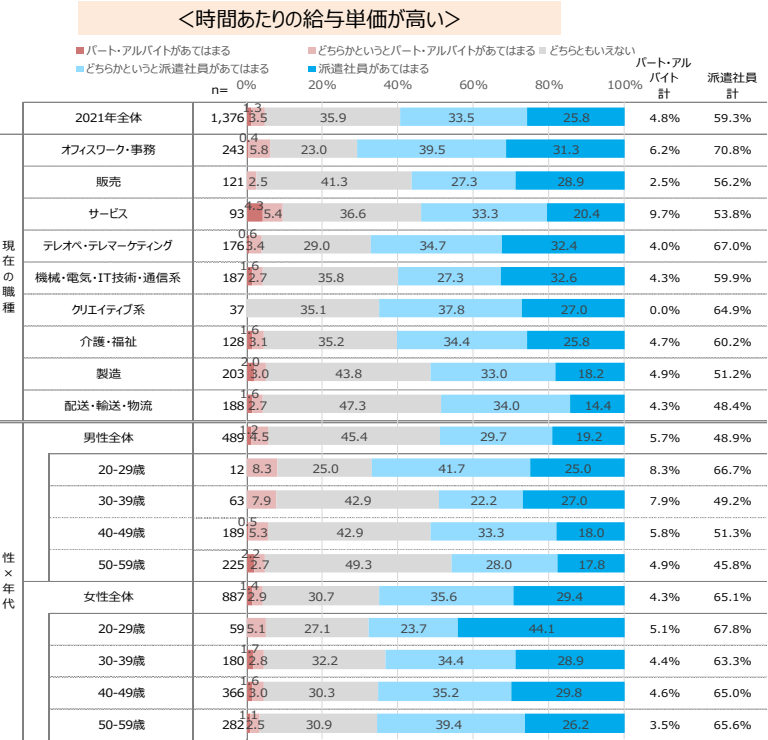
パート・アルバイトと派遣社員の比較③（単一回答）

- ・＜多様なスキル・経験を身に付けられる＞ すべての職種で「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高く、【オフィスワーク・事務】で顕著。
- ・＜多様なスキル・経験を身に付けられる＞ 性×年代では、いずれの層でも「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高く、【男性】より【女性】で高め。
- ・＜飲み会の誘いなど断りやすく、人間関係で悩まない＞ 現在の職種でみると、【販売】以外の職種では「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高い。
- ・＜飲み会の誘いなど断りやすく、人間関係で悩まない＞ 性×年代では、【男性】より【女性】の「派遣社員計」が全体的にやや高め。



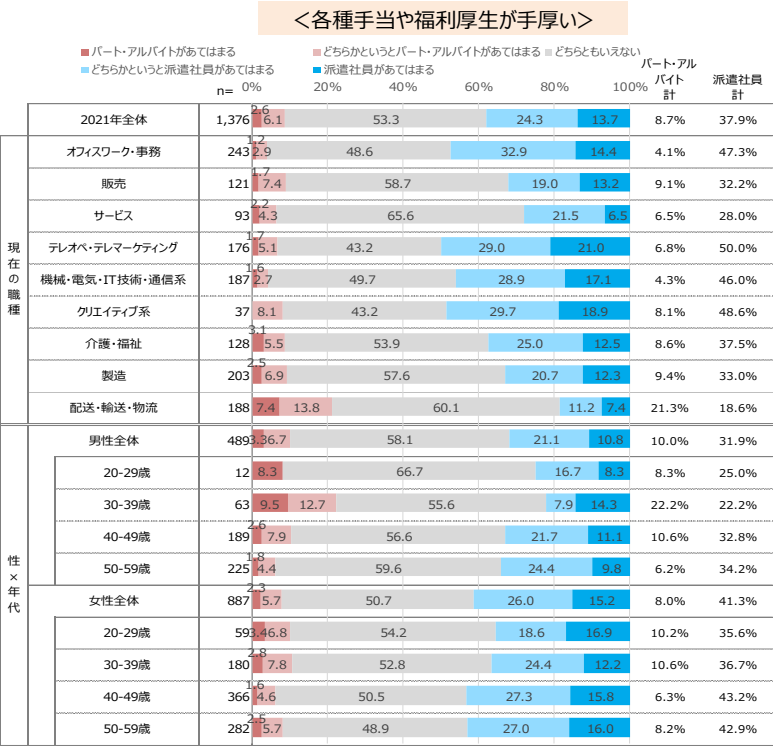
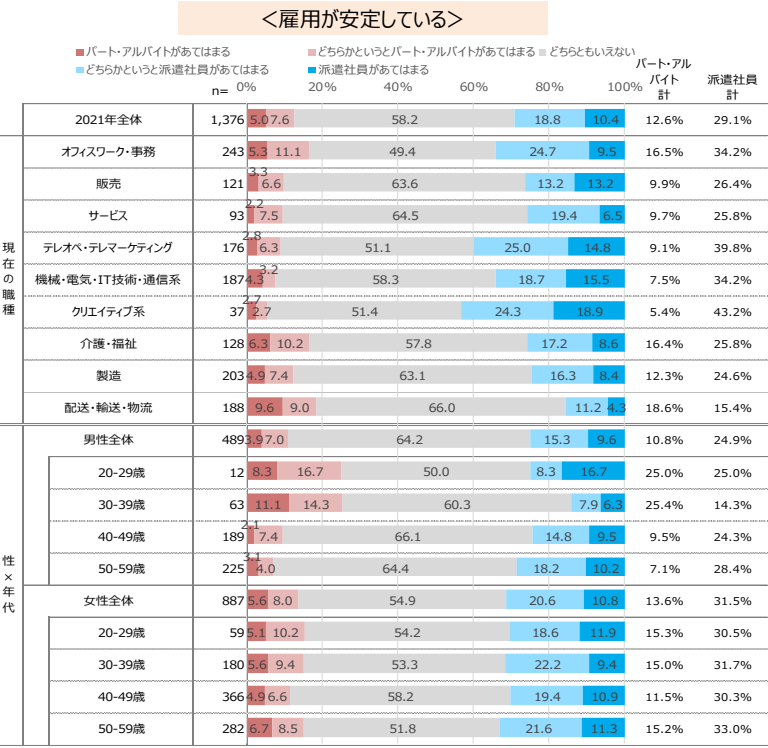
パート・アルバイトと派遣社員の比較④（単一回答）

- ・＜時間あたりの給与単価が高い＞ 現在の職種では、いずれの職種も「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高く、特に【オフィスワーク・事務】で顕著。
- ・＜時間あたりの給与単価が高い＞ 性×年代も、すべての層で「派遣社員計」の方が高い。また、【男性】より【女性】がいずれの年代も高めで、6割台。
- ・＜急な休みや、残業なしなど、勤務時間の融通が利く＞【配送・輸送・物流】は「派遣社員計」が高いが、他は「パート・アルバイト計」が高いか、拮抗。
- ・＜急な休みや、残業なしなど、勤務時間の融通が利く＞ 性×年代では、【女性・20-29歳】で「パート・アルバイト計」の方が高いが、他の層は拮抗。



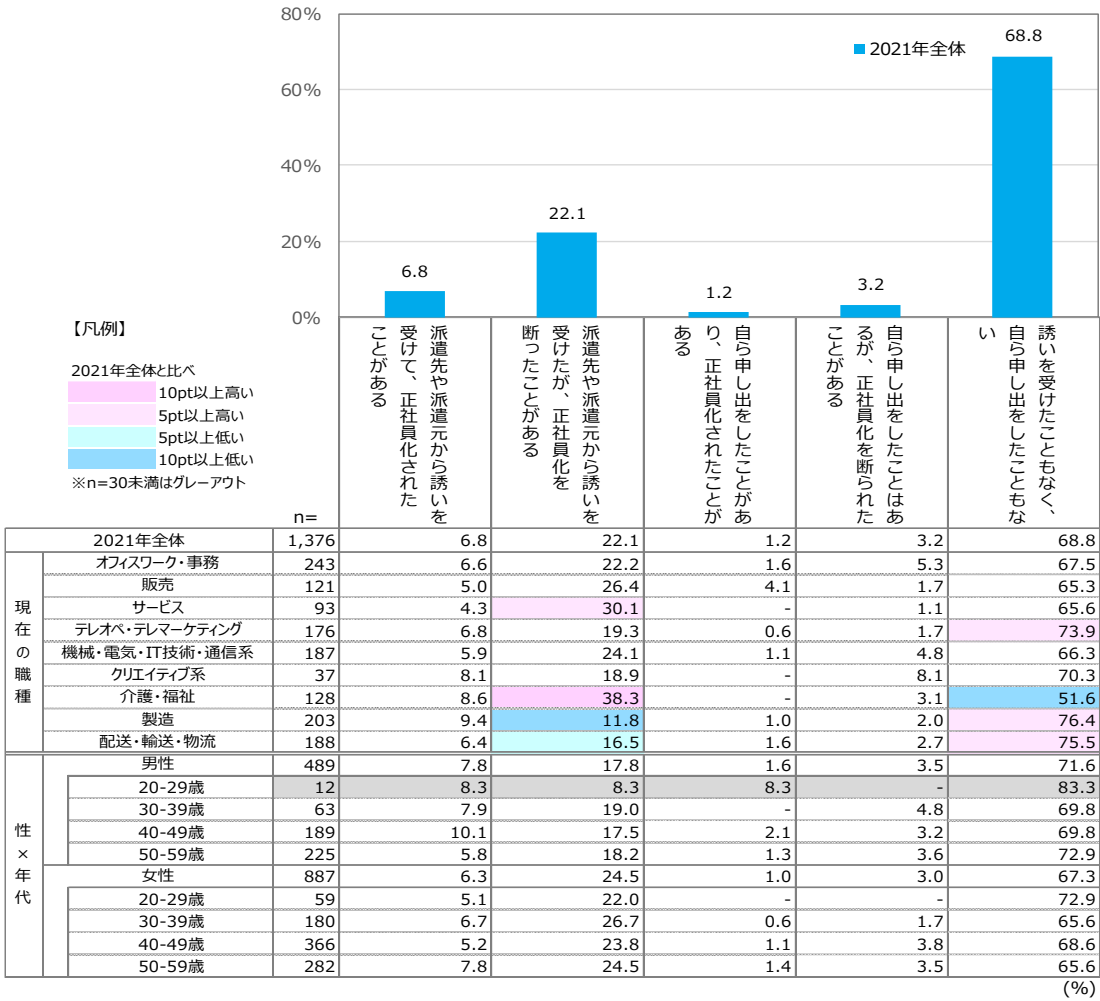
パート・アルバイトと派遣社員の比較⑤（単一回答）

- ・＜雇用が安定している＞ 現在の職種では、ほとんどの職種で「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高く、特に【クリエイティブ系】で顕著。
- ・＜雇用が安定している＞ 性×年代でみると、【男性・30-39歳】で「パート・アルバイト計」が「派遣社員計」より高い。他の層は「派遣社員計」の方が高い。
- ・＜各種手当や福利厚生が手厚い＞ 現在の職種でみると、ほとんどの職種で「派遣社員計」が「パート・アルバイト計」より高い。
- ・＜各種手当や福利厚生が手厚い＞ 性×年代では、【男性・30-39歳】で「パート・アルバイト計」と「派遣社員計」が拮抗。他の層は「派遣社員計」が高い。



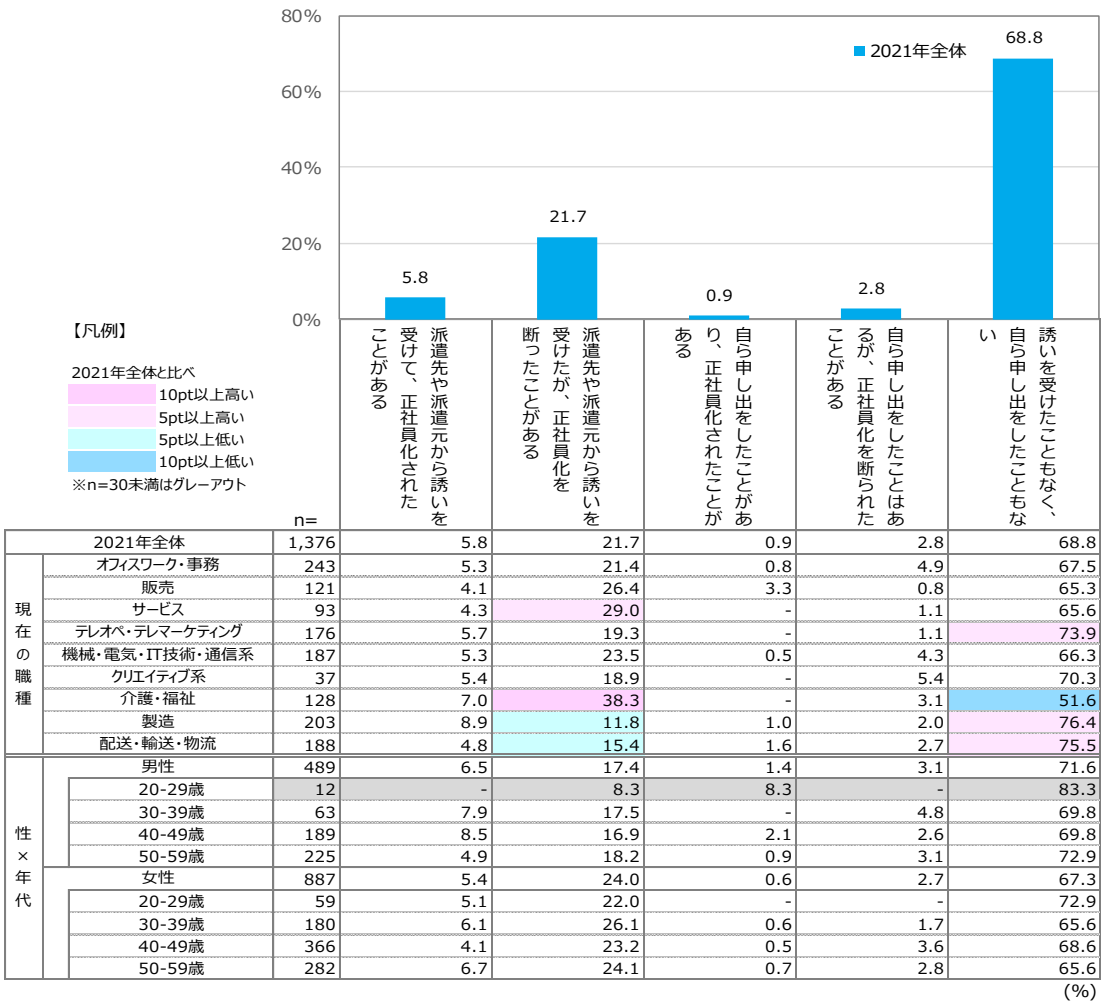
正社員化の機会と判断（複数回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種においても「誘いを受けたこともなく、自ら申し出をしたこともない」が過半数を占める。
- 【介護・福祉】では、「派遣先や派遣元から誘いを受けたが、正社員化を断ったことがある」が4割弱と他の職種に比べて高い。
- ・性×年代で大きな差はみられないが、【女性】の各年代で「派遣先や派遣元から誘いを受けたが、正社員化を断ったことがある」は【男性】の同年代よりやや高め。



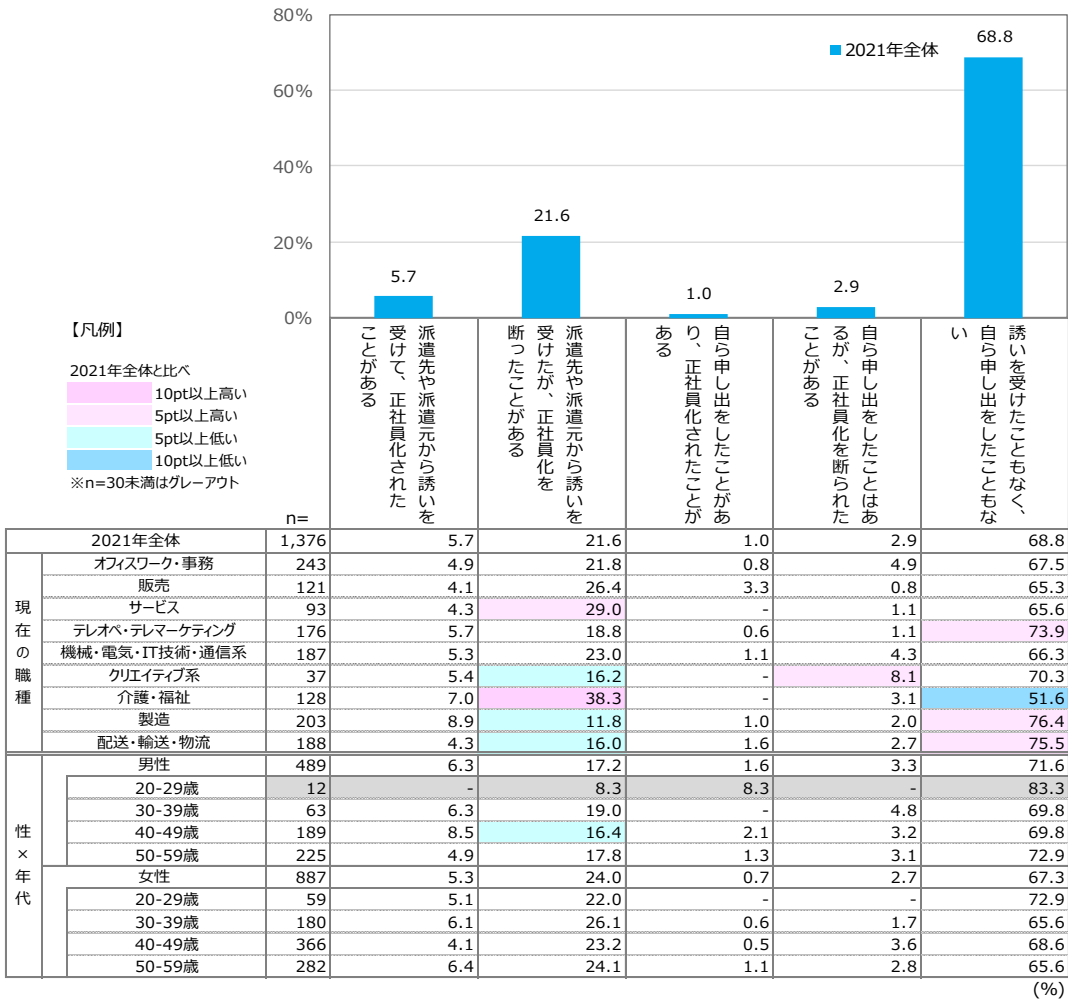
正社員化の機会と判断：最も経験が多いもの（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【介護・福祉】で「派遣先や派遣元から誘いを受けたが、正社員化を断ったことがある」が4割弱と他の職種に比べて高い。
- ・性×年代で大きな差はみられないが、【女性】の各年代で「派遣先や派遣元から誘いを受けたが、正社員化を断ったことがある」は【男性】の同年代よりやや高め。



正社員化の機会と判断：最も直近に経験したもの（単一回答）

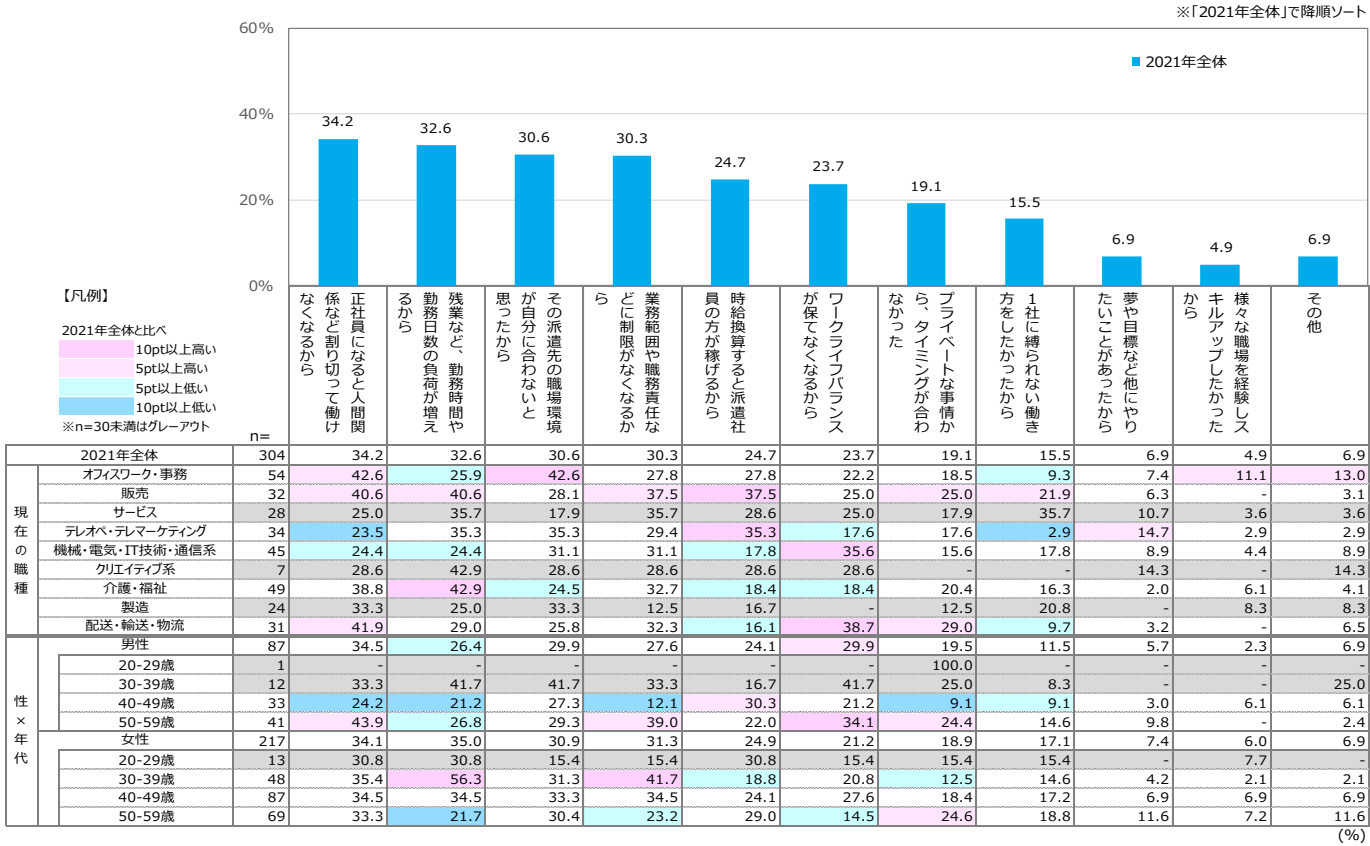
- ・現在の職種でみると、【介護・福祉】で「派遣先や派遣元から誘いを受けたが、正社員化を断ったことがある」が4割弱と他の職種に比べて高い。
- ・性×年代で大きな差はみられないが、【女性】の各年代で「派遣先や派遣元から誘いを受けたが、正社員化を断ったことがある」は【男性】の同年代よりやや高め。



正社員化の誘いを受けたが、断った理由（複数回答）

- ・現在の職種でみると、【オフィスワーク・事務】は「その派遣先の職場環境が自分に合わないと思ったから」、【テレオペ・テレマーケティング】は「時給換算すると派遣社員の方が稼げるから」、【機械・電気・IT技術・通信系】は「ワークライフバランスが保てなくなるから」、【介護・福祉】は、「残業など、勤務時間や勤務日数の負荷が増えるから」が全体に比べて高く、理由のトップにあがる。
- ・性×年代でみると、【男性・50-59歳】で「ワークライフバランスが保てなくなるから」、【女性・30-39歳】で「残業など、勤務時間や勤務日数の負荷が増えるから」「業務範囲や職務責任などに制限がなくなるから」が全体に比べ高い。

※正社員化を誘われ断ったことがある人ベース



正社員化の誘いを受けたが、断った最大理由（単一回答）

- ・現在の職種でみると、【配送・輸送・物流】は「プライベートな事情から、タイミングが合わなかったから」が全体に比べ高く、理由のトップにあがる。
- ・性×年代でみると、【女性・30-39歳】で「残業など、勤務時間や勤務日数の負荷が増えるから」が全体に比べ高く、理由のトップにあがる。

※正社員化を誘われ断ったことがある人ベース

※「2021年全体」で降順ソート

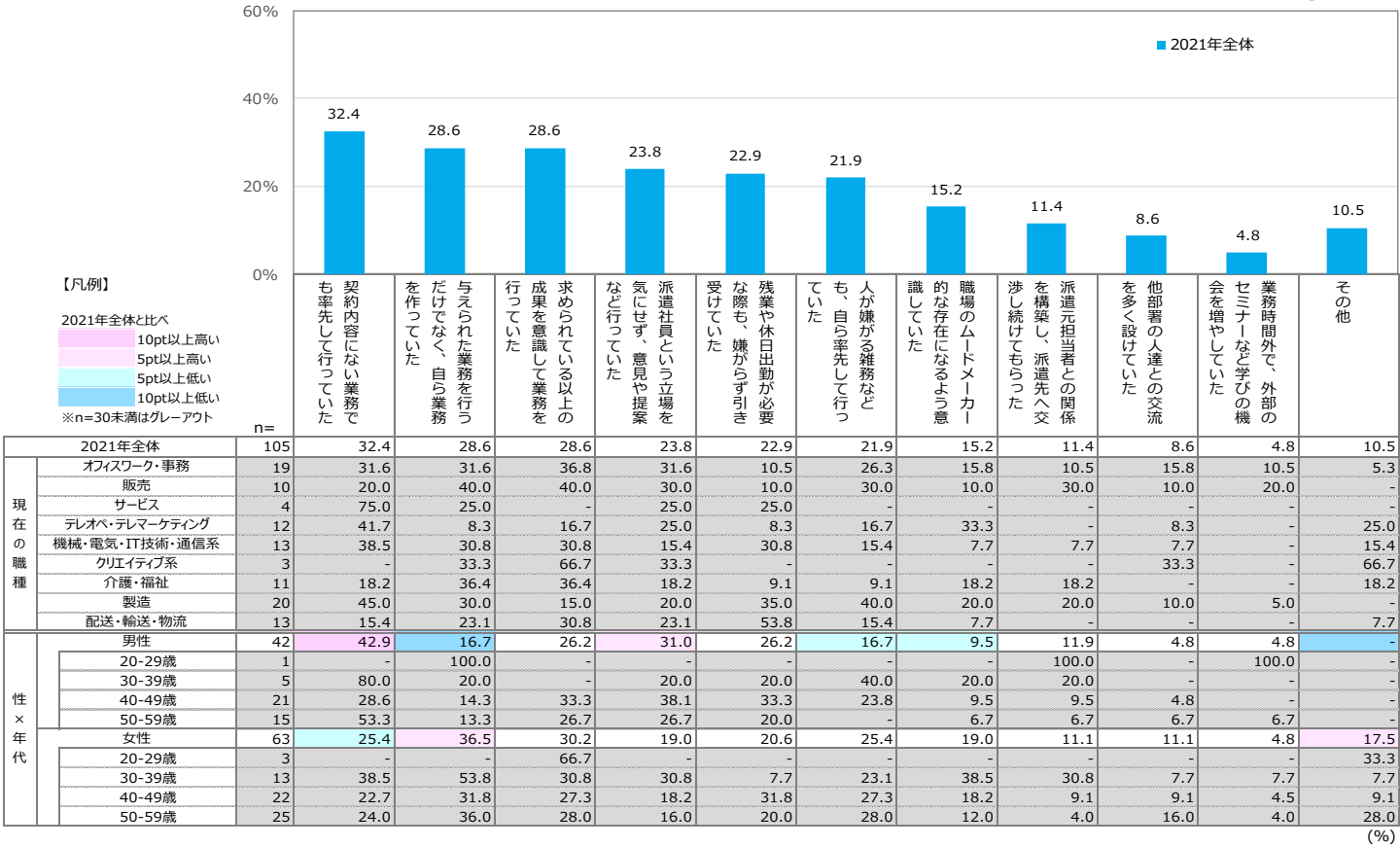


正社員に繋がった要因（複数回答）

- ・性×年代でみると、【男性】は「契約内容にない業務でも率先して行っていた」、【女性】は「与えられた業務を行うだけでなく、自ら業務を作っていた」が全体に比べ高めで、それぞれ要因のトップにあがる。

※正社員化したことがある人ベース

※「2021年全体」で降順ソート

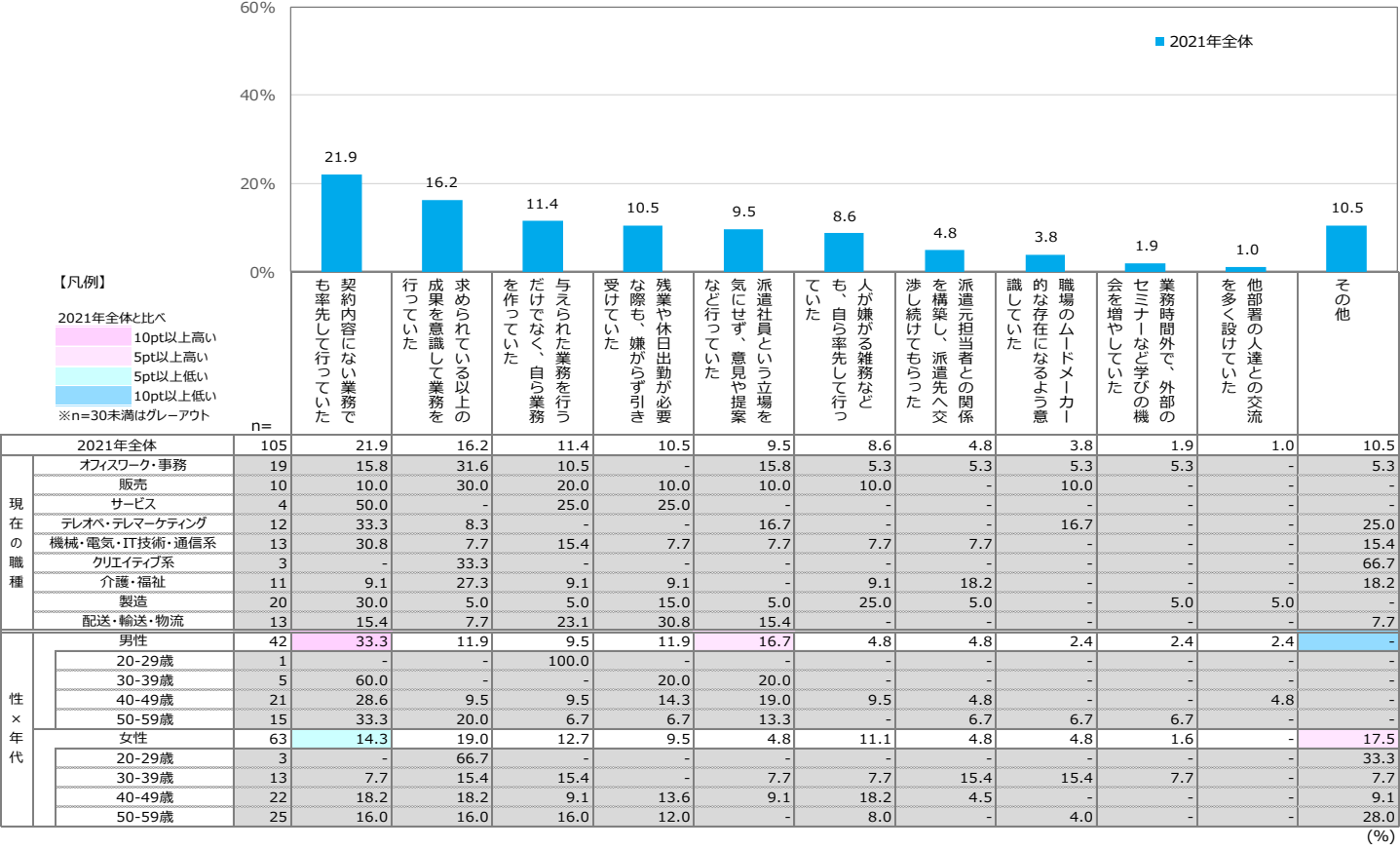


正社員に繋がった最大要因（単一回答）

・性×年代でみると、【男性】は「契約内容にない業務でも率先して行っていた」が全体に比べ高い。
また、「派遣社員という立場を気にせず、意見や提案など行っていた」も全体よりやや高め。

※正社員化したことがある人ベース

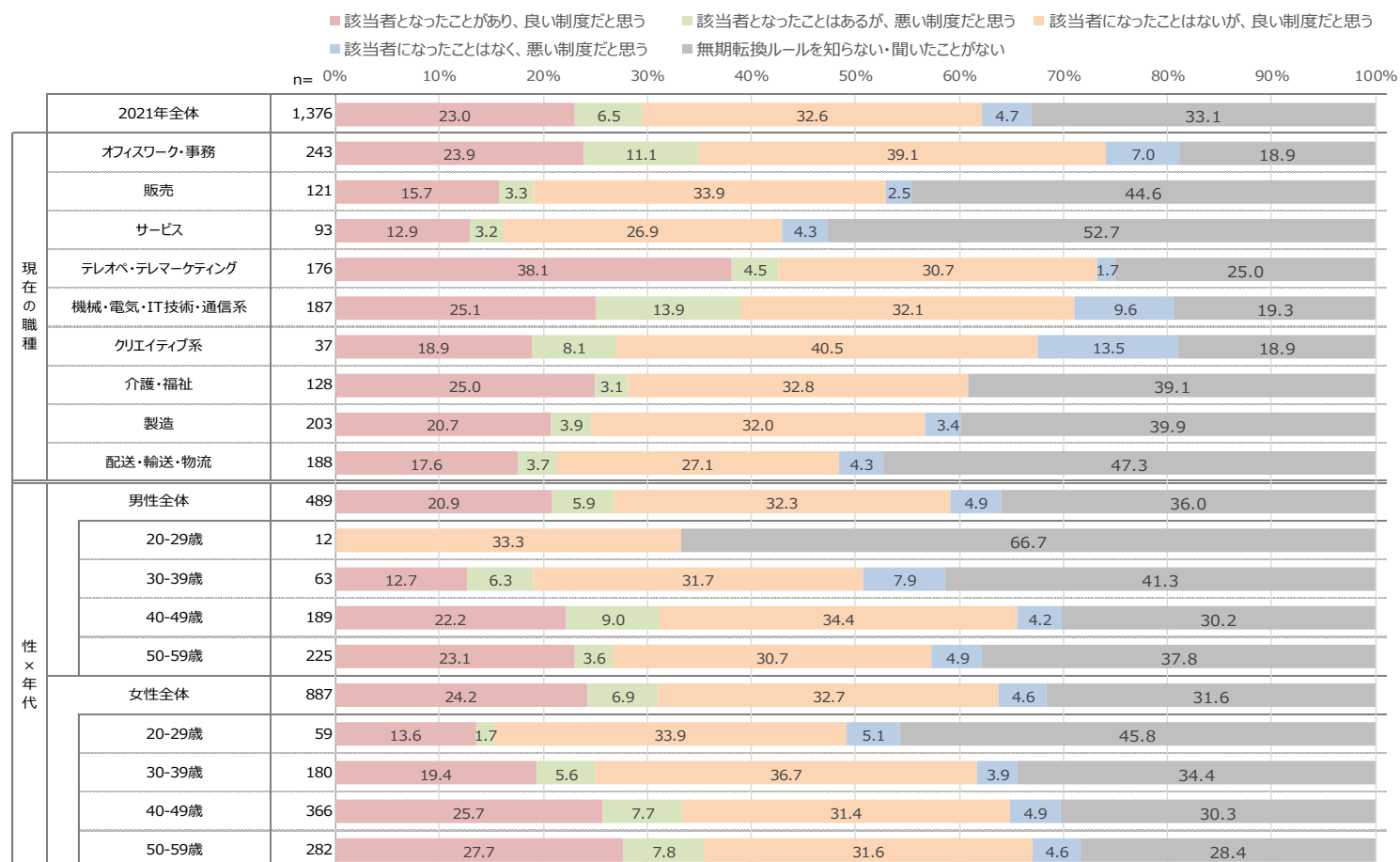
※「2021年全体」で降順ソート



（8）無期転換ルールについて

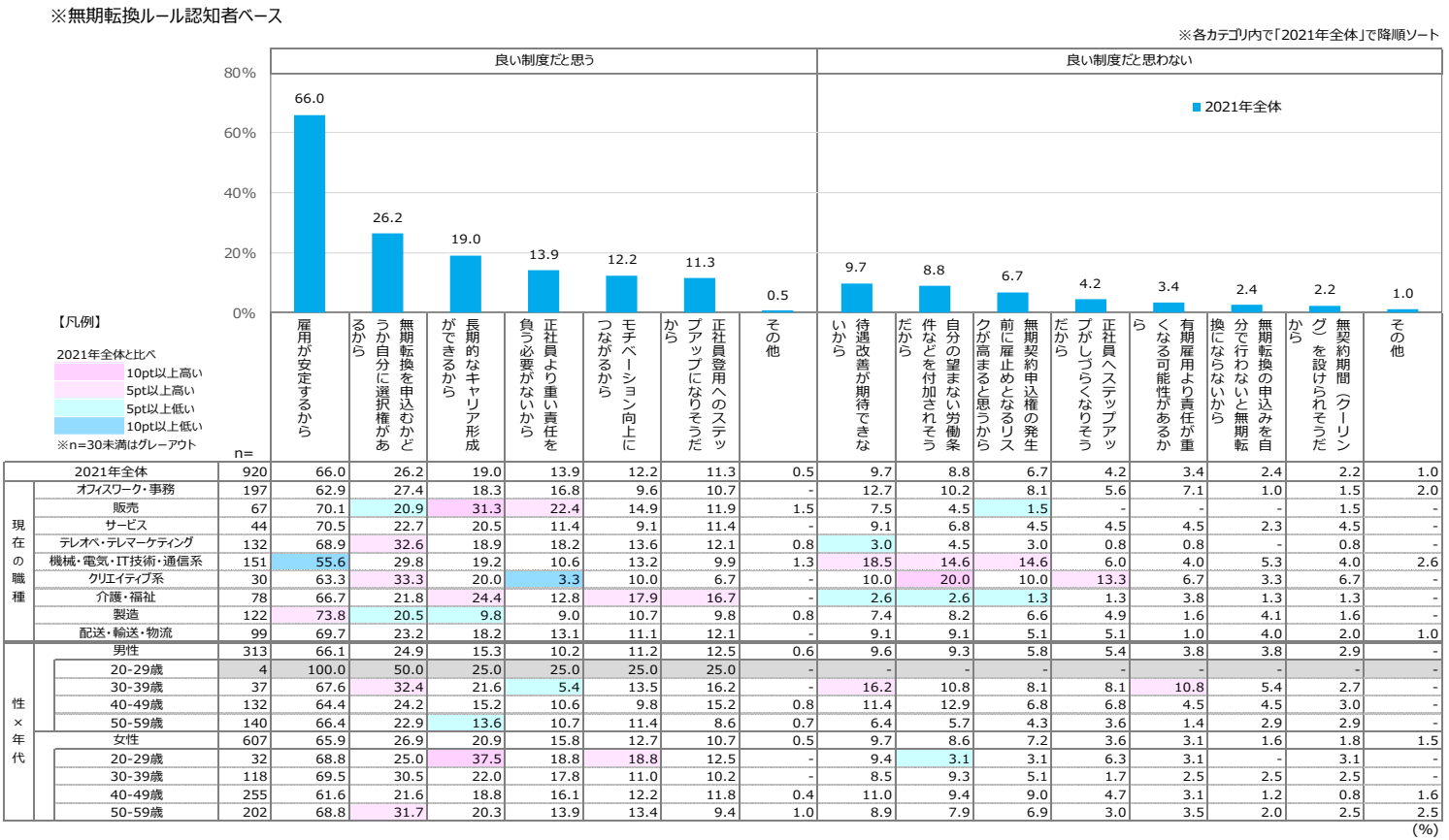
無期転換ルールの該当有無と制度の印象（単一回答）

- ・現在の職種でみると、無期転換ルールの認知率（「無期転換ルールを知らない・聞いたことがない」以外）は【オフィスワーク・事務】
【機械・電気・IT技術・通信系】【クリエイティブ系】で8割強と全体に比べ高い。一方、【サービス】は認知率が過半数に満たない。
- ・認知者においては、ほとんどの職種で「該当者になったことはないが、良い制度だと思う」が最も高い。【テレオペ・テレマーケティング】は
「該当者となったことがあり、良い制度だと思う」が全体に比べ高く、最も多くを占める。
- ・性×年代でみると、認知者においてはすべての層で「該当者になったことはないが、良い制度だと思う」が最も高い。
また、「該当者となったことがあり、良い制度だと思う」は男女ともに高年層ほど高い。



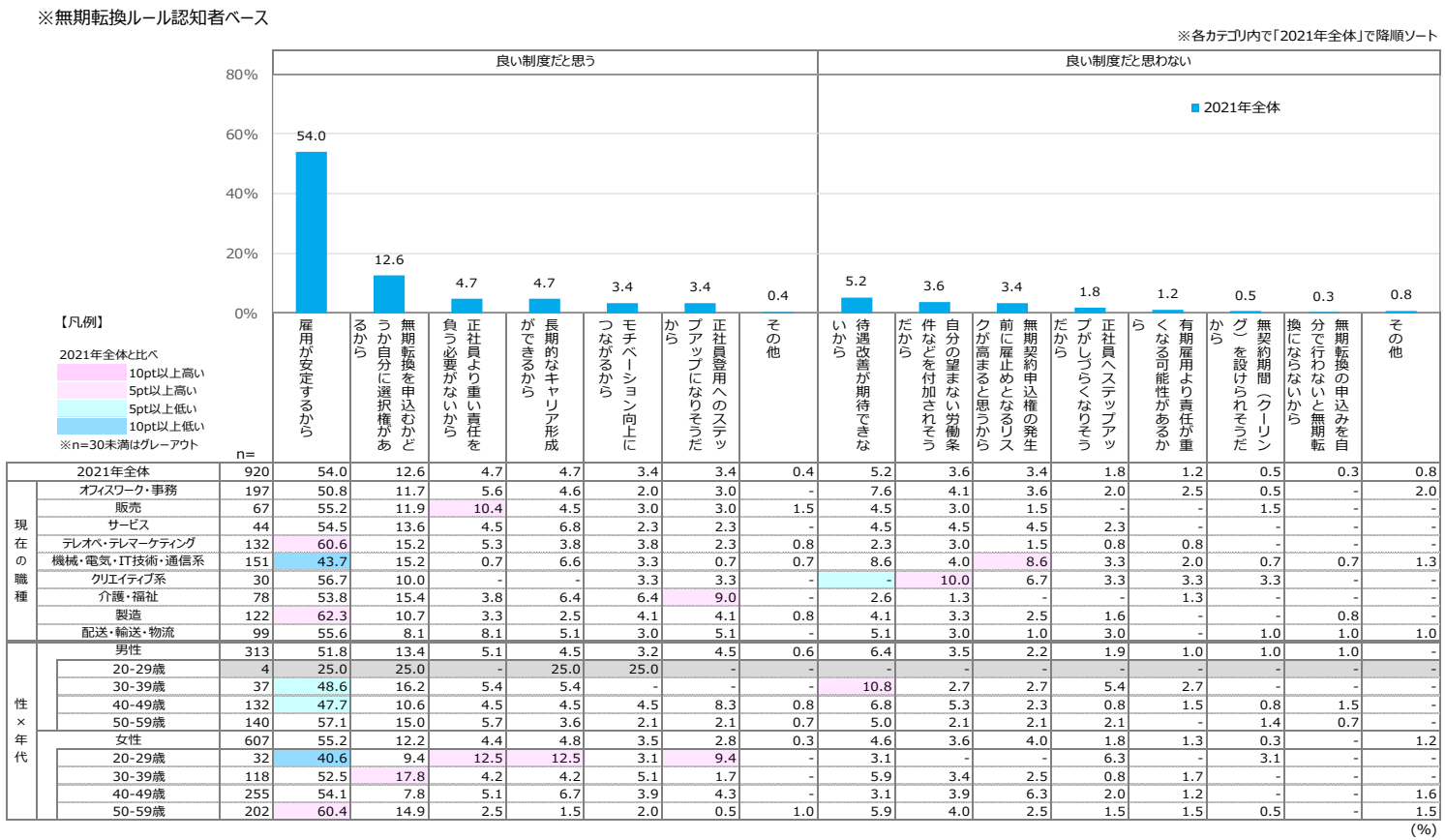
無期転換制度印象の理由（複数回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種においても「雇用が安定するから」がトップにあがる。
また、【販売】では「長期的なキャリア形成ができるから」が3割強と他の職種と比べて高い。一方、良い制度だと思わない理由として、【クリエイティブ系】で「自分の望まない労働条件などを付加されそう」が全体に比べ高い。
- ・性×年代でみると、【女性・20-29歳】で「長期的なキャリア形成ができるから」が全体に比べ高い。



無期転換制度印象の最大理由（単一回答）

- ・現在の職種でみると、いずれの職種においても「雇用が安定するから」がトップにあがる。
- ・性×年代でも、すべての層で「雇用が安定するから」が最も高く、【女性】では高年層ほど高い。



(8) Appendix
職種分類表

オフィスワーク・事務
OA事務・一般事務
営業事務
英文事務
金融事務
貿易事務・国際事務
法務・特許事務
秘書・セクレタリー
受付
経理（経理事務）・英文経理
企画・マーケティング・広報
人事・総務
翻訳・通訳
パソコン操作・データ入力
その他オフィスワーク・事務

販売
接客カウンター・レジ
販売促進・デモンストレーション
販売（アパレル・ファッション・コスメ）
販売（家電・携帯）
販売（その他）
エリアマネジャー・スーパーバイザー
教育・研修トレーナー
店長（小売・流通系）
店長候補（小売・流通系）

サービス
ホテル・旅行
飲食店スタッフ（キッチン・ホール）
美容関連（理美容師・エステティシャン等）
家事代行・清掃員
その他サービス

テレオペ・テレマーケティング・コールセンター
テレフォンオペレーター（受発信）
テレフォンオペレーター（受信のみ）
テレフォンオペレーター（発信のみ）
テレマーケティング営業・テレフォンアポインター
カスタマーサポート
スーパーバイザー
その他テレマーケティング職

機械・電気・IT・エンジニア・技術・開発・通信系
機械・電気系エンジニア
ソフトウェア開発
システムエンジニア・プログラマー
ネットワーク構築
機械設計（電子・建築CADオペレーター等）
ヘルプデスク・ユーザーサポート
OAインストラクター・ITインストラクター
運用管理・保守・評価・テスト
その他IT 技術・通信系業務

クリエイティブ系
WEBデザインなどWEB系クリエイティブ
DTP・グラフィックデザイン・イラストレーター
編集・制作・校正
放送関連業務
その他のクリエイティブ

介護・福祉
医療事務関連
介護・福祉関連業務

製造
工場生産・製造（輸送用機器・家電・電子機器系）
工場生産・製造（食品・化粧品・医薬品系）
工場生産・製造（アパレル・ファッション）
工場生産・製造（その他）

配送・輸送・物流
運送ドライバー（中・長距離）
配送・宅配・セールスドライバー
新聞配達・集金